P2WW-2818-03Z0

Scanner Central Admin 5.5
ユーザーズガイド

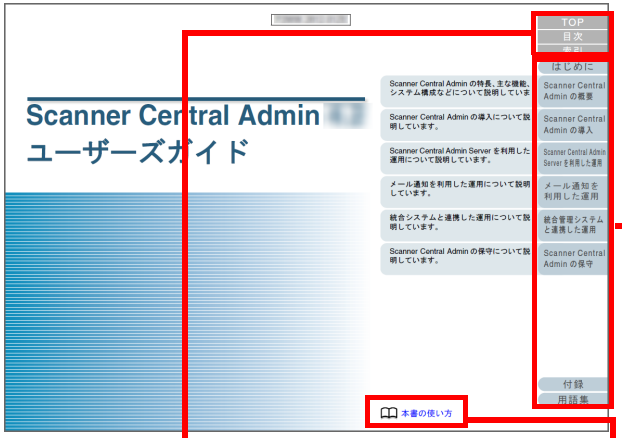
Scanner Central Admin の特長、主な機能、システム構成などについて説明しています。	Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入について説明しています。	Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用について説明しています。	Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用について説明しています。	メール通知を利用した運用
統合システムと連携した運用について説明しています。	統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守について説明しています。	Scanner Central Admin の保守

本書の使い方

本書の使い方について説明します。

- 本書を表示 / 印刷するには、アドビ システムズ社の Adobe® Acrobat® 7.0 以降または Adobe® Reader® 7.0 以降が必要です。
- 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® の検索機能が使えます。
  詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。
- キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。
- 本文中の青字 / ツメ / 目次 / 索引など（マウスがリンク選択時の形状（ など）に変わる箇所）をクリックすると、参照先に移動します。
  - 共通ページ

各章の先頭ページに移動します。
このツメは全ページにあります。



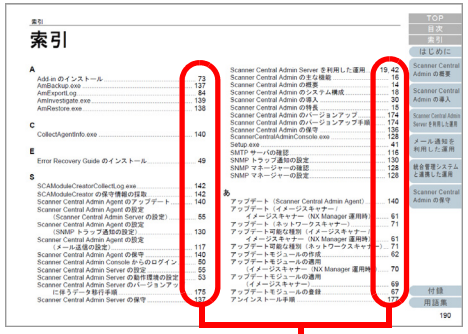
TOP：表紙ページに移動します。
目次：目次ページに移動します。
索引：索引ページに移動します。
このツメは全ページにあります。

本書の使い方ページに移動します。
本文中の青字をクリックすると、参照先に移動します。

- 目次ページ

クリックしたタイトルのページに移動します。

- 索引ページ



クリックした索引のページに移動します。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、複数台の当社スキャナーを集中管理して、スキャナーの設定情報やドライバーなどをアップデートしたり、スキャナーの稼働状況を監視したりできるアプリケーションです。
本書の内容は、本製品のアップデートに伴い、変更になる場合があります。
最新の Scanner Central Admin ユーザーズガイドおよび Scanner Central Admin Console ヘルプは、次のホームページからもダウンロードできます。
ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/peripheral/scanners/fi/manual/software.html

なお、本書は、「付 .9 Scanner Central Admin のアプリケーション構成」（P.179）に記載している製品を対象に説明しています。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
Scanner Central Admin 5.5 ユーザーズガイド（本書）（PDF）	Scanner Central Admin の概要、導入、運用、保守などを説明しています。 ホームページからダウンロードできます。
Scanner Central Admin Console ヘルプ（HTML）	Scanner Central Admin Console の画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。 必要に応じてお読みください。 Scanner Central Admin Console の画面にある「ヘルプ」から参照できます。
Scanner Central Admin Agent ヘルプ（HTML）	Scanner Central Admin Agent の画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。 必要に応じてお読みください。 Scanner Central Admin Agent の画面にある「ヘルプ」から参照できます。
SCAModuleCreator ヘルプ（HTML）	SCAModuleCreator の画面の項目説明、およびメッセージの対処と意味について説明しています。 必要に応じてお読みください。 SCAModuleCreator の画面にある「ヘルプ」から参照できます。

商標および登録商標

ISIS は、Open Text の商標です。
Adobe、Acrobat、および Reader は、米国ならびに他の国における Adobe 社の登録商標または商標です。
Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。
Microsoft、Internet Explorer、SharePoint、SQL Server、Windows 、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
ScanSnap、ScanSnap Manager、および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。
その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU
〒 220-8567
神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5
（横浜アイマークプレイス）
© PFU Limited 2018-2023

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

コピーライト

NetAdvantage
Copyright© 2000-2010 Infragistics, Inc.

Secure iNetSuite
Copyright© 2008-2013 Dart Communications

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

本書をお読みになる前に

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows Server® 2012 Standard（64 ビット）	Windows Server 2012（*1）（*2）
Windows Server® 2012 R2 Standard（64 ビット）	Windows Server 2012 R2（*1）（*2）
Windows® 10 Home（32/64 ビット）	Windows 10（*1）
Windows® 10 Pro（32/64 ビット）	
Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット）	
Windows® 10 Education（32/64 ビット）	
Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）	Windows Server 2016（*1）（*2）
Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）	Windows Server 2019（*1）（*2）
Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）	Windows Server 2022（*1）（*2）

名称	本文中の表記
Windows® 11 Home（64 ビット）	Windows 11（*1）
Windows® 11 Pro（64 ビット）	
Windows® 11 Enterprise（64 ビット）	
Windows® 11 Education（64 ビット）	
Microsoft® Office SharePoint® Server 2007	SharePoint
Microsoft® SharePoint® Server 2010	
Microsoft® .NET Framework	.NET Framework
Internet Explorer®	Internet Explorer
Microsoft® Internet Information Services	IIS
Microsoft® SQL Server™ 2014 Express（32/64 ビット）	SQL Server
Microsoft® SQL Server™ 2016 Express（64 ビット）	
Microsoft® SQL Server™ 2017 Standard（64 ビット）	
Microsoft® SQL Server™ 2019 Standard（64 ビット）	
Network Scanner Admin Tool	Admin Tool

名称	本文中の表記
Image Scanner N7100	N7100（*3）
Image Scanner N7100E	N7100E（*3）
ScanSnap N1800	N1800（*3）
Image Scanner iScanner fi-6010N	fi-6010N（*3）
PaperStream NX Manager	NX Manager

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

*2：Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 を区別しないで使用する場合は、「Windows Server」と表記しています。

*3：N7100、N7100E、N1800、および fi-6010N を区別しないで使用する場合は、「ネットワークスキャナー」と表記しています。

本書で使用している記号

本書では、説明中に次の記号を使用しています。

イメージスキャナー	イメージスキャナー固有の説明であることを表しています。 イメージスキャナーとは、大量の原稿を高速で読み取って電子化できる、コンピューターに接続したスキャナーです。 集中管理可能なイメージスキャナーについては、Scanner Central Admin Agent の readme を参照してください。
イメージスキャナー（NX Manager運用時）	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）固有の説明であることを表しています。 イメージスキャナー（NX Manager 運用時）とは、大量の原稿を高速で読み取って電子化できる、NX Manager に接続したスキャナーです。 集中管理可能なイメージスキャナー（NX Manager 運用時）については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
ネットワークスキャナー	ネットワークスキャナー固有の説明であることを表しています。 ネットワークスキャナーとは、ネットワークでつながるオフィスのワークグループで使用できる、オフィス業務に最適な機能をやさしい操作性で実現したネットワーク接続型スキャナーです。 集中管理可能なネットワークスキャナーについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。
例：「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Server」→「Scanner Central Admin Console」を選択します。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
画面は、改善のため予告なく変更することがあります。
表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。
なお、オペレーティングシステムによって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

Windows Server 2012 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロール パネルの表示は、すべてのアプリ画面から行います。
すべてのアプリ画面は、以下の手順で表示できます。

1 スタート画面を右クリックします。
2 アプリバーから「すべてのアプリ」をクリックします。

Windows Server 2012 R2 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロール パネルの表示は、すべてのアプリ画面から行います。
すべてのアプリ画面は、以下の手順で表示できます。

1 スタート画面左下にある をクリックします。
 はマウスを動かすと表示されます。

Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロール パネルの表示は、以下の手順で行います。

アプリケーションの起動方法

1「スタート」メニュー → 起動するアプリケーションを選択します。

コントロール パネルの表示方法

1「スタート」メニュー →「Windows システムツール」→「コントロール パネル」をクリックします。

Windows 11 をお使いの方へ

本製品の各アプリケーションの起動およびコントロール パネルの表示は、以下の手順で行います。

アプリケーションの起動方法

1「スタート」メニュー →「すべてのアプリ」→ 起動するアプリケーションを選択します。

コントロール パネルの表示方法

1「スタート」メニュー →「すべてのアプリ」→「Windows ツール」をクリックし、「コントロール パネル」をダブルクリックします。

本書に記載されているスキャナーの各部名称

本書で記載されているスキャナーのボタン、およびオペレーターパネル部のディスプレイは、お使いのスキャナーによっては名称が異なります。
本書に記載されている名称が実際の名称と異なる場合は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

目次

本書の使い方 2
はじめに 3
本書をお読みになる前に 5

第 1 章 Scanner Central Admin の概要 14

1.1 Scanner Central Admin の特長 15

1.2 Scanner Central Admin の主な機能 16

スキャナーアップデート機能 16
スキャナー監視機能 16
スキャナー管理機能 17

1.3 Scanner Central Admin のシステム構成 18

1.4 運用形態 19

Scanner Central Admin Server を利用した運用 19
メール通知を利用した運用 20
統合管理システムと連携した運用 21

1.5 動作環境 22

Scanner Central Admin Server の動作環境 22
Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator の動作環境 23
Scanner Central Admin Agent の動作環境 24
Scanner Central Admin のためのネットワーク条件 26
集中管理可能なスキャナー台数 26
使用するポート番号一覧 27

第 2 章 Scanner Central Admin の導入 29

2.1 運用形態ごとに必要なアプリケーション 30

2.2 Scanner Central Admin Server のインストール 32

2.3 Scanner Central Admin Console のインストール 35
2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール 37
通常インストール 37
自動設定 / 登録処理インストール 38
統合管理システムと連携した運用でのサイレントインストール 39

第 3 章 Scanner Central Admin Server を利用した運用 41
3.1 作業の流れ 42
3.2 事前設定（Scanner Central Admin Server） 45
Scanner Central Admin Server のインストール 45
証明書のインポート（HTTPS の場合） 45
ファイアウォールの設定 46
3.3 事前設定（Scanner Central Admin Console） 48
Scanner Central Admin Console のインストール 48
Error Recovery Guide のインストール 48
3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン 49
3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定 51
共通設定 51
ネットワークスキャナー設定 52
3.6 事前設定（Scanner Central Admin Agent） 53
Scanner Central Admin Agent のインストール 53
Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定 53
3.7 事前設定（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー） 55
イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの Scanner Central Admin Server の設定 55
3.8 スキャナーの登録 56
3.9 最新アップデートの確認 57
アップデートモジュールを確認するための設定 57
アップデートモジュールの確認 57
3.10 イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデート 59

アップデート可能な種別 59
アップデートモジュールの作成 60
アップデートモジュールの登録 65
アップデートモジュールの適用（イメージスキャナー） 67
アップデートモジュールの適用（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）） 68
適用状況の確認 68
3.11 ネットワークスキャナーのアップデート 69
アップデート可能な種別 69
システムのアップデート 69
Add-in のインストール 71
システム環境設定の更新 74
共有ジョブの設定 76
適用状況の確認 77
3.12 スキャナーの監視 78
スキャナーの各種状態の監視 78
スキャナーの稼働状況の監視 78
統計情報の参照 79
イベント一覧の参照 80
監査ログの収集 / 取り出し 81
3.13 スキャナーの管理 84
スキャナーの情報 85
スキャナー構成情報の追加 101
スキャナー構成情報の編集 102
スキャナー構成情報の削除 102
グループの編集 103
スキャナー構成情報のエクスポート 104
スキャナー構成情報のインポート 104
スキャナーの自動探索 / 登録 105

スキャナー一覧に表示する項目の編集 107
スキャナー詳細情報の確認 108
3.14 スキャナーの保守 109
3.15 運用パターン例 110
スキャナーを監視する運用 110
スキャナーをアップデートする運用 111
第 4 章 メール通知を利用した運用 113
4.1 作業の流れ 114
4.2 事前設定（SMTP サーバー） 115
SMTP サーバーの確認 115
4.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent） 116
Scanner Central Admin Agent のインストール 116
Scanner Central Admin Agent のメール送信の設定 116
4.4 事前設定（ネットワークスキャナー） 118
ネットワークスキャナーのメール送信の設定 118
4.5 メールの確認 119
4.6 スキャナーの保守 124
第 5 章 統合管理システムと連携した運用 125
5.1 作業の流れ 126
5.2 事前設定（統合管理システム） 127
統合管理システム（SNMP マネージャー）の設定 127
統合管理システム（SNMP マネージャー）の確認 127
統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するための設定 127
5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent） 129
Scanner Central Admin Agent のインストール 129
Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定 129
5.4 事前設定（ネットワークスキャナー） 131

ネットワークスキャナーの SNMP 連携の設定 131
5.5 SNMP トラップの確認 132
5.6 スキャナーの保守 134

第 6 章 Scanner Central Admin の保守 135
6.1 Scanner Central Admin Server の保守 136
Scanner Central Admin Server に関する情報の退避 136
Scanner Central Admin Server に関する情報の復元 137
Scanner Central Admin Server の保守情報の採取 138
6.2 Scanner Central Admin Agent の保守 139
Scanner Central Admin Agent のアップデート 139
Scanner Central Admin Agent の保守情報の採取 139
6.3 SCAModuleCreator の保守情報の採取 141
6.4 イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの保守 142

付録 143
付 .1 メッセージ一覧 144
Windows Server のイベントログのメッセージ（Scanner Central Admin Server） 144
退避・復元コマンドのメッセージ（Scanner Central Admin Server） 146
監査ログの取り出しコマンドのメッセージ（Scanner Central Admin Server） 148
Scanner Central Admin Console 画面のメッセージ（Scanner Central Admin Console） 149
付 .2 外部入出力ファイルの形式 150
スキャナー構成情報ファイルの形式 150
イベントログファイルの形式 166
統計情報ファイルの形式 166
付 .3 Scanner Central Admin Server の移行手順 168
同一バージョンの Scanner Central Admin Server を移行する場合 168
旧バージョンの Scanner Central Admin Server から
新バージョンの Scanner Central Admin Server に移行する場合 169

付 .4　退避・復元 170
Scanner Central Admin に関する情報の退避・復元 170
Central Admin Server が出力するイベントソース名 171
付 .5　スキャナー別機能比較 172
付 .6　Scanner Central Admin のバージョンアップ手順 174
付 .7　アプリケーションのアンインストール 175
Scanner Central Admin Server をアンインストールする場合の注意事項 175
Scanner Central Admin Console をアンインストールする場合の注意事項 175
アプリケーションのアンインストール手順 175
付 .8　任意のファイルのアップデート手順 177
付 .9　Scanner Central Admin のアプリケーション構成 179
付 .10　Scanner Central Admin Server の接続可否 180
付 .11　SNMP トラップで通知するメッセージコード 181
用語集 184
索引 188

第 1 章　Scanner Central Admin の概要

この章では、Scanner Central Admin の特長、主な機能、システム構成などについて説明します。

1.1 Scanner Central Admin の特長 15
1.2 Scanner Central Admin の主な機能 16
1.3 Scanner Central Admin のシステム構成 18
1.4 運用形態 19
1.5 動作環境 22

1.1 Scanner Central Admin の特長

Scanner Central Admin の特長について説明します。
Scanner Central Admin には、次のような特長があります。

スキャナーを短時間で大量導入

複数台のスキャナーを一括で設定できるため、スキャナーごとの設定作業が不要となり、大量のスキャナーを導入するときや設定を変更するときの作業時間を大幅に短縮できます。

スキャナーに適用可能な最新アップデートモジュールを自動で確認

管理しているスキャナーに適用可能な最新のアップデートモジュールが Web サイトに公開されているかを、自動で定期的に確認します。適用可能なアップデートモジュールが公開されている場合、管理者に通知できます。

スキャナーの一括アップデートを実現

スキャナー導入後、Web サイト上で公開されている最新のドライバーにアップデートしたいとき、複数台のスキャナーを一括でアップデートできます。
スキャナーを接続したコンピューターごとのアップデート作業が不要となり、短時間で大量のスキャナーを最新のドライバーにアップデートできます。
そのほか、ファームウェアやアプリケーションなどもアップデートできます。

スキャナーを自動探索して一括登録

指定したネットワーク範囲から集中管理するスキャナーを自動で探索し、登録できます。

スキャナーの稼働状況をリアルタイムで監視

稼働しているスキャナーの台数、消耗品交換が必要なスキャナー、エラーが発生しているスキャナー、およびメンテナンスが必要な要確認状態のスキャナーなど、スキャナーの稼働状況をリアルタイムで監視できます。

スキャナーを集中管理

複数台のスキャナーの情報（スキャナーの機種名、システム / ファームウェア / ドライバーの版数など）を一覧で確認できます。
スキャナーの情報は、スキャナーから自動的に登録されるため、大量のスキャナーを簡単に集中管理できます。

スキャナーの消耗品交換やエラーをメールで通知

スキャナーの消耗品交換やエラーを、管理者にメールで通知できます。
管理者は通知されたメールを確認することで、各拠点に点在するスキャナーに対して迅速に対応できます。
このメール通知を利用した運用は、既存のメールシステムを利用できるため、簡単に導入できます。

統合管理システムとの連携を実現

スキャナーの消耗品交換やエラーを、統合管理システムに SNMP トラップで通知できます。
管理者は統合管理システムに通知された SNMP トラップを確認することで、各拠点に点在するスキャナーに対して迅速に対応できます。
この統合管理システムと連携した運用は、既存の統合管理システムを利用できるため、簡単に導入できます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

1.2 Scanner Central Admin の主な機能

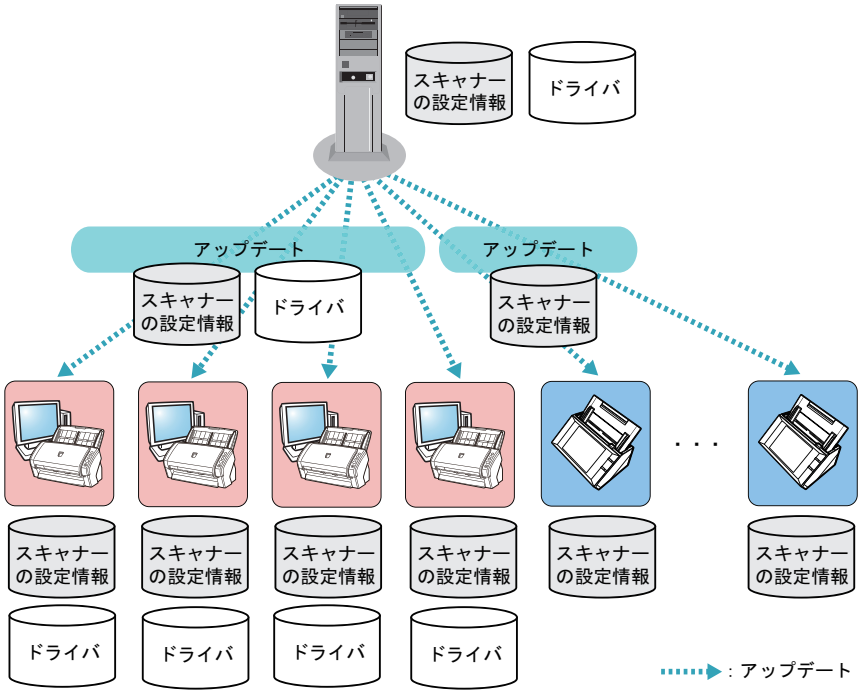
Scanner Central Admin の主な機能について説明します。

ヒント

各スキャナーの機能差については、「付 .5 スキャナー別機能比較」（P.172）を参照してください。

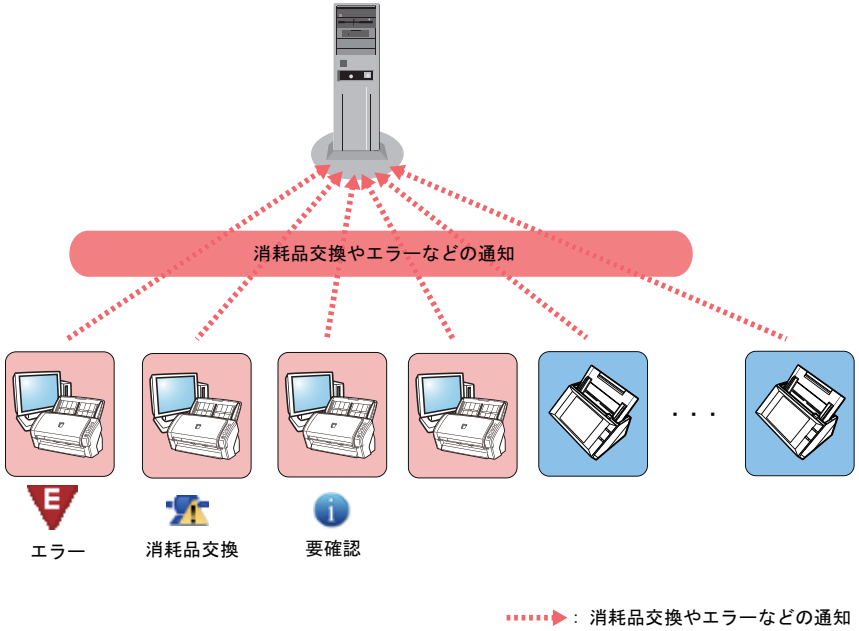
スキャナーアップデート機能

複数台のスキャナーの設定情報やドライバーなどを、一括してアップデートする機能です。
スキャナーごとのアップデートが不要となり、大量のスキャナーをアップデートするための作業時間を大幅に短縮できます。



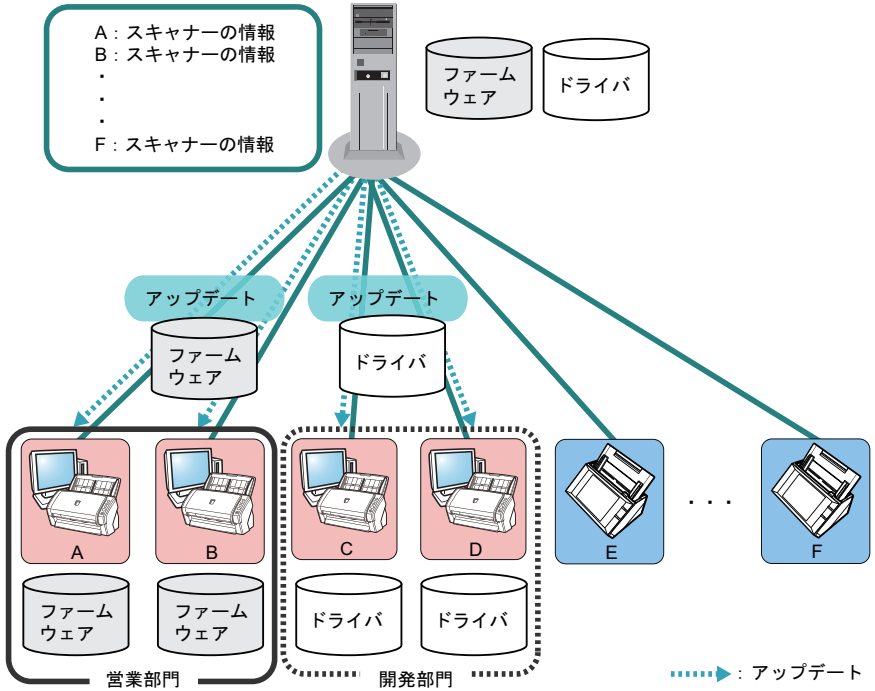
スキャナー監視機能

消耗品交換が必要なスキャナー、エラーが発生しているスキャナー、およびメンテナンスが必要な要確認状態のスキャナーがないかを監視する機能です。
スキャナーの稼働状況を簡単に確認できます。



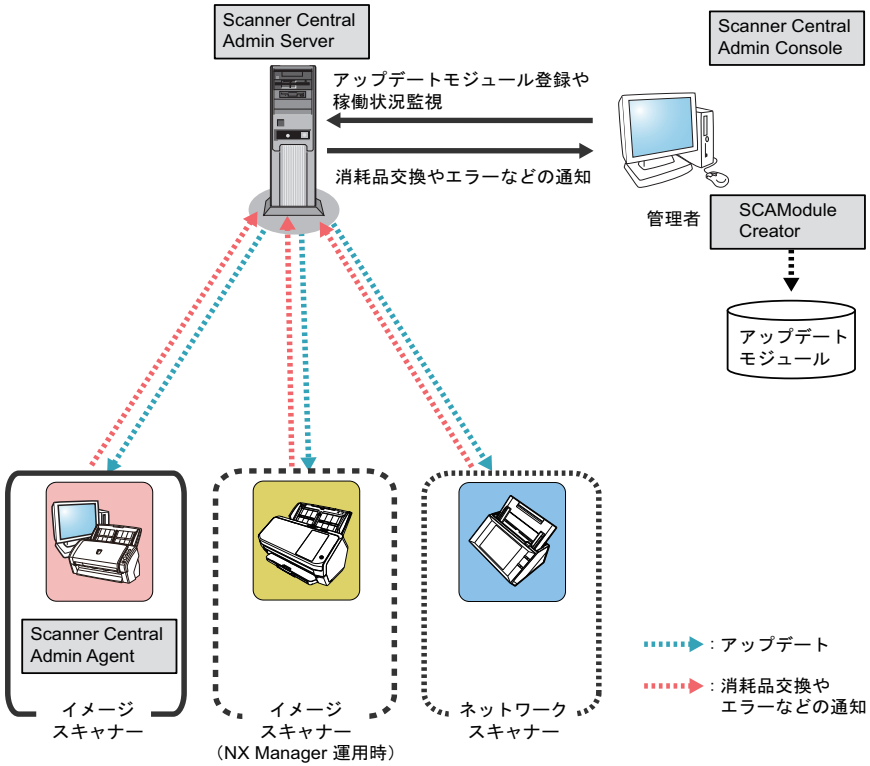
スキャナー管理機能

スキャナーの情報（スキャナーの機種名、システム / ファームウェア / ドライバーの版数など）を確認したり、スキャナーをグループ分けしたりして、スキャナーを管理する機能です。
スキャナーを部門単位などでグループ分けすることで、部門ごとにアップデートできるようになります。



1.3 Scanner Central Admin のシステム構成

Scanner Central Admin のシステム構成について説明します。



Scanner Central Admin は、4 つのアプリケーションから構成されています。

- Scanner Central Admin Server

  スキャナーを集中管理するコンピューターにインストールするアプリケーションです。
  スキャナーを Scanner Central Admin Server に登録して、一元管理を行う集中管理システムを構築できます。

- Scanner Central Admin Console

  アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピューターにインストールするアプリケーションです。
  管理者は Scanner Central Admin Console の画面から、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行えます。
  また、スキャナーから通知された消耗品交換、エラー、およびメンテナンスが必要な要確認状態を、画面上で確認できます。

- Scanner Central Admin Agent

  スキャナーを接続しているコンピューターにインストールするアプリケーションです。
  イメージスキャナーの場合、スキャナーが Scanner Central Admin Server と連携するために必要となります。
  イメージスキャナー（NX Manager 運用時）およびネットワークスキャナーの場合、Scanner Central Admin Server と連携する機能があるため、インストールする必要はありません。
  Scanner Central Admin Server と連携すると、スキャナーの設定情報などのアップデートをスキャナーに適用できます。
  また、スキャナーから消耗品交換やエラーを通知できます。

- SCAModuleCreator

  Scanner Central Admin Serverに登録するアップデートモジュールを作成するアプリケーションです。

  イメージスキャナーおよびイメージスキャナー（NX Manager運用時）のアップデートモジュールを作成する場合にだけ必要となります。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

1.4 運用形態

運用形態について説明します。
スキャナーの台数、システムの規模、既存の運用システムなどに応じて、最適なシステム構築ができるように、次の 3 つの運用形態があります。

- Scanner Central Admin Server を利用した運用
- メール通知を利用した運用
- 統合管理システムと連携した運用

次に、それぞれの運用形態について説明します。

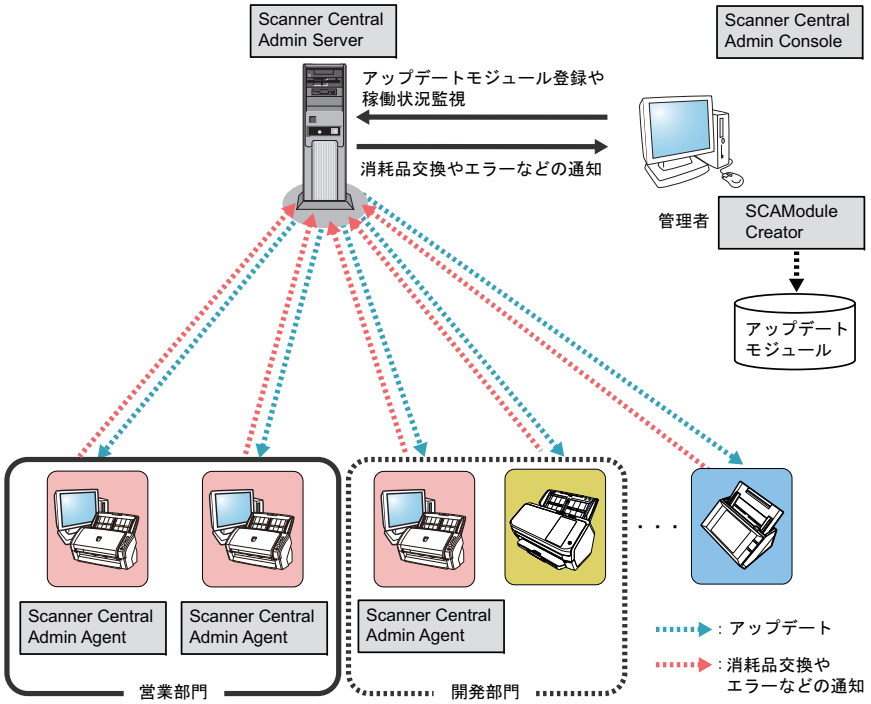
ヒント

Scanner Central Admin Server を利用すると、いろいろな運用パターンを実現できます。運用パターン例については、「3.15 運用パターン例」（P.110）を参照してください。

Scanner Central Admin Server を利用した運用

イメージスキャナー | イメージスキャナー（NX Manager運用時） | ネットワークスキャナー

Scanner Central Admin Server を利用して構築する集中管理システムで、管理者は Scanner Central Admin Console の画面からスキャナーの一元管理を行います。



使用するアプリケーション

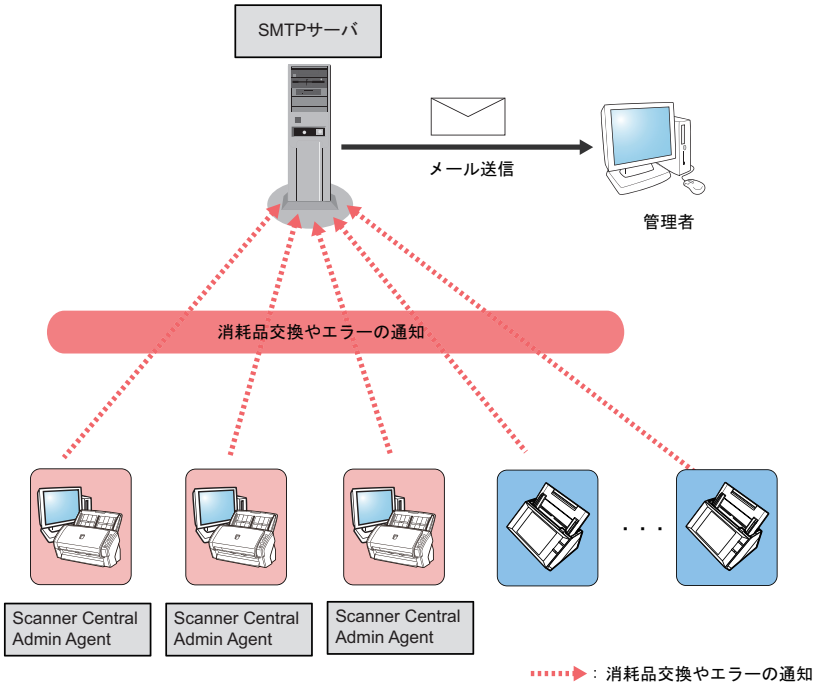
- Scanner Central Admin Server
- Scanner Central Admin Console
- Scanner Central Admin Agent
- SCAModuleCreator

特長

スキャナーアップデート機能、スキャナー監視機能、スキャナー管理機能のすべての機能を使用できます。

メール通知を利用した運用 イメージスキャナー ネットワークスキャナー

スキャナー使用中に、消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合、管理者にメールで通知します。
管理者は通知されたメールを確認することで、スキャナーに対して迅速に対応できます。
既存のメールシステムを利用するため、簡単にスキャナーを管理できるようになります。



使用するアプリケーション

- SMTP サーバー
- Scanner Central Admin Agent

特長

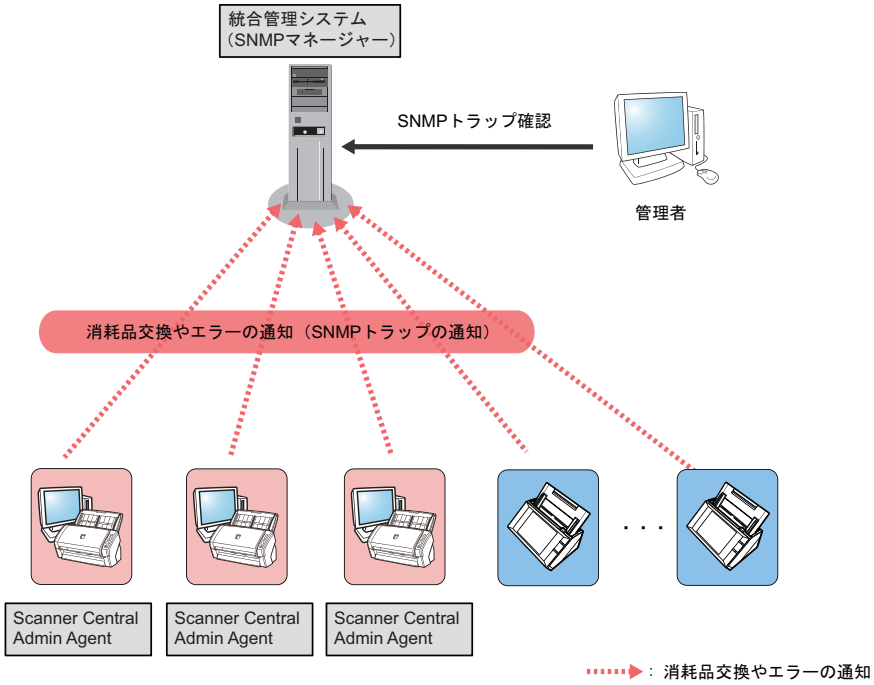
メール通知を利用して、スキャナー監視機能を使用できます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

統合管理システムと連携した運用

イメージスキャナー　ネットワークスキャナー

スキャナー使用中に、消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合、統合管理システム（SNMP マネージャー）に SNMP トラップを通知します。
管理者は統合管理システム（SNMP マネージャー）に通知された SNMP トラップを確認することで、スキャナーに対して迅速に対応できます。
既存の統合管理システムを利用するため、簡単にスキャナーを管理できるようになります。



使用するアプリケーション

- 統合管理システム（SNMP マネージャー）
- Scanner Central Admin Agent

特長

SNMP トラップ通知を利用して、スキャナー監視機能を使用できます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

1.5 動作環境

動作環境について説明します。

Scanner Central Admin Server の動作環境

Scanner Central Admin Server の動作環境は、次のとおりです。

ソフトウェア

- オペレーティングシステム（*1）
  - Windows Server® 2012 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2012 R2 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）
- .NET Framework 4.6.2 以降（*2）
- IIS 7.0 以降（*3）（*4）
- SQL Server（*5）
  - Microsoft® SQL Server™ 2014 Express（32/64 ビット）
  - Microsoft® SQL Server™ 2016 Express（64 ビット）
  - Microsoft® SQL Server™ 2017 Standard（64 ビット）
  - Microsoft® SQL Server™ 2019 Standard（64 ビット）
- Microsoft® Windows® Installer 5.0 以降
- Scan to Microsoft SharePoint（*6）

*1：Scanner Central Admin Server のオペレーティングシステムの言語とネットワークスキャナーの選択言語は、同一である必要があります。

*2：.NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

*3：IIS 7.0 以降の Web サーバーをインストールしておく必要があります。

*4：IIS 7.0 以降をインストールする場合は、次のコンポーネントを必ずインストールしてください。
- Web サーバー
  - HTTP 基本機能（静的なコンテンツ / 規定のドキュメント / HTTP エラー）
  - アプリケーション開発（ASP.NET/.NET 拡張性 /ISAPI 拡張 / ISAPI フィルター）
  - 状態と診断（HTTP ログ / 要求の監視）
  - セキュリティ（要求フィルター）
  - パフォーマンス（静的なコンテンツの圧縮）
- 管理ツール
  - IIS 管理コンソール

*5：Scanner Central Admin Server をインストールするときに、新規で SQL Server をインストールするか、または既存の SQL Server を使用するかを選択できます。新規でインストールする場合は、Microsoft® SQL Server™ 2014 Express（32 ビット）がインストールされます。

*6：Microsoft Office SharePoint Server 連携を行う場合にインストールが必要です。
インストーラーは次のホームページからダウンロードします。ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
https://www.pfu.fujitsu.com/registration/fi-software/jp/sms-form.html

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

重要

N7100/N7100E と連携するときのソフトウェア

Scanner Central Admin で、システム環境設定の更新、および読み取り設定を含むジョブ設定編集を行うには、以下の環境が必要です。

- Scanner Central Admin Console 3.4 以降（N7100）
  Scanner Central Admin Console 5.2.1 以降（N7100E）
  現在インストールされているバージョンは、Scanner Central Admin Console の画面で［バージョン情報］ボタンを押すと表示されます。
- .NET Framework 4.6.2 以降
  Scanner Central Admin Server と Scanner Central Admin Console の実行環境にインストールされている必要があります。

ヒント

Scanner Central Admin Server と NX Manager は、同じコンピューターにインストールできます。

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、次の要件を満たすコンピューター

CPU	Intel または Intel 互換プロセッサー（*1）
メモリー容量	512MB 以上（推奨：1GB 以上）（*1）
ディスク容量	4.2GB 以上の空き容量が必要

*1：使用するオペレーティングシステムの推奨システム要件に準ずる。

- XGA 以上のモニター
- LAN ケーブル

Scanner Central Admin Console/ SCAModuleCreator の動作環境

Scanner Central Admin Console および SCAModuleCreator の動作環境は、次のとおりです。

ソフトウェア

- オペレーティングシステム
  - Windows Server® 2012 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2012 R2 Standard（64 ビット）
  - Windows® 10 Home（32/64 ビット）
  - Windows® 10 Pro（32/64 ビット）
  - Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット）
  - Windows® 10 Education（32/64 ビット）
  - Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）
  - Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）
  - Windows® 11 Home（64 ビット）
  - Windows® 11 Pro（64 ビット）
  - Windows® 11 Enterprise（64 ビット）
  - Windows® 11 Education（64 ビット）
- .NET Framework 4.6.2 以降（*1）

*1：.NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

重要

動作環境によっては、一部機能が使用できません。
詳細は、「N7100/N7100E と連携するときのソフトウェア」（P.23）を参照してください

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、次の要件を満たすコンピューター

メモリー容量	1GB 以上（推奨：4GB 以上）（*1）
ディスク容量	2.2GB 以上の空き容量が必要

*1：使用するオペレーティングシステムの推奨システム要件に準ずる。

- XGA 以上のモニター
- LAN ケーブル
- ポインティングデバイス（マウスなど）

Scanner Central Admin Agent の動作環境

イメージスキャナー

Scanner Central Admin Agent の動作環境は、次のとおりです。

ソフトウェア

- オペレーティングシステム
  - Windows Server® 2012 Standard（64 ビット）（*1）
  - Windows Server® 2012 R2 Standard（64 ビット）（*1）
  - Windows® 10 Home（32/64 ビット）
  - Windows® 10 Pro（32/64 ビット）
  - Windows® 10 Enterprise（32/64 ビット）
  - Windows® 10 Education（32/64 ビット）
  - Windows Server® 2016 Standard（64 ビット）（*1）
  - Windows Server® 2019 Standard（64 ビット）（*1）
  - Windows Server® 2022 Standard（64 ビット）（*1）
  - Windows® 11 Home（64 ビット）
  - Windows® 11 Pro（64 ビット）
  - Windows® 11 Enterprise（64 ビット）
  - Windows® 11 Education（64 ビット）

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

- .NET Framework 4.6.2 以降（*2）

重要

Microsoft .NET Framework Language Pack をインストールしていない環境で Scanner Central Admin Agent を動作させた場合、一部のエラーメッセージが英語で表示されます。

*1：デスクトップエクスペリエンス機能を有効にしておく必要があります。

*2：.NET Framework がインストールされていない場合は、その旨を通知します。マイクロソフトの Web サイトからダウンロードしてインストールしてください。

スキャナーを監視および管理する場合は、次のソフトウェアをインストールする必要があります。
また、次のソフトウェアをインストールする場合は、Software Operation Panel もインストールしてください。

- PaperStream IP（TWAIN）
- PaperStream IP（TWAIN x64）
- PaperStream IP（ISIS）
- TWAIN ドライバー
- VRS

ハードウェア

- サポートするソフトウェアが動作し、次の要件を満たすコンピューター

CPU	Intel または Intel 互換プロセッサー（*1）
メモリー容量	1GB 以上（推奨：4GB 以上）（*1）
ディスク容量	2.2GB 以上の空き容量が必要

*1：使用するオペレーティングシステムの推奨システム要件に準ずる。

重要

- スキャナーの接続方法や動作環境については、お使いのスキャナーのマニュアルを参照してください。
- 集中管理可能なイメージスキャナーについては、Scanner Central Admin Agent の readme を参照してください。

- XGA 以上のモニター
- LAN ケーブル
- ポインティングデバイス（マウスなど）

Scanner Central Admin のためのネットワーク条件

集中管理を行うために必要となるネットワーク条件について説明します。
Scanner Central Admin を導入する場合、次のネットワーク条件を満たしている必要があります。

- Scanner Central Admin Server からネットワークスキャナーへの HTTP/HTTPS 通信が可能（自動探索機能、配付通知機能を使用する場合）
- Scanner Central Admin Agent/ イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーから Scanner Central Admin Server への HTTP/HTTPS 通信が可能
- Scanner Central Admin Console から Scanner Central Admin Server への HTTP/HTTPS 通信が可能
- Scanner Central Admin Server からネットワークスキャナーへの Wake On LAN Magic Packet のルーティングが可能（Wake On LAN を使用する場合）
- Scanner Central Admin Server/Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナーから SMTP サーバーへの SMTP 通信が可能
- Scanner Central Admin Agent から統合管理システムへの SNMP トラップ通信が可能
- SCAModuleCreator からダウンロードサイト（インターネット上のサイト）への HTTP 通信が可能（ダウンロードサイトからアップデートモジュールを取得する場合）
- Scanner Central Admin Server からダウンロードサイトへの HTTP 通信が可能（最新アップデート確認機能を使用する場合）

重要

Scanner Central Admin Agent またはネットワークスキャナーと Scanner Central Admin Server の接続には、次の制約があります。

- HTTP プロキシを経由した通信を必要とする環境はサポートしません。
- NAT・NAPTによるIPアドレス変換が行われる環境はサポートしません。

集中管理可能なスキャナー台数

Scanner Central Admin Server で集中管理可能なスキャナー台数は、1,000 台です。
1,000 台を超えた場合は、管理対象としてスキャナーを登録できません。スキャナーが 1,000 台を超える環境では、Scanner Central Admin Server を複数台用意し、それぞれの Scanner Central Admin Server が管理対象とするスキャナーを 1,000 台以下にする必要があります。

使用するポート番号一覧

使用するポート番号一覧は、次のとおりです。

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Server ⇨ イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー	80（HTTP）（*1）	6（TCP）
		443（HTTPS）（*1）	6（TCP）
	Scanner Central Admin Agent/ イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー ⇨Scanner Central Admin Server	20444（HTTP/ HTTPS）（*1）	6（TCP）
	Scanner Central Admin Console ⇨Scanner Central Admin Server	10444（HTTP/ HTTPS）（*1）（*6）	6（TCP）
		10445（HTTP）（*7）	6（TCP）
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Server ⇨LDAP サーバー（*2）	389（LDAP）	6（TCP）
		636（LDAPS）	6（TCP）
		3268（Active Directory Global Catalog）	6（TCP）
		3269（Active Directory Global Catalog over SSL）	6（TCP）
	Scanner Central Admin Server ⇨ プリントサーバー（*2）	137,138,139, 445（SMB）	6 （TCP） 17（UDP）
	Scanner Central Admin Server ⇨ ファイルサーバー（*2）	137,138,139, 445（SMB）	6 （TCP） 17（UDP）
	Scanner Central Admin Server ⇨FTP サーバー（*2）	20,21（FTP）（*1）	6（TCP）
	Scanner Central Admin Server ⇨FTPS サーバー（*2）	989,990（FTPS）（*1）	6（TCP）

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Server ⇨SMTP サーバー（*2）	25（SMTP）（*1）	6（TCP）
	Scanner Central Admin Server ⇨ プロキシサーバー（*2）	任意	6（TCP）
	Scanner Central Admin Server の SharePoint 連携（*2）	30444（HTTP/HTTPS）（*1）	6（TCP）
	Scanner Central Admin Server ⇨ ダウンロードサイト（*5）	80（HTTP）	6（TCP）
メール送信	Scanner Central Admin Agent/ ネットワークスキャナー ⇨SMTP サーバー	25（SMTP）（*1）	6（TCP）
SNMP トラップ通知（*3）	Scanner Central Admin Agent ⇨ 統合管理システム（SNMP マネージャー）	162（snmp-trap）	17（UDP）
アップデートモジュール作成（*4）（*5）	SCAModuleCreator ⇨ ダウンロードサイト	80（HTTP）	6（TCP）
Wake On LAN	Scanner Central Admin Server ⇨ ネットワークスキャナー（*2）	443（Wake On LAN Magic Packet）（*1）	17（UDP）

*1：変更が可能です。

*2：ネットワークスキャナーの場合です。

*3：イメージスキャナーの場合です。

*4：イメージスキャナーおよびイメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合です。

*5：ダウンロードサイトからアップデートの情報とモジュールを取得する場合です。

*6、*7：（*7）のポート番号は、（*6）のポート番号に「1」を加えた値を使用します。

第 2 章　Scanner Central Admin の導入

この章では、Scanner Central Admin の導入について説明します。

2.1 運用形態ごとに必要なアプリケーション.....30
2.2 Scanner Central Admin Server のインストール.....32
2.3 Scanner Central Admin Console のインストール.....35
2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール.....37

2.1 運用形態ごとに必要なアプリケーション

運用形態ごとに必要なアプリケーションについて説明します。

運用形態	アプリケーション	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
Scanner Central Admin Server を利用した運用	Scanner Central Admin Server	○	○	○
	Scanner Central Admin Console	○	○	○
	Scanner Central Admin Agent	○	-	-
	SCAModuleCreator	○	○	-
メール通知を利用した運用	SMTP サーバー（*1）	○	-	○
	Scanner Central Admin Agent	○	-	-
統合管理システムと連携した運用	統合管理システム（SNMP マネージャー）（*2）	○	-	○
	Scanner Central Admin Agent	○	-	-

○ ：必要
- ：不要

*1 ：既存のメールシステムを利用します。
*2 ：既存の統合管理システムを利用します。

それぞれの運用形態で必要なアプリケーションをインストールしてください。
それぞれのアプリケーションのインストール方法については、次を参照してください。

- Scanner Central Admin Server
  「2.2 Scanner Central Admin Server のインストール」（P.32）
- Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator
  「2.3 Scanner Central Admin Console のインストール」（P.35）

- Scanner Central Admin Agent
  「2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール」（P.37）

重要

Scanner Central Admin を利用される場合は、Scanner Central Admin Server、Scanner Central Admin Console、Scanner Central Admin Agent、イメージスキャナーのドライバー、およびイメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーのソフトウェアのバージョンを最新にアップデートしてご利用ください。
最新でない場合は、一部の機能が利用できないことがあります。

2.2 Scanner Central Admin Server のインストール

Scanner Central Admin Server は、スキャナーを集中管理するコンピューターにインストールします。

1 Scanner Central Admin Serverの動作環境の条件が満たされていることを確認します。

Scanner Central Admin Server の動作環境については、「Scanner Central Admin Server の動作環境」（P.22）を参照してください。

2 コンピューターを起動します。

重要

コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

1 Scanner Central Admin Server のインストーラーは、次のホームページからダウンロードします。
ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
http://imagescanner.fujitsu.com/jp/downloads/sca/index.html

2 手順 3 に進みます。

重要

動作環境として必要となる 4.2GB 以上の空きディスク容量には、Microsoft® SQL Server™ 2017 Express（64 ビット）をインストールするときに必要な空きディスク容量 1GB が含まれています。

3 表示される画面の指示に従ってインストールします。

重要

- Scanner Central Admin Server がすでにインストールされている場合は、「2.3 Scanner Central Admin Console のインストール」（P.35）から操作してください。
- 旧バージョンの Scanner Central Admin Server がインストールされている場合、アップグレードインストールが行えます。なお、アップグレードインストールでは、設定情報がそのまま引き継がれますが、万一に備えて、事前に Scanner Central Admin Server に関する情報を退避してください。退避の操作方法については、「Scanner Central Admin Server に関する情報の退避」（P.136）を参照してください。
- Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピューターと Scanner Central Admin Console がインストールされているコンピューターの日付と時刻には正しい値を設定してください。日付と時刻が大幅に異なっていると、正常に動作しない場合があります。

ヒント

- 必要に応じて、インストールするソフトウェアを選択します。次のソフトウェアを選択できます。
  - Scanner Central Admin Server
  - Scanner Central Admin Server Database

  Scanner Central Admin Server をサーバー 1 台で運用する場合は、初期値から変更する必要はありません。1 台のサーバーに上記 2 つのソフトウェアをインストールしてください。
  Scanner Central Admin Server Database を別のサーバーで運用する場合は、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。
  PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
- インストール先のフォルダーには、ローカルディスクのフォルダーを指定してください。
- ルートフォルダーに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。
- インストール先のフォルダー名に次に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。

  ; , . # %
- 次のエラーメッセージでインストールが失敗することがあります。

  An installation package for the product Microsoft SQL Server Native Client cannot be found. Try the installation agent using a valid copy of the installation package 'sqlncli.msi'.

  このような場合は、「SQL ネイティブ クライアント」をアンインストールしてください。その後、Scanner Central Admin Server のインストールを再び実行してください。
- 次のエラーメッセージでインストールが失敗した場合は、IIS のサービス（w3svc.exe）を一度停止し、手動で再開してください。その後、Scanner Central Admin Server のインストールを再度実行してください。

  システムがビジー状態のため、インストールを中断します。しばらくしてから、再度セットアップを行ってください。
- 次のエラーメッセージが発生した場合は、IIS 管理コンソールがインストールされているか確認してください。IIS 管理コンソールがインストールされていない場合は、IIS の役割サービス内から IIS 管理コンソールを選択し、インストールしてください。

  このセットアップを実行するには IIS 管理コンソールがインストールされている必要があります。
  詳細は、マニュアルを参照してください。

  IIS の役割サービスを選択するには、「管理ツール」の「サーバ - マネージャ」で「役割の概要」内の Web サーバー（IIS）を選択してください。
- 必要に応じて、次の設定を変更します。
  - スキャナーと通信するためのポート番号
  - Scanner Central Admin Console と通信するためのポート番号
  - Scanner Shared Folder Service ポート番号

  インストール後に、ポート番号、通信プロトコルを変更したい場合は、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面で変更してください。
- Scanner Central Admin Server では、Scanner Central Admin Console との通信、およびスキャナーからの通信で HTTPS を使用するため、自己署名された証明書をコンピューターにインポートします。この証明書は正式な証明書ではないため、正式な証明書を独自にインポートすることを推奨します。詳細は、「証明書のインポート（HTTPS の場合）」（P.45）を参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

- インストールおよびアンインストール中に、中断または失敗した場合、次のプログラムがインストールされた状態となることがあります。
  - Microsoft SQL Server 2014 の AMMANAGER インスタンス
  - Microsoft SQL Server Native Client
  - Microsoft SQL Server Setup Support Files (English)
  - Microsoft SQL Server VSS Writer
  - MSXML 6.0 Parser

  このような場合は、上記プログラムをアンインストールしてください。
  プログラムのアンインストールについて、ここでは、Windows Server 2012 の例で説明します。
  プログラムのアンインストールは、インストールしたコンピューターの「コントロール パネル」から「プログラムと機能」を選択して行います。
  なお、「Microsoft SQL Server 2014 の AMMANAGER インスタンス」をアンインストールする場合は、次の手順で操作してください。
  1 「プログラムと機能」の一覧から「Microsoft SQL Server 2014 (64-bit)」を選択して、[アンインストールと変更] ボタンを押します。
  2 以降は、画面の指示に従って操作を進めてください。
  ただし、インスタンスの選択は「AMMANAGER: データベースエンジン」を選択してください。

  「Microsoft SQL Server 2014 の AMMANAGER インスタンス」以外のプログラムは、ほかのアプリケーションで使用している場合は、削除する必要はありません。
- Scanner Central Admin Server のインストール後に次のような変更を行う場合は、いったん Scanner Central Admin Server をアンインストールして、変更後に再度インストールしてください。
  - Scanner Central Admin Server を Active Directory のドメインコントローラーにする場合
  - ドメインコントローラーの役割を削除する場合

4 インストール完了後、再起動の問い合わせ画面が表示されたら、再起動します。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

2.3 Scanner Central Admin Console のインストール

Scanner Central Admin Console は、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピューターにインストールします。
SCAModuleCreator は、Scanner Central Admin Console と同時にインストールされます。

1 Scanner Central Admin Console の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Console の動作環境については、「Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator の動作環境」（P.23）を参照してください。

2 コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

1 Scanner Central Admin Console のインストーラーは、次のホームページからダウンロードします。
ダウンロードするには、インターネットに接続する環境が必要です。
http://imagescanner.fujitsu.com/jp/downloads/sca/index.html

2 手順 3 に進みます。

3 表示される画面の指示に従ってインストールします。

重要

- Internet Explorer の「ツール」メニュー →「インターネットオプション」を選択して表示される「インターネットオプション」画面での設定について、次の点に注意してください。
  - 「全般」タブの［ユーザー補助］ボタンを押して表示される「ユーザー補助」画面で、書式設定、ユーザースタイルシートの各種設定をしないでください。Scanner Central Admin Console の表示スタイルが崩れる場合があります。
  - 「全般」タブの［言語］ボタンを押して表示される「言語の優先順位」画面で、Scanner Central Admin Server のオペレーティングシステムと同じ言語を指定してください。異なる言語を指定した場合、Scanner Central Admin Console における入力や表示に問題が発生する場合があります。
  - Internet Explorer 11 がインストールされている環境で、Scanner Central Admin Console の画面項目が一部適切に表示されない場合があります。
    この場合、「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択してから［サイト］ボタンを押して、「信頼済みサイト」画面で、Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加してください。
    そのあと、「全般」タブの［削除］ボタンを押して、一時ファイルや履歴を削除して、Scanner Central Admin Console を再起動してください。
  - 「セキュリティ」タブの「このゾーンのセキュリティのレベル」を「高」にすると、Scanner Central Admin Console の画面項目が一部適切に表示されない場合があります。
    この場合、以下の対処をしてください。
    - 「セキュリティ」タブで Scanner Central Admin Server を信頼済みサイトに追加して［既定のレベル］ボタンを押す
    - ［レベルのカスタマイズ］ボタンを押して「バイナリ ビヘイビアとスクリプト ビヘイビア」および「XAML ブラウザー アプリケーション」を「有効にする」にする

- 「詳細設定」タブの「マルチメディアグループ」の「Web ページのアニメーションを再生する」チェックボックスをチェックしてください。
  Windows Server の場合、初期状態ではチェックされていません。
- フォント サイズが大きい場合、一部の画面が正常に表示されないことがあります。この場合は、フォント サイズを小さくして使用してください。

ヒント

- インストール先のフォルダーには、ローカルディスクのフォルダーを指定してください。
- ルートフォルダーに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。
- インストール先のフォルダー名に次に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
  / ; : , . * ? " < > | # %

4 インストール完了後、「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Server」→「Scanner Central Admin Console」から Scanner Central Admin Console の画面を表示できることを確認します。

2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール

イメージスキャナー

Scanner Central Admin Agent は、スキャナーを接続しているコンピューターにインストールします。
Scanner Central Admin Agent のインストール方法には、次の 3 つがあります。

- 通常インストール
  スキャナーを接続しているコンピューターに、Setup DVD-ROM から Scanner Central Admin Agent をインストールする方法です。
- 自動設定 / 登録処理インストール
  多台数のコンピューターへの Scanner Central Admin Agent のインストールと設定を簡易にするインストール方法です。
  事前に移出しておいた Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用して、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定を自動的に行います。
  Scanner Central Admin Server と連携するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、スキャナーを自動的に登録できます。
- 統合管理システムと連携した運用でのサイレントインストール
  統合管理システムのアプリケーション配付機能を使用して、Scanner Central Admin Agent を一括インストールする方法です。
  事前に移出しておいた Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用して、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定を自動的に行います。
  SNMP トラップを通知するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、SNMP トラップを通知できるようになります。

次に、それぞれのインストール方法について説明します。

重要

- ターミナルサービスクライアントおよびリモートデスクトップ接続クライアントでの動作は保証していません。
- ドライバーと Software Operation Panel がインストールされていない場合、スキャナーの状態 / スキャナー情報は Scanner Central Admin Server に通知されません。
- Scanner Central Admin Agent をインストールしたコンピューターのディスクイメージを退避し、ほかのコンピューターに復元しないでください。Scanner Central Admin Agent は、複製作成のコンピューター上では動作しません。

通常インストール

1 Scanner Central Admin Agent の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Agent の動作環境については、「Scanner Central Admin Agent の動作環境」（P.24）を参照してください。

2 コンピューターを起動します。

重要
コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

3 スキャナーに添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

4 表示される画面の指示に従ってインストールします。

ヒント

- インストール先のフォルダーには、ローカルディスクのフォルダーを指定してください。
- ルートフォルダーに直接インストールはしないでください。正常に動作しない場合があります。
- インストール先のフォルダー名に次に示す文字を使用しないでください。使用するとプログラムが正常に動作しない場合があります。
  / ; : , . * ? " < > | # %

5 インストール完了後、「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Agent」→「Scanner Central Admin Agent の設定」から「Scanner Central Admin Agent」画面を表示できることを確認します。

自動設定 / 登録処理インストール

1 Scanner Central Admin Agent がインストールされているコンピューターで、Scanner Central Admin Agent 設定情報を移出します。

Scanner Central Admin Agent 設定情報の移出方法については、「スキャナー設定情報のアップデートモジュールの作成」（P.64）を参照してください。

2 Scanner Central Admin Agent をインストールするコンピューターで、Scanner Central Admin Agent の動作環境の条件が満たされていることを確認します。

Scanner Central Admin Agent の動作環境については、「Scanner Central Admin Agent の動作環境」（P.24）を参照してください。

3 コンピューターを起動します。

重要

コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

4 スキャナーに添付の Setup DVD-ROM から Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダーを、USB メモリーなどの外部記憶媒体にコピーします。

Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダーは、Setup DVD-ROM 内の ScannerCentralAdmin¥ScannerCentralAdminAgent フォルダー配下です。

5 手順 1 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、手順 4 でコピーした Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダー内にある Setting フォルダー配下にコピーします。

6 手順 4 でコピーした Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダー内にある Scanner Central Admin Agent のインストーラー「Setup.exe」を起動します。

7 表示される画面の指示に従ってインストールします。

8 インストール完了後、「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Agent」→「Scanner Central Admin Agent の設定」から「Scanner Central Admin Agent」画面を表示できることを確認します。

⇨ Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定が自動的に行われます。
Scanner Central Admin Server と連携するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、スキャナーが自動的に登録されます。

9 多台数のコンピューターに、手順 6 ～ 8 を繰り返します。

⇨ 多台数のコンピューターにScanner Central Admin Agentのインストールと設定が行われます。

統合管理システムと連携した運用でのサイレントインストール

1 Scanner Central Admin Agent がインストールされている動作確認用のコンピューターで、SNMP トラップ通知が問題ないことを確認します。

2 Scanner Central Admin Agent 設定情報を移出します。

Scanner Central Admin Agent 設定情報の移出方法については、「スキャナー設定情報のアップデートモジュールの作成」（P.64）を参照してください。

3 Scanner Central Admin Agent をインストールするコンピューターで、Scanner Central Admin Agent の動作環境の条件が満たされていることを確認します。

Scanner Central Admin Agent の動作環境については、「Scanner Central Admin Agent の動作環境」（P.24）を参照してください。

4 スキャナーに添付の Setup DVD-ROM から Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダーを、統合管理システムに登録します。

Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダーは、Setup DVD-ROM 内の ScannerCentralAdmin¥ScannerCentralAdminAgent フォルダー配下です。

5 手順 2 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、手順 4 で登録した Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダー内にある Setting フォルダー配下にコピーします。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

6 Scanner Central Admin Agent のインストーラーでサイレントインストールするための指定をします。

- コマンド実行形式

Setup.exe [-silent] [-d {*Scanner Central Admin Agent のインストールフォルダー名*}]

斜体は可変文字列です。

-silent はサイレントインストールを実行する場合に指定します。

省略した場合、以降のパラメーターは指定しないでください。

-d は Scanner Central Admin Agent のインストールフォルダーを指定します。

省略した場合、初期値のフォルダーにインストールされます。

新規インストールの場合だけ有効です。

- 復帰値
  - 0

    正常終了
  - 10

    起動パラメーターエラー
  - 0 および 10 以外

    そのほかのエラー
- 注意事項

  Scanner Central Admin Agent 設定情報を Scanner Central Admin Agent のインストーラーの格納フォルダー内にある Setting フォルダー配下にコピーしたあとに、インストールを開始すると、Scanner Central Admin Agent 設定情報が自動的に移入されます。

7 統合管理システムから Scanner Central Admin Agent のインストーラーを配付します。

⇨ 統合管理システムで管理しているコンピューターに、Scanner Central Admin Agent が一括でインストールされます。
Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、Scanner Central Admin Agent の設定が自動的に行われます。
SNMP トラップを通知するように設定されている Scanner Central Admin Agent 設定情報を使用した場合は、Scanner Central Admin Agent のインストールと同時に、SNMP トラップを通知できるようになります。

第 3 章　Scanner Central Admin Server を利用した運用

この章では、Scanner Central Admin Server を利用した運用について説明します。

3.1 作業の流れ.....42
3.2 事前設定（Scanner Central Admin Server）.....45
3.3 事前設定（Scanner Central Admin Console）.....48
3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン.....49
3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定.....51
3.6 事前設定（Scanner Central Admin Agent）.....53
3.7 事前設定（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー）.....55
3.8 スキャナーの登録.....56
3.9 最新アップデートの確認.....57
3.10 イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデート.....59
3.11 ネットワークスキャナーのアップデート.....69
3.12 スキャナーの監視.....78
3.13 スキャナーの管理.....84
3.14 スキャナーの保守.....109
3.15 運用パターン例.....110

3.1 作業の流れ

作業の流れについて説明します。

事前設定（Scanner Central Admin Server）
- Scanner Central Admin Server のインストール
- 証明書のインポート（HTTPS の場合）
- ファイアウォールの設定

詳細は、「3.2 事前設定（Scanner Central Admin Server）」（P.45）を参照してください。

↓

事前設定（Scanner Central Admin Console）
- Scanner Central Admin Console のインストール
- Error Recovery Guide のインストール

詳細は、「3.3 事前設定（Scanner Central Admin Console）」（P.48）を参照してください。

↓

Scanner Central Admin Console からのログイン

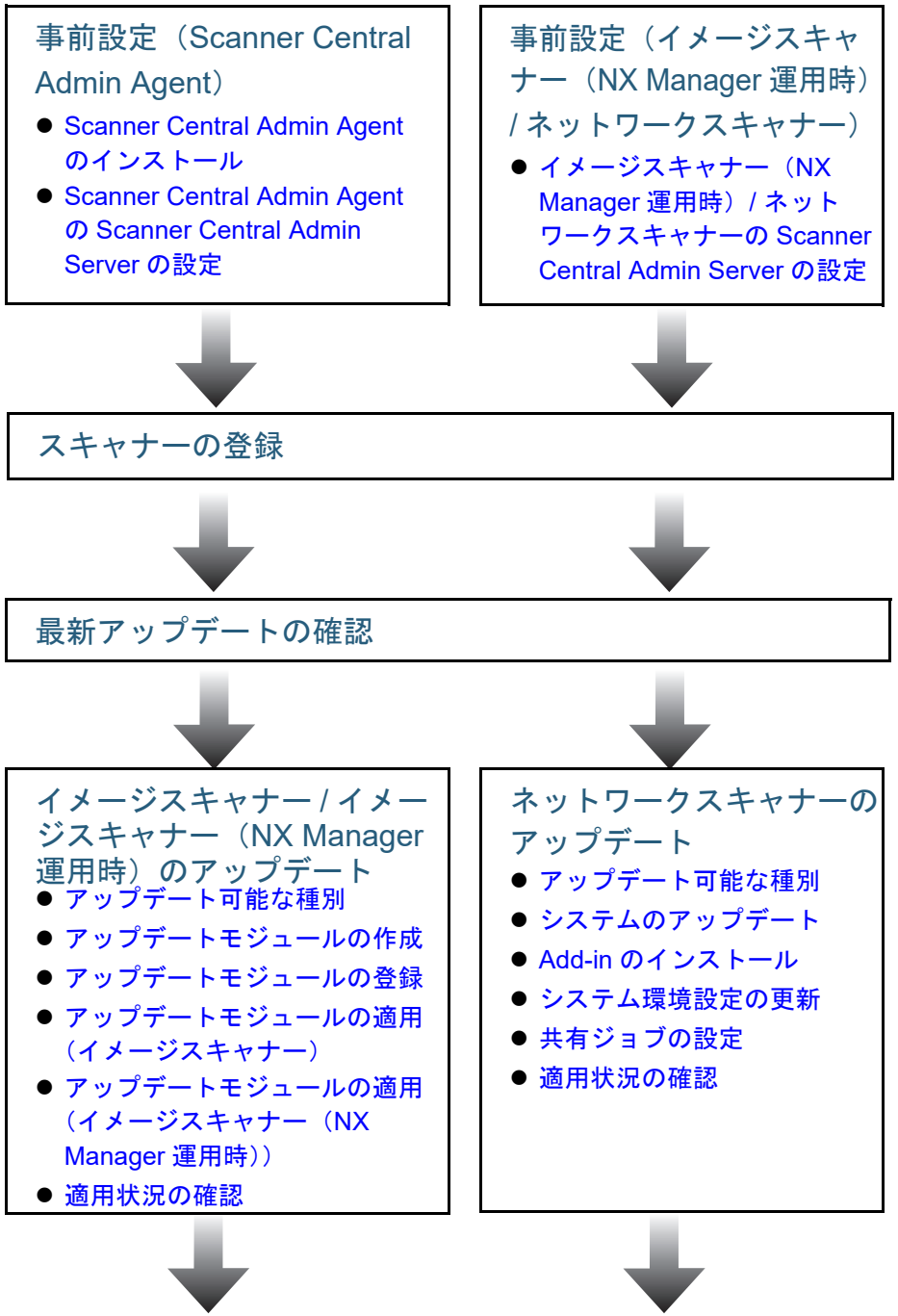
詳細は、「3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン」（P.49）を参照してください。

↓

Scanner Central Admin Server の動作環境の設定
- 共通設定
- ネットワークスキャナー設定

詳細は、「3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定」（P.51）を参照してください。

↓ ↓



事前設定（Scanner Central Admin Agent）は、イメージスキャナーの場合に必要な設定です。
詳細は、「3.6 事前設定（Scanner Central Admin Agent）」（P.53）を参照してください。

事前設定（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー）は、イメージスキャナー（NX Manager 運用時）およびネットワークスキャナーの場合に必要な設定です。
詳細は、「3.7 事前設定（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー）」（P.55）を参照してください。

詳細は、「3.8 スキャナーの登録」（P.56）を参照してください。

詳細は、「3.9 最新アップデートの確認」（P.57）を参照してください。

イメージスキャナーおよびイメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデートの詳細は、「3.10 イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデート」（P.59）を参照してください。

ネットワークスキャナーのアップデートの詳細は、「3.11 ネットワークスキャナーのアップデート」（P.69）を参照してください。

スキャナーの監視

- スキャナーの各種状態の監視
- スキャナーの稼働状況の監視
- 統計情報の参照
- イベント一覧の参照
- 監査ログの収集 / 取り出し

詳細は、「3.12 スキャナーの監視」（P.78）を参照してください。

スキャナーの管理

- スキャナーの情報
- スキャナー構成情報の追加
- スキャナー構成情報の編集
- スキャナー構成情報の削除
- グループの編集
- スキャナー構成情報のエクスポート
- スキャナー構成情報のインポート
- スキャナーの自動探索 / 登録
- スキャナー詳細情報の確認

詳細は、「3.13 スキャナーの管理」（P.84）を参照してください。

スキャナーの保守

詳細は、「3.14 スキャナーの保守」（P.109）を参照してください。

3.2 事前設定（Scanner Central Admin Server）

Scanner Central Admin Server の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Server のインストール

Scanner Central Admin Server は、スキャナーを集中管理するコンピューターにインストールします。
Scanner Central Admin Server のインストール方法については、「2.2 Scanner Central Admin Server のインストール」（P.32）を参照してください。

証明書のインポート（HTTPS の場合）

HTTPS を使用して通信する場合、証明書をインポートします。
ここでは、Windows Server 2012 の例で説明します。

1. 「スタート」メニュー →「管理ツール」→「インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ」を選択します。
   ⇨ IIS マネージャーが起動されます。
2. ホーム画面内のサーバー証明書を選択します。
3. 操作内のインポートを選択します。
4. 表示される画面の指示に従って操作します。

ヒント

インポートした証明書の拇印データを CertHash.xml に設定してください。

- CertHash.xml の格納先は、次のとおりです。

```
Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー
¥AmManager¥Sys¥CertHash.xml
```

- 証明書の拇印データ「cc ce a0 66 e3 9c 9b 2a 65 45 03 a3 c4 f4 e5 e6 ad ec df 9f」を設定する場合の例を、次に示します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<IISPolicy>
  <CertHash>cc ce a0 66 e3 9c 9b 2a 65 45 03 a3 c4 f4 e5 e6 ad ec df 9f</CertHash>
</IISPolicy>
```

ファイアウォールの設定

ファイアウォールを設定します。
Scanner Central Admin Console で管理するためには、Scanner Central Admin Server で、次のポート番号で通信できるように設定します。

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Agent/ イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー ⇨Scanner Central Admin Server	20444（HTTP/HTTPS） Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「スキャナー通信ポート番号」で設定したポート番号	6（TCP）

機能	接続方向	ポート番号	プロトコル番号
Scanner Central Admin Server 接続	Scanner Central Admin Console ⇨Scanner Central Admin Server	10444（HTTP/HTTPS） Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「Scanner Central Admin Console 通信ポート番号」で設定したポート番号、および設定したポート番号	6（TCP）
		10445（HTTP） Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Serve 動作環境設定（共通設定）」画面の「Scanner Central Admin Console 通信ポート番号」で設定したポート番号 + 1	6（TCP）

ファイアウォールの設定方法は、各サーバーで使用するファイアウォールソフトウェアのマニュアルを参照してください。

3.3 事前設定（Scanner Central Admin Console）

Scanner Central Admin Console の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Console のインストール

Scanner Central Admin Console は、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピューターにインストールします。
Scanner Central Admin Console のインストール方法については、「2.3 Scanner Central Admin Console のインストール」（P.35）を参照してください。

Error Recovery Guide のインストール

イメージスキャナー　イメージスキャナー（NX Manager運用時）

Error Recovery Guide は、Scanner Central Admin Console をインストールしたコンピューターにインストールします。
スキャナーに装置エラーが発生した場合、「イベント詳細」画面の［エラー詳細］ボタンを押すと、装置エラーに該当する Error Recovery Guide が表示できるようになります。
Error Recovery Guide には、エラーの対処方法が説明されています。

1 Scanner Central Admin Console の動作環境の条件が満たされていることを確認します。
Scanner Central Admin Console の動作環境については、「Scanner Central Admin Console/SCAModuleCreator の動作環境」（P.23）を参照してください。

2 コンピューターを起動します。

> **重要**
> コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

3 スキャナーに添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。

4 表示される画面の指示に従ってインストールします。

> **ヒント**
> 複数のスキャナー機種を管理対象とする場合は、各スキャナーの Error Recovery Guide をインストールしてください。
> 集中管理可能なイメージスキャナーについては、それぞれ以下を参照してください。
> - イメージスキャナー
> Scanner Central Admin Agent の readme
> - イメージスキャナー（NX Manager 運用時）
> お使いのスキャナーのオペレーターガイド

3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン

Scanner Central Admin Console からログインします。
管理者は Scanner Central Admin Console の画面から、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行えます。
また、スキャナーから通知された消耗品交換、エラー、およびメンテナンスが必要な要確認状態を、画面上で確認できます。

重要

画面が正常に表示されない場合（「×」マークなどが表示されるような場合）は、しばらく時間をおいてから、再度操作してください。

ヒント

セッションタイムアウト時間は 20 分（固定）です。リンク、ボタンを押す操作でセッションタイムアウト時間をさらに 20 分延長します。ただし、Scanner Central Admin Console の「スキャナー操作」画面および「スキャナー稼働状況」画面の表示中は自動更新が行われるためセッションタイムアウトは発生しません。

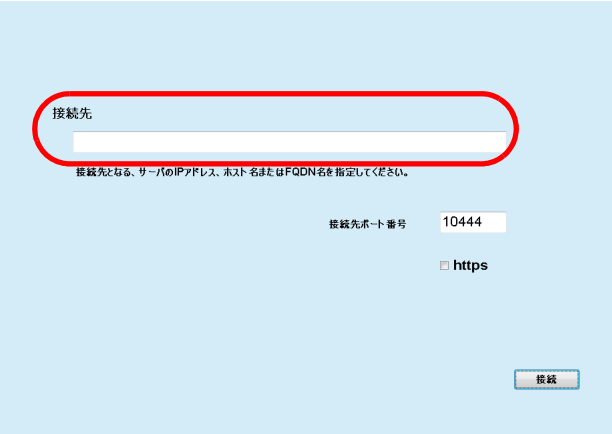
1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Server」→「Scanner Central Admin Console」を選択します。

⇨ Scanner Central Admin Console の画面が表示されます。

2 「接続先」を指定します。

Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を入力します。

- IP アドレスを入力する場合
  xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は、0 ～ 255 の値）の形式で入力します。
- ホスト名または FQDN 名を入力する場合
  最大文字数は半角 128 文字です。



重要

- Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「Scanner Central Admin Console 通信ポート番号」を変更した場合、「接続先ポート番号」に変更したポート番号を入力してください。
- SSL 通信を行う場合、「https」チェックボックスをチェックしてください。
- 空きメモリー容量がない状態で Scanner Central Admin Console を起動するとスクリプトエラーが発生する場合があります。空きメモリー容量がある状態で再度起動してください。
- Windows Server では、Scanner Central Admin Server への初回接続時に、指定した URL を信頼済みサイトのゾーンに追加するかどうかの確認画面が表示される場合があります。この場合は、Scanner Central Admin Server の URL を信頼済みサイトに追加したあと、必ず Scanner Central Admin Console を終了してください。

3 ［接続］ボタンを押します。

⇨ Scanner Central Admin Console のログイン画面が表示されます。

重要

お使いのセキュリティソフトの設定によっては、指定したポート番号で通信することに対して警告が表示される場合があります。

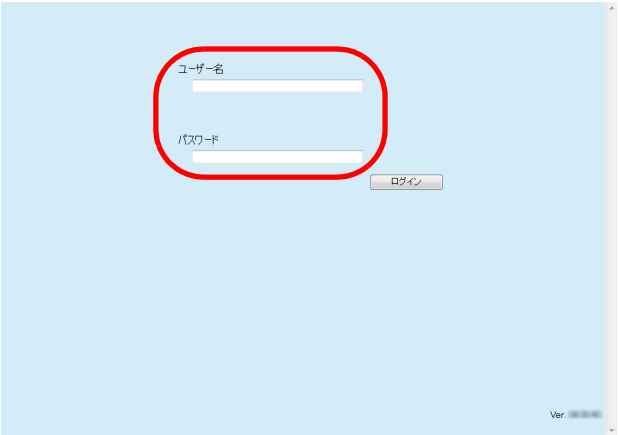
4 管理者のユーザー名およびパスワードを入力します。

管理者のユーザー名とパスワードの初期値は、次のとおりです。

ユーザー名：admin

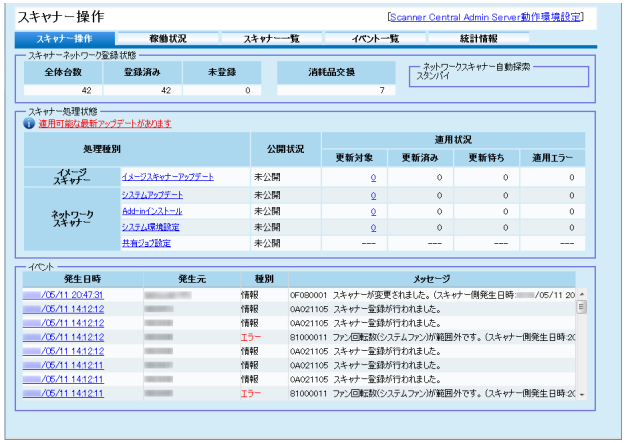
パスワード：password

管理者のパスワードの変更は、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で行ってください。また、管理者のパスワードは定期的に変更してください。



5 ［ログイン］ボタンを押します。

⇨ 認証されると、Scanner Central Admin Console のメイン画面が表示されます。



ヒント

ログイン直後に表示するメイン画面は変更できます。

ログイン直後に表示するメイン画面を変更するには、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で、初期画面を変更します。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3.5 Scanner Central Admin Server の動作環境の設定

Scanner Central Admin Server の動作環境の設定について説明します。
Scanner Central Admin Server の動作環境の設定には、次の 2 つがあります。

- 共通設定
  各スキャナー共通のScanner Central Admin Serverの動作環境の設定です。
- ネットワークスキャナー設定
  ネットワークスキャナー固有のScanner Central Admin Serverの動作環境の設定です。

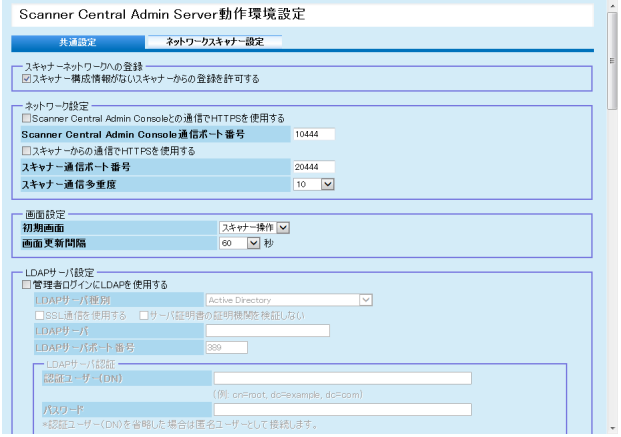
次に、それぞれの Scanner Central Admin Server 動作環境の設定について説明します。

共通設定

ネットワークの設定、管理者パスワードの変更など、各スキャナー共通の Scanner Central Admin Server の動作環境を設定します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」のリンクを押します。
⇨「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面が表示されます。

2 「共通設定」タブを押します。
⇨「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面が表示されます。



3 各設定項目を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

4 ［OK］ボタンを押します。
⇨ 設定を有効にして、Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

ネットワークスキャナー設定 ネットワークスキャナー

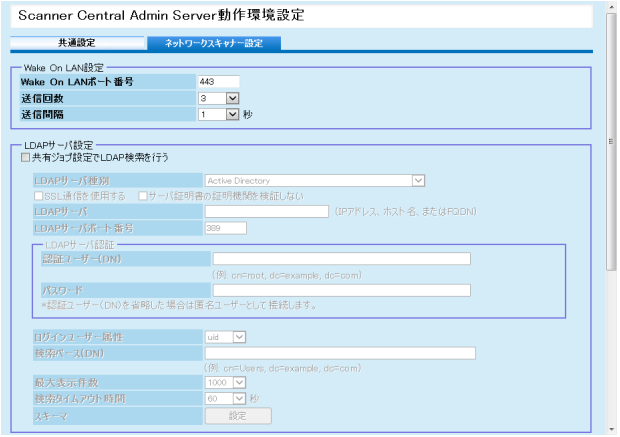
LDAP サーバーの設定、SharePoint サーバーの設定、共有ユーザー情報の削除など、ネットワークスキャナー固有の Scanner Central Admin Server の動作環境を設定します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」のリンクを押します。

⇨「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面が表示されます。

2 「ネットワークスキャナー設定」タブを押します。

⇨「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（ネットワークスキャナー設定）」画面が表示されます。



3 各設定項目を設定します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

4 ［OK］ボタンを押します。

⇨ 設定を有効にして、Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

3.6 事前設定（Scanner Central Admin Agent） イメージスキャナー

Scanner Central Admin Agent の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Agent のインストール

Scanner Central Admin Agent は、スキャナーを接続しているコンピューターにインストールします。
Scanner Central Admin Agent のインストール方法については、「2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール」（P.37）を参照してください。

Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定

Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定をします。
スキャナーを接続しているコンピューターが Scanner Central Admin Server と連携できるようになります。

1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Agent」→「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇨「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。

2 「Scanner Central Admin Server」の［設定］ボタンを押します。

⇨「Scanner Central Admin Server の設定」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 「Scanner Central Admin Server と連携する」チェックボックスをチェックします。

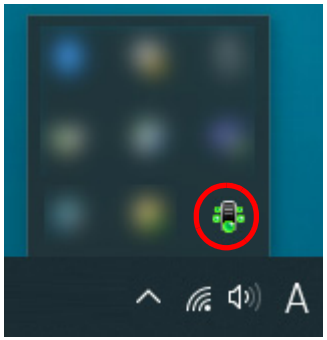
4 Scanner Central Admin Server、アップデートを設定します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

5 ［OK］ボタンを押します。

⇨ 設定を有効にして、「Scanner Central Admin Agent」画面に戻ります。

画面右下の通知領域に Scanner Central Admin Agent アイコンが表示されます。



重要

- 環境によっては、［OK］ボタンを押してから設定が完了するまでに、時間がかかる場合があります。
- お使いのセキュリティソフトの設定によっては、指定したポート番号で通信することに対して警告が表示される場合があります。

3.7 事前設定（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー）

イメージスキャナー（NX Manager運用時） ネットワークスキャナー

イメージスキャナー（NX Manager 運用時）およびネットワークスキャナーの事前設定について説明します。

イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの Scanner Central Admin Server の設定

イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの Scanner Central Admin Server の設定をします。スキャナーが Scanner Central Admin Server と連携できるようになります。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

3.8 スキャナーの登録

スキャナーが Scanner Central Admin Server と連携できるように設定することで、Scanner Central Admin Server にスキャナーを登録できます。

1 スキャナーがScanner Central Admin Serverと連携できるように設定します。

イメージスキャナーの設定方法については、「Scanner Central Admin Agent の Scanner Central Admin Server の設定」（P.53）を参照してください。

イメージスキャナー（NX Manager 運用時）およびネットワークスキャナーの設定方法については、「イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの Scanner Central Admin Server の設定」（P.55）を参照してください。

2 Scanner Central Admin Console の「スキャナー稼働状況」画面で、Scanner Central Admin Server にスキャナーが登録されていることを確認します。

スキャナー稼働状況一覧に、登録したスキャナーのアイコンが表示されているか確認してください。

3.9 最新アップデートの確認

Scanner Central Admin Console の画面では、Scanner Central Admin Server で管理しているスキャナーに適用可能なアップデートモジュールが Web サイト上で公開されているかを、定期的に確認できます。

アップデートモジュールを確認するための設定

最新のアップデートモジュールを確認するために必要な設定をします。

1 Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で、「アップデート確認」の各項目を設定します。
設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

⇨ 設定した内容に従って、Scanner Central Admin Server から Web サイトに接続して、アップデートモジュールの公開を定期的に確認されるようになります。

アップデートモジュールの確認

スキャナーに適用可能な最新のアップデートモジュールがあるかどうかを確認します。

1 Scanner Central Amin Console のメイン画面の「適用可能な最新アップデートの確認」または「適用可能な最新アップデートがあります」のリンクを押します。

⇨「適用可能アップデート一覧」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

2 最新のアップデートモジュールの情報を確認します。

重要

管理しているスキャナーに適用されているソフトウェアやファームウェアに対して、最新のアップデートモジュールが公開されているかを確認できます。
最新のアップデートモジュールが Web サイト上で公開されていても、スキャナーに適用されているソフトウェアのアップデートモジュールだけが一覧に表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3.10 イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデート

イメージスキャナー　イメージスキャナー（NX Manager運用時）

イメージスキャナーおよびイメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデートについて説明します。
アップデートモジュールを Scanner Central Admin Server に登録することで、ファームウェア、ドライバーなどをアップデートできます。

アップデート可能な種別

アップデート可能な種別は、次のとおりです。

種別	説明	スキャナー種別	
		イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）
ファームウェア	スキャナーのファームウェアです。	○	○
ドライバー	スキャナーのドライバーです。	○	-
添付ソフトウェア	スキャナーに添付のソフトウェアです。	○	-
設定情報	スキャナーやそのほかのソフトウェアの設定情報です。	○	○
ユーザーアプリケーション	ユーザーが作成するアプリケーションです。	○	-

○ ：アップデート可能
- ：アップデート不可

重要

イメージスキャナーの場合、スキャナーを接続しているコンピューターが次の状態のとき、設定情報は配付されません。
- 登録から一度もスキャナーが接続されていない状態
- サポートされていないスキャナーが接続されている状態

設定情報の配付は、スキャナーを接続しているコンピューターに対しては一度しか行われません。
再度スキャナーを接続しているコンピューターに配付する場合は、すでに登録されている設定情報を Scanner Central Admin Server から削除し、再度作成した設定情報を登録してください。

ヒント

ソフトウェアアップデートに必要な時間は、次のように見積もります。

$$\frac{\text{アップデートモジュールサイズ} \times \text{適用対象台数} \times 1.5}{\text{ネットワークのスループット}}$$

例：次の条件の場合、$\frac{15 \times 40 \times 1.5}{1}$ = 900 秒（15 分）となります。

- アップデートモジュールサイズ：15MB
- 適用対象台数：40 台
- ネットワークのスループット：8Mbps=1MB/ 秒

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

アップデートモジュールの作成

Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールの作成方法について説明します。
Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールの作成方法には、次の 4 つがあります。

- Web サイト上で公開されているアップデートファイルからのアップデートモジュールの作成
  SCAModuleCreator を使用して、Web サイト上で公開されているアップデートファイルを、Scanner Central Admin Server に登録できるアップデートモジュールにします。
- スキャナーに添付の Setup DVD-ROM で提供されているインストールプログラムからのアップデートモジュールの作成
  SCAModuleCreator を使用して、スキャナーに添付の Setup DVD-ROM で提供されているインストールプログラムを、Scanner Central Admin Server に登録できるアップデートモジュールにします。
- ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成
  SCAModuleCreator を使用して、ユーザーが作成したアプリケーションを、Scanner Central Admin Server に登録できるアップデートモジュールにします。
- スキャナー設定情報のアップデートモジュールの作成
  事前に移出しておいたスキャナー設定情報を、Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールとして利用できます。

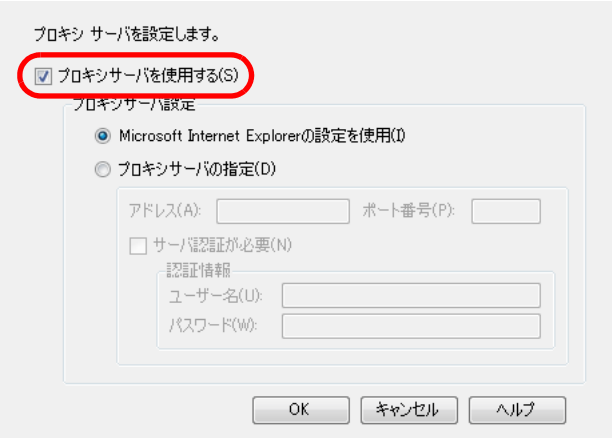
次に、それぞれのアップデートモジュールの作成方法について説明します。

■Web サイト上で公開されているアップデートファイルからのアップデートモジュールの作成

1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Server」→「SCAModuleCreator」を選択します。
⇨「SCAModuleCreator」画面が表示されます。

2 プロキシサーバーを使用していないネットワーク環境の場合、手順 6 に進みます。
プロキシサーバーを使用しているネットワーク環境の場合、「設定」メニュー →「プロキシサーバの設定」を選択します。
⇨「プロキシサーバの設定」画面が表示されます。

3 「プロキシサーバを使用する」チェックボックスをチェックします。

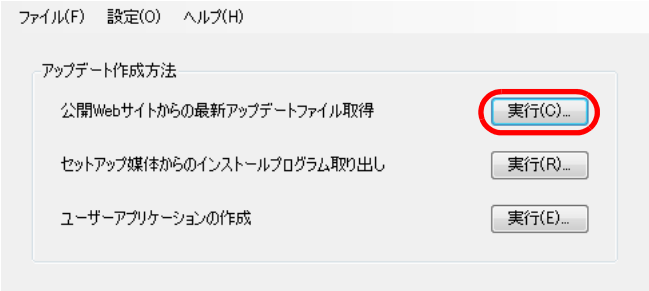


4 プロキシサーバーを設定します。
各設定項目の詳細は、SCAModuleCreator のヘルプを参照してください。

5 ［OK］ボタンを押します。

⇨ 設定を有効にして、「SCAModuleCreator」画面に戻ります。

6 「公開 Web サイトからの最新アップデートファイル取得」の［実行］ボタンを押します。



⇨「公開 Web サイトからの最新アップデートファイル取得」画面が表示されます。

7 一覧に表示するアップデートファイルを絞り込む場合、絞り込み条件を指定して、［一覧の更新］ボタンを押します。

⇨ 絞り込み条件に一致したアップデートファイルが表示されます。

8 アップデートファイルの［作成］ボタンを押します。

⇨「使用許諾契約書」画面が表示された場合は、手順 9 に進みます。「名前を付けて保存」画面が表示された場合は、手順 11 に進みます。

9 「「使用許諾契約書」の条項に同意します」チェックボックスをチェックします。

10 ［次へ］ボタンを押します。

⇨「名前を付けて保存」画面が表示されます。

11 保存先を指定します。

12 ［保存］ボタンを押します。

⇨ アップデートモジュールの作成が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

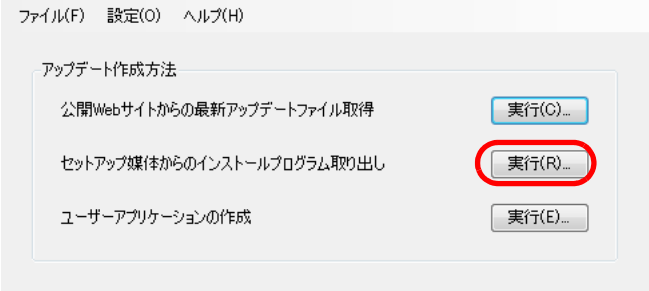
13 ［OK］ボタンを押します。

⇨「公開 Web サイトからの最新アップデートファイル取得」画面に戻ります。

■スキャナーに添付の Setup DVD-ROM で提供されているインストールプログラムからのアップデートモジュールの作成

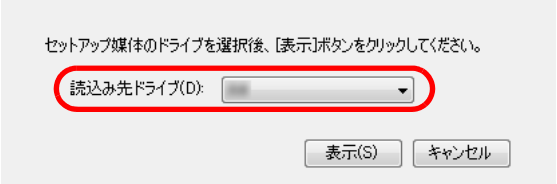
1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Server」→「SCAModuleCreator」を選択します。
⇨「SCAModuleCreator」画面が表示されます。

2 「セットアップ媒体からのインストールプログラム取り出し」の［実行］ボタンを押します。

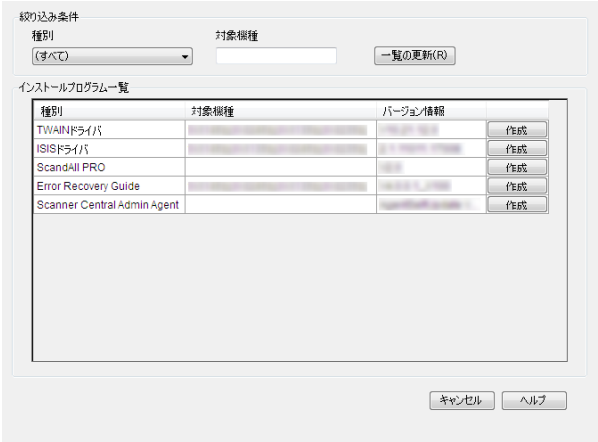


⇨「ドライブの選択」画面が表示されます。

3 「読込み先ドライブ」を選択します。



4 ［表示］ボタンを押します。
⇨「セットアップ媒体からのインストールプログラム取り出し」画面が表示されます。



5 一覧に表示するインストールプログラムを絞り込む場合、絞り込み条件を指定して、［一覧の更新］ボタンを押します。
⇨ 絞り込み条件に一致したインストールプログラムが表示されます。

6 インストールプログラムの［作成］ボタンを押します。
⇨「使用許諾契約書」画面が表示された場合は、手順 7 に進みます。
「名前を付けて保存」画面が表示された場合は、手順 9 に進みます。

7 「「使用許諾契約書」の条項に同意します」チェックボックスをチェックします。

8 ［次へ］ボタンを押します。
⇨「名前を付けて保存」画面が表示されます。

9 保存先を指定します。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

10 ［保存］ボタンを押します。

⇨ アップデートモジュールの作成が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

11 ［OK］ボタンを押します。

⇨「セットアップ媒体からのインストールプログラム取り出し」画面に戻ります。

■ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成

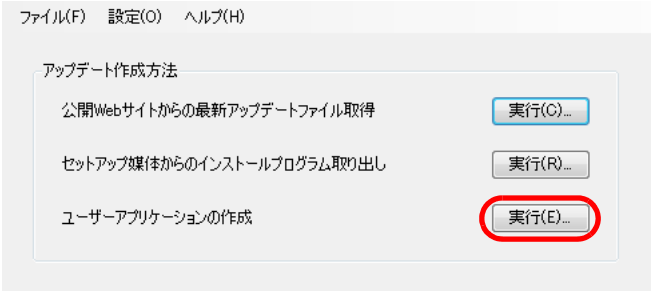
ユーザーが作成した任意のアプリケーションをアップデートモジュールとして登録できます。ユーザーアプリケーションを作成するときには、次の点に注意してください。

- アップデート適用中は、アップデートモジュールとユーザーの対話処理ができません。ユーザーに応答を求めるような処理を含めないでください。例えば、ファイル上書きのときの確認メッセージへの応答、またはコンピューターの再起動などの処理です。
- アップデート適用の成功 / 失敗は、ユーザーアプリケーションからの復帰値で判断します。実行結果を復帰値（0：正常終了、0 以外：異常終了）で通知するように作成してください。
- 個別ユーザーに対してレジストリーの書き込みや資源作成を行う処理を含めないでください。

1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Server」→「SCAModuleCreator」を選択します。

⇨「SCAModuleCreator」画面が表示されます。

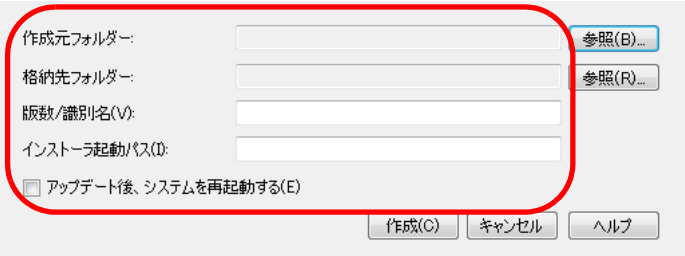
2 「ユーザーアプリケーションの作成」の［実行］ボタンを押します。



⇨「ユーザーアプリケーションの作成」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 作成元フォルダー、格納先フォルダー、版数 / 識別名、インストーラー起動パスなどを設定します。
各設定項目の詳細は、SCAModuleCreator のヘルプを参照してください。



4 ［作成］ボタンを押します。
⇨ アップデートモジュールの作成が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

5 ［OK］ボタンを押します。
⇨「ユーザーアプリケーションの作成」画面に戻ります。

■スキャナー設定情報のアップデートモジュールの作成

事前に移出しておいたスキャナー設定情報を、Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールとして利用できます。

Scanner Central Admin Agent がインストールされているコンピューターで、スキャナー設定情報を移出します。

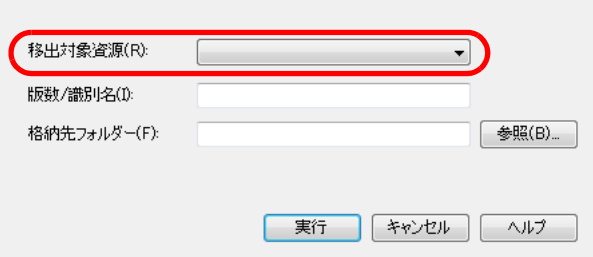
1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Agent」→「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇨「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。

2 「スキャナー設定情報」の［移出］ボタンを押します。

⇨「スキャナー設定情報の移出」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 「移出対象資源」で、移出する設定情報を選択します。



4 版数 / 識別名、格納先フォルダーを設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

5 ［実行］ボタンを押します。
⇨ スキャナー設定情報の移出が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

6 ［OK］ボタンを押します。
⇨「スキャナー設定情報の移出」画面に戻ります。

アップデートモジュールの登録

Scanner Central Admin Console の画面で、Scanner Central Admin Server にアップデートモジュールを登録します。

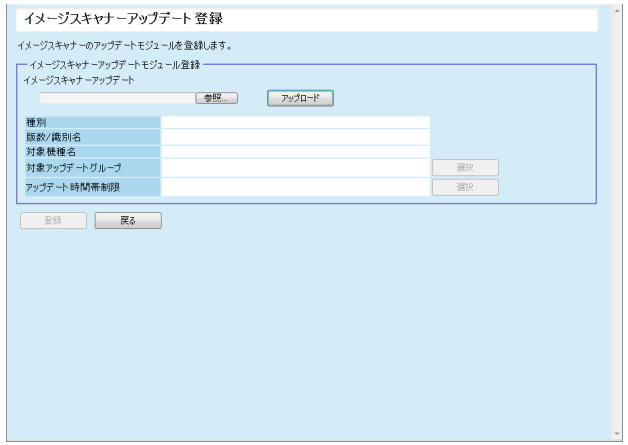
1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「イメージスキャナーアップデート」のリンクを押します。
⇨「イメージスキャナーアップデート一覧」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 ［追加］ボタンを押します。

⇨「イメージスキャナーアップデート登録」画面が表示されます。



4 ［参照］ボタンを押して、イメージスキャナーアップデートモジュールのファイルを指定します。

重要

1GB を超えるアップデートモジュールは登録できません。

5 ［アップロード］ボタンを押して、指定したイメージスキャナーアップデートモジュールをアップロードします。

6 「対象アップデートグループ」の［選択］ボタンを押して、イメージスキャナーアップデートの対象とする設定グループを選択します。

重要

1 つの設定グループに対して登録できるのは、1 種別につき 1 アップデートモジュールとなります。

ヒント

スキャナーに設定するアップデートグループを一括して変更できます。詳細は、「グループの編集」（P.103）を参照してください。

7 アップデートする時間帯を変更したい場合、「アップデート時間帯制限」の［選択］ボタンを押して、設定を変更してください。

初期値は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「ソフトウェアアップデート時間帯制限」で設定した値です。

8 ［登録］ボタンを押します。

⇨ イメージスキャナーアップデートモジュールの登録が完了すると、メッセージ画面が表示されます。

ヒント

アップデートが複数登録されている場合は、次の優先度順で適用されます。

1 ファームウェア
2 ドライバー
3 添付ソフトウェア
4 設定情報
5 ユーザーアプリケーション

9 ［OK］ボタンを押します。

⇨「イメージスキャナーアップデート一覧」画面に戻ります。

アップデートモジュールの適用（イメージスキャナー）

アップデートモジュールが Scanner Central Admin Server に登録されると、次のタイミングでスキャナーにアップデートモジュールがダウンロードされます。

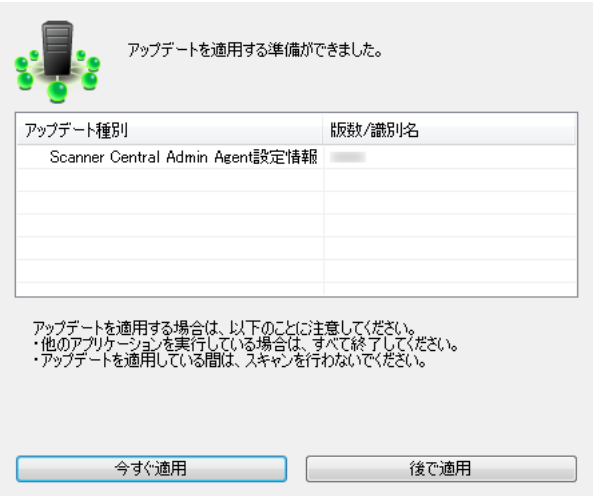
- スキャナーを接続しているコンピューターにログオンしたとき
- スキャナーを接続しているコンピューターの画面右下の通知領域にある Scanner Central Admin Agent アイコンの右クリックメニューから「アップデートの適用」を選択したとき
- Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートの存在を定期的に確認する」チェックボックスをチェックした場合で、「アップデート確認間隔」が経過したとき
- Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートをログオフ中に適用する」チェックボックスをチェックした場合で、スキャナーを接続しているコンピューターをログオフしたとき

アップデートモジュールを手動で適用するには、次の手順で操作してください。

1 アップデートモジュールのダウンロードが完了した場合、画面右下の通知領域にある Scanner Central Admin Agent アイコンを押します。

⇨ アップデートモジュールを適用するかどうか確認する画面が表示されます。

2 アップデートモジュールを今すぐ適用する場合は、［今すぐ適用］ボタンを押してください。
スキャナーを使用中ですぐにアップデートモジュールを適用できない場合は、［後で適用］ボタンを押してください。



アップデート適用中は以下のアイコンが表示されます。

状態アイコン	説明
	アップデートを適用しています。処理中はアイコンが点滅します。
	アップデートの適用を待っています。
	アップデートの適用に成功しました。
	アップデートの適用に失敗しました。

状態アイコン	説明
	アップデートの適用は不要です。そのままご使用ください。 以下の場合に表示されます。 ● 同一版数または新しい版数がすでに適用されている場合 ● 接続されている機種が適用対象外の場合

重要

- ドライバーがインストールされていない場合、ファームウェアや Software Operation Panel 設定情報のアップデートモジュールは適用されません。
- 適用するアップデートモジュールが 1 つの場合、アップデートモジュールを適用中には中止できません。
- 適用するアップデートモジュールが複数ある場合、［中止］ボタンを押すと、適用中のアップデートモジュールが適用されてからアップデートが中止されます。
  適用待ちのアップデートモジュールは適用されません。
- ドライバーのアップデート完了後は、必ず再起動してください。再起動を行わないとスキャナーが認識できない場合があります。
- ファームウェアのアップデートモジュールを適用する場合、Software Operation Panel が起動されていると、「スキャナー装置が接続されていません。」とエラーになることがあります。
  画面右下の通知領域に Software Operation Panel のアイコンが表示されている場合は、Software Operation Panel を終了させてからファームウェアのアップデートモジュールを適用してください。
- アップデートをログオフ中に適用する指定の場合、ファームウェアや Software Operation Panel 設定情報のアップデートモジュールは適用されません。
- アップデートモジュールの適用中に、コンピューターをシャットダウンしたり、ログオフしないでください。アップデートモジュールが正しく適用されない場合があります。

アップデートモジュールの適用（イメージスキャナー（NX Manager 運用時））

スキャナーのタッチパネルに表示される画面の表示に従って、アップデートを適用してください。

適用状況の確認

Scanner Central Admin Console の画面で、アップデートモジュールの適用状況を確認します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「イメージスキャナーアップデート」の数字のリンクを押します。
⇨「適用状況」画面が表示されます。

3 イメージスキャナーアップデートの適用状況を確認します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3.11 ネットワークスキャナーのアップデート

ネットワークスキャナー

ネットワークスキャナーのアップデートについて説明します。アップデートモジュールを Scanner Central Admin Server に登録することで、システム、Add-in などをアップデートできます。

アップデート可能な種別

アップデート可能な種別は、次のとおりです。

種別	説明	新規インストール
システム	スキャナーのシステム、セキュリティ、およびオプション機能です。	対象外
Add-in	スキャナーにインストールする Add-in です。	可能
システム環境設定情報	スキャナーのシステム環境設定の情報です。	対象外
共有ジョブ設定情報	共有ジョブ設定の情報です。	可能

ヒント

ソフトウェアアップデートに必要な時間は、次のように見積もります。

$$\frac{\text{アップデートモジュールサイズ} \times \text{適用対象台数} \times 1.5}{\text{ネットワークのスループット}}$$

例：次の条件の場合、$\frac{15 \times 40 \times 1.5}{1}$ = 900 秒（15 分）となります。

- アップデートモジュールサイズ：15MB
- 適用対象台数：40 台
- ネットワークのスループット：8Mbps=1MB/ 秒

システムのアップデート

Scanner Central Admin Console の画面で、アップデートモジュールの登録、配付通知の設定などを行って、スキャナーのシステム、セキュリティ、およびオプション機能をアップデートします。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

登録したアップデートモジュールはスキャナーに対して公開され、次を契機として適用されます。

- スキャナーの起動時または省電力モードからの復帰時
- スキャナーからのログアウト時
- 配付通知が行われたとき
- スキャナーからの自動アップデート要求時

配付通知では、Wake On LAN を使用して、電源が入っていない状態または省電力モードの状態のスキャナーへも適用が可能です。
なお、次の場合は、アップデートモジュールを登録できません。

- 種別がシステムまたはセキュリティの場合で、同一または新しいバージョンのモジュールがすでに登録されているとき
- 種別がオプション機能の場合で、同一のモジュールがすでに登録されているとき

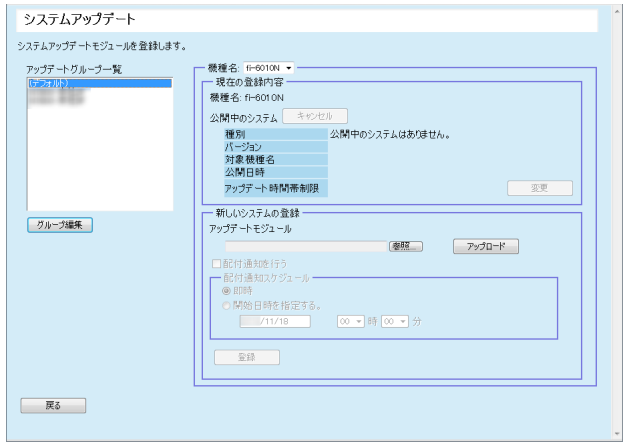
ヒント

スキャナー側で指定した時間に、アップデートするように設定できます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「システムアップデート」のリンクを押します。
⇨「システムアップデート」画面が表示されます。



ヒント
アップデートモジュールの公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してアップデートモジュールを削除します。

3 「アップデートグループ一覧」で、新しいアップデートモジュールの登録先となるグループを選択します。
⇨「現在の登録内容」に、現在、公開されているアップデートモジュールの詳細が表示されます。

ヒント
スキャナーに設定するアップデートグループを一括して変更できます。詳細は、「グループの編集」（P.103）を参照してください。

4 「機種名」を選択します。

5 アップデートする時間帯を変更したい場合、「アップデート時間帯制限」の［変更］ボタンを押して、設定を変更してください。
初期値は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「ソフトウェアアップデート時間帯制限」で設定した値です。

6 ［参照］ボタンを押して、登録するアップデートモジュールを指定します。

7 ［アップロード］ボタンを押して、アップデートモジュールをアップロードします。

8 配付通知を行う場合、「配付通知を行う」チェックボックスをチェックします。
配付通知を行うと、スキャナーの起動やログアウト操作が行われなくても、配付通知スケジュールに従ってアップデートモジュールがスキャナーに適用されます。

なお、ログイン中に配付通知が行われた場合は、ログアウト後に適用されます。また、ほかに更新待ち状態の公開物があれば、それらも同時に適用されます。

9 「配付通知スケジュール」で、アップデートモジュールを配付通知するスケジュールを設定します。

重要
配付通知を行う場合は、アップデートの制限時間帯と重ならない時刻を設定してください。

10 ［登録］ボタンを押します。

⇨ アップロードしたアップデートモジュールを登録します。

ヒント

配付されたシステムの版数が、現在スキャナーにインストールされているシステムのバージョンより大きい場合に新システムがインストールされます。新システムがインストールされた場合、再起動されます。
システムのアップデートモジュールのほかに、Add-in、システム環境設定が登録されている場合は、次の順で実行されます。

1 システムアップデート
2 Add-in インストール
3 システム環境設定の更新

11 ［戻る］ボタンを押します。

⇨ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

Add-in のインストール

Scanner Central Admin Console の画面で、インストールモジュールの登録、配付通知の設定などを行って、スキャナーの Add-in をインストールします。Add-in は、最大 6 個までインストールできます。

登録した Add-in のインストールモジュールはスキャナーに対して公開され、次を契機として適用されます。

- スキャナーの起動時または省電力モードへの移行時
- スキャナーからのログアウト時
- 配付通知が行われたとき
- スキャナーからの自動アップデート要求時

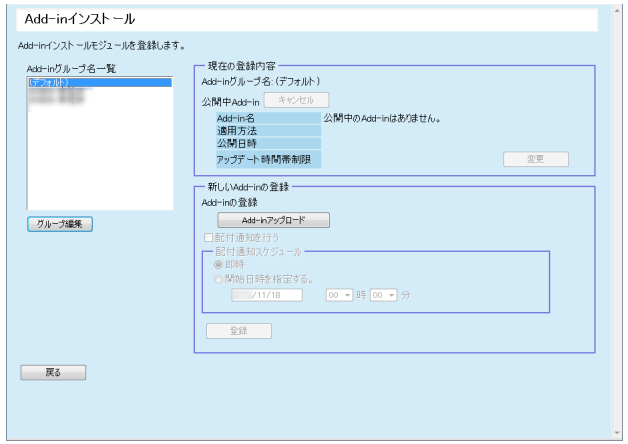
配付通知を設定すると、Wake On LAN を使用して、電源が入っていない状態または省電力モードの状態のスキャナーにも適用が可能となります。
すでにインストールモジュールが公開中の場合、インストールモジュールのファイルは置き換えられます。ただし、インストールモジュールのバージョンが、公開中のものと同一の場合は登録できません。

ヒント

スキャナー側で指定した時間に、アップデートするように設定できます。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「Add-in インストール」のリンクを押します。
⇨「Add-in インストール」画面が表示されます。



ヒント
インストールモジュールの公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してインストールモジュールを削除します。

3 「Add-in グループ名一覧」で、新しいインストールモジュールの登録先となるグループを選択します。
⇨「現在の登録内容」に、現在、公開されているインストールモジュールの詳細が表示されます。

ヒント
スキャナーに設定する Add-in グループを一括して変更できます。
詳細は、「グループの編集」（P.103）を参照してください。

4 アップデートする時間帯を変更したい場合、「アップデート時間帯制限」の［変更］ボタンを押して、設定を変更してください。
初期値は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「ソフトウェアアップデート時間帯制限」で設定した値です。

5 ［Add-in アップロード］ボタンを押します。
⇨「Add-in アップロード」画面が表示されます。

ヒント
インストールモジュールの公開を取り消す場合、[キャンセル] ボタンを押してインストールモジュールを削除します。

6 スキャナーにインストールされている Add-in をすべてアンインストールしてからインストールする場合、「すべてアンインストールしてからインストールする」チェックボックスをチェックします。

7 Add-in 名の［参照］ボタンを押して、インストールモジュールのファイルを指定します。

8 ［アップロード］ボタンを押して、インストールモジュールをアップロードします。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

9 インストールモジュールに対して、Add-in 設定情報を登録する場合は、Add-in 設定情報名の［参照］ボタンを押して、Add-in 設定情報のファイルを指定します。

ヒント

- Add-in のインストールモジュールが未登録の場合、Add-in 設定情報ファイルは指定できません。
- すでに Add-in 設定情報が登録済みの場合は、［キャンセル］ボタンを押して、Add-in 設定情報を削除してから、新しい Add-in 設定情報を指定してください。

10 ［アップロード］ボタンを押して、Add-in 設定情報をアップロードします。

11 ［戻る］ボタンを押します。

⇨「Add-in インストール」画面に戻ります。

12 配付通知を行う場合、「配付通知を行う」チェックボックスをチェックします。

配付通知を行うと、スキャナーの起動やログアウト操作が行われなくても、配付通知スケジュールに従ってインストールモジュールがスキャナーに適用されます。

なお、ログイン中に配付通知が行われた場合は、ログアウト後に適用が行われます。また、ほかに更新待ち状態の公開物があれば、それらも同時に適用されます。

13「配付通知スケジュール」で、インストールモジュールを配付通知するスケジュールを設定します。

重要

配付通知を行う場合は、アップデートの制限時間帯と重ならない時刻を設定してください。

14 ［登録］ボタンを押します。

⇨ アップロードしたインストールモジュールが、選択した Add-in グループに登録されます。

ヒント

Add-in は、現在スキャナーにインストールされている Add-in 名と Add-in バージョンがすべて一致しない限り、配付された Add-in がインストールされます。
すでに Add-in がインストールされているスキャナーの Add-in をアップデートする場合、スキャナーは連続して 2 回再起動されます。これは、すでにインストールされている Add-in をアンインストールし、その後、Add-in をアップデートするためです。
Add-in のほかに、システムのアップデートモジュール、システム環境設定が登録されている場合は、次の順で実行されます。

1 システムアップデート
2 Add-in インストール
3 システム環境設定の更新

15 ［戻る］ボタンを押します。

⇨ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

システム環境設定の更新

Scanner Central Admin Console の画面で、システム環境設定の登録、配付通知の設定などを行って、スキャナーのシステム環境設定を更新します。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

登録したシステム環境設定はスキャナーに対して公開され、次を契機として適用されます。

- スキャナーの起動時または省電力モードへの移行時
- スキャナーからのログアウト時
- 配付通知が行われたとき
- スキャナーからの自動アップデート要求時

配付通知を設定すると、Wake On LAN を使用して、電源が入っていない状態または省電力モードの状態のスキャナーにも適用が可能となります。
ログイン中に配付通知が行われた場合は、ログアウト後に適用が行われます。
すでにシステム環境設定が公開中の場合、システム環境設定は置き換えられます。

ヒント
スキャナー側で指定した時間に、アップデートするように設定できます。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「システム環境設定」のリンクを押します。
⇨「システム環境設定」画面が表示されます。

ヒント
システム環境設定の公開を取り消す場合、［キャンセル］ボタンを押してシステム環境設定を削除します。
システム環境設定をキャンセルすると、設定内容の確認や修正ができなくなります。また、共有ジョブ設定のジョブ設定編集画面で、ネットワーク共有プリンターおよびネットワーク共有フォルダーの設定内容を編集・参照できなくなります。

3 「設定グループ名一覧」で、新しいシステム環境設定の登録先となる設定グループを選択します。
⇨「現在の登録内容」に、現在、公開されているシステム環境設定の公開日時が表示されます。

ヒント
スキャナーに設定する設定グループを一括して変更できます。詳細は、「グループの編集」（P.103）を参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

4 「機種名」を選択します。

5 ［システム環境設定編集］ボタンを押します。

重要

［システム環境設定編集］ボタンを押したときに、画面が正しく表示されない場合があります。
この場合、次の対処をしてください。

1 Internet Explorer の「ツール」メニュー →「インターネットオプション」を選択します。
2 「インターネットオプション」画面で「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して、［サイト］ボタンを押します。
3 「信頼済みサイト」画面で、Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加します。
4 「全般」タブの［削除］ボタンを押して、一時ファイルや履歴を削除します。
5 Scanner Central Admin Console を再起動します。

6 スキャナーの設定をします。

詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- ［閉じる］ボタン

  入力したスキャナーの設定を登録して「システム環境設定」画面に戻ります。

7 配付通知を行う場合、「配付通知を行う」チェックボックスをチェックします。

配付通知を行うと、スキャナーの起動やログアウト操作が行われなくても、配付通知スケジュールに従ってシステム環境設定がスキャナーに適用されます。

なお、ログイン中に配付通知が行われた場合は、ログアウト後に適用されます。また、ほかに更新待ち状態の公開物があれば、それらも同時に適用されます。

8 「配付通知スケジュール」で、システム環境設定を配付通知するスケジュールを設定します。

9 ［登録］ボタンを押します。

⇨ 入力したシステム環境設定が、選択した設定グループに登録されます。

ヒント

ネットワーク共有プリンター、ネットワーク共有フォルダーは、すべての定義を削除したあと、公開されたシステム環境設定に従って設定されます。
公開されたシステム環境設定がいったん適用されると、その後、スキャナー側で個別に変更した設定はそのまま有効になります。
Scanner Central Admin Server で新しいシステム環境設定が公開されるまで、システム環境設定が上書き適用されることはありません。
システム環境設定のほかに、システムのアップデートモジュール、Add-in が登録されている場合は、次の順で実行されます。

1 システムアップデート
2 Add-in インストール
3 システム環境設定の更新

10 ［戻る］ボタンを押します。

⇨ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

共有ジョブの設定

Scanner Central Admin Console の画面で、共有ジョブの登録、公開の設定などを行って、ジョブを設定します。
すでに共有ジョブ設定が公開中の場合、共有ジョブ設定は置き換えられます。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「共有ジョブ設定」のリンクを押します。
⇨「共有ジョブ設定」画面が表示されます。

ヒント
共有ジョブ設定の公開、または共有ジョブ設定の公開予定を取り消す場合、［キャンセル］ボタンを押して共有ジョブを削除します。
なお、公開中の共有ジョブ設定をキャンセルしても、すでにスキャナーに送付されたジョブ設定は無効にはなりません。スキャナーで共有ジョブ設定を使用しないようにする場合は、ジョブ設定共有を「無効」に設定してください。

3 新しい共有ジョブ設定を登録する場合、［ジョブ設定編集］ボタンを押します。
⇨ ジョブ設定編集画面が表示されます。

重要
［ジョブ設定編集］ボタンを押したときに、画面が正しく表示されない場合があります。
この場合、次の対処をしてください。
1 Internet Explorer の「ツール」メニュー →「インターネットオプション」を選択します。
2 「インターネットオプション」画面で「セキュリティ」タブの「信頼済みサイト」を選択して、［サイト］ボタンを押します。
3 「信頼済みサイト」画面で、Scanner Central Admin Server の IP アドレス、ホスト名、または FQDN 名を追加します。
4 「全般」タブの［削除］ボタンを押して、一時ファイルや履歴を削除します。
5 Scanner Central Admin Console を再起動します。

4 ジョブを設定します。
前回最後に編集した内容が編集対象となります。

5 「公開スケジュール」で、共有ジョブ設定を公開するスケジュールを設定します。

6 ［登録］ボタンを押します。
⇨ 入力した共有ジョブ設定が登録されます。

7 ［戻る］ボタンを押します。
⇨ Scanner Central Admin Console のメイン画面に戻ります。

適用状況の確認

Scanner Central Admin Console の画面で、次の処理種別の適用状況を確認します。

- システムアップデート
- Add-in インストール
- システム環境設定

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 「適用状況」の「更新対象」の数字のリンクを押します。
⇨ 処理種別に応じた「適用状況」画面が表示されます。

3 適用状況を確認します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

3.12 スキャナーの監視

スキャナーの監視について説明します。
Scanner Central Admin Server で管理しているスキャナーの登録状態、稼働状況、イベント一覧を監視することで、消耗品交換が必要なスキャナー、エラーが発生しているスキャナーなどに迅速に対応できます。

スキャナーの稼働状況が更新されるタイミングは、次のとおりです。

- イメージスキャナーの場合
  - スキャナーを接続しているコンピューターへのログオン時、ログオフ時、シャットダウン時
  - スキャナーのケーブル抜き差し時
  - スキャナーの電源操作時
  - アップデート処理完了時
  - 12 時 /24 時のタイミング
  - Software Operation Panel でのスキャナー設定変更時またはカウンタークリア時
  - Scanner Central Admin Agent の設定画面での設定変更時
- イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの場合
  - スキャナーへのログイン時またはログアウト時
  - スキャナーの起動時または省電力モードからの復帰時
  - スキャナーの電源切断時または省電力モードへの移行時

スキャナーの各種状態の監視

Scanner Central Admin Console の画面で、管理しているスキャナーの登録状況、各管理操作の処理状態、およびイベント情報を監視します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー操作」タブを押します。
⇨「スキャナー操作」画面が表示されます。

2 各種状態を監視します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

スキャナーの稼働状況の監視

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナーの稼働状況を監視します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「稼働状況」タブを押します。
⇨「スキャナー稼働状況」画面が表示されます。

2 稼働状況を監視します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

統計情報の参照

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナーの統計情報を参照できます。
統計情報として収集される情報は、次のとおりです。

- ADF での総読み取り枚数
- フラットベッドでの総読み取り枚数

指定した期間および絞り込み条件の統計情報を参照できます。
統計情報が更新されるタイミングは、スキャナーの稼働状況が更新されるタイミングと同じです。更新されるタイミングについては、「3.12 スキャナーの監視」（P.78）を参照してください。

ヒント

- 参照できる統計情報は、操作当日の前日から 365 日前までの情報です。操作当日の統計情報は参照できません。
- 「スキャナー一覧」画面でスキャナーを削除しても統計情報は削除されません。過去の集計期間内に読み取りした実績のあるスキャナーの統計情報が表示されます。

■統計情報の参照

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「統計情報」タブを押します。
⇨「統計情報」画面が表示されます。

2 「集計期間」の「開始」日付および「終了」日付を指定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

3 「絞り込み条件」を指定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

4 ［一覧の更新］ボタンを押します。
⇨ 指定した期間および絞り込み条件の統計情報が表示されます。

5 統計情報を参照します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

■統計情報のエクスポート

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「統計情報」タブを押します。
⇨「統計情報」画面が表示されます。

2 「集計期間」の「開始」日付および「終了」日付を指定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

3 「絞り込み条件」を指定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

4 ［一覧の更新］ボタンを押します。
⇨ 指定した期間および絞り込み条件の統計情報が表示されます。

5 ［エクスポート］ボタンを押します。
⇨ 統計情報をエクスポートするかどうかの確認画面が表示されます。

6 ［OK］ボタンを押します。
⇨「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

7 ［保存］ボタンを押します。
⇨「名前を付けて保存」画面が表示されます。

8 エクスポート先を指定します。

9 ［保存］ボタンを押します。
⇨ 指定先に統計情報ファイルが出力されます。
エクスポートした統計情報ファイルの形式については、「統計情報ファイルの形式」（P.166）を参照してください。

イベント一覧の参照

スキャナーの Scanner Central Admin Server の設定を行うことで、スキャナーで発生したイベントを監視できます。
Scanner Central Admin Console の画面では、スキャナーで発生したイベントや Scanner Central Admin Server の処理イベントの結果をイベント一覧で参照できます。

■イベント一覧の参照

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「イベント一覧」タブを押します。
⇨「イベント一覧」画面が表示されます。

2 イベント一覧を監視します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

■イベント一覧のエクスポート

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「イベント一覧」タブを押します。
⇨「イベント一覧」画面が表示されます。

2 ［エクスポート］ボタンを押します。
⇨ イベントログをエクスポートするかどうかの確認画面が表示されます。

3 ［OK］ボタンを押します。
⇨「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

4 ［保存］ボタンを押します。
⇨「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5 エクスポート先を指定します。

6 ［保存］ボタンを押します。
⇨ 指定先にイベントログファイルが出力されます。
エクスポートしたイベントログファイルの形式については、「イベントログファイルの形式」（P.166）を参照してください。

■すべてのイベントを削除

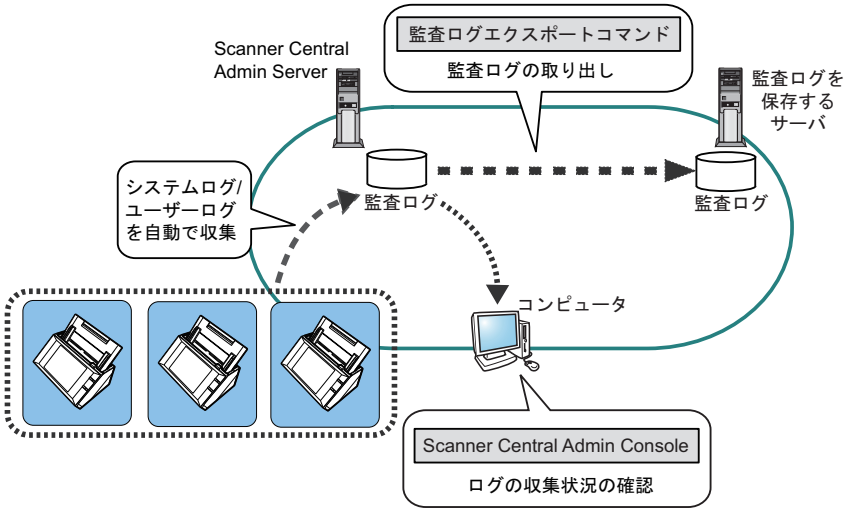
1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「イベント一覧」タブを押します。
⇨「イベント一覧」画面が表示されます。

2 ［クリア］ボタンを押します。
⇨ イベントを削除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 ［OK］ボタンを押します。
⇨ イベントがすべて削除されます。

監査ログの収集 / 取り出し　ネットワークスキャナー

ネットワークスキャナーのシステムログおよびユーザーログを、Scanner Central Admin Server に収集して保存できます。なお、Scanner Central Admin Server に収集したシステムログは「監査ログ（システム）」、ユーザーログは「監査ログ（ユーザー）」と呼びます。また、両者を指すときは「監査ログ」と呼びます。システムログおよびユーザーログを Scanner Central Admin Server に自動で収集することで、利用者の操作履歴を漏れなく記録できます。
監査ログを参照するためには、Scanner Central Admin Server に収集した監査ログを、監査ログ取り出しコマンドを利用して任意のフォルダーに取り出します。
なお、監査ログの収集状況の確認は、Scanner Central Admin Console の「スキャナー詳細情報」画面で確認できます。



監査ログの収集

監査ログを Scanner Central Admin Server へ自動で収集するには、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（ネットワークスキャナー設定）」画面で、監査ログを取得するように設定します。

重要

監査ログは Scanner Central Admin Server で収集された日付単位で管理されます。Scanner Central Admin Server の時刻を変えて、日付を戻さないでください。

ヒント

監査ログを取得すると、監査ログを格納するためのディスク領域が必要になります。ディスク領域は、次を参考にして見積もってください。

次の条件で使用した場合、1 日 1 台あたり 25KB となります。
電源投入 / 切断 1 回、ログイン / ログオフ 20 回、
スキャン回数 100 回

監査ログの取り出し

Scanner Central Admin Server に収集した監査ログの取り出しは、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピューターのコマンドプロンプトで「AmExportLog.exe」を実行して行います。

- コマンド格納先

Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー ¥AmManager¥Bin フォルダー配下

- コマンド実行形式

AmExportLog -d *監査ログの出力先フォルダー名* [-v]

斜体は可変文字列です。

-v は処理の状態を表示する場合に指定します。

ヒント

指定した監査ログの出力先フォルダーには、AuditLogs フォルダーが作成されます。その AuditLogs フォルダーに、日付ごとのフォルダーが作成され、監査ログが保存されます。
なお、日付ごとのフォルダー名は、Scanner Central Admin Server にログが収集された日付になります。このため、スキャナー側の発生日付と異なる場合があります。

- 出力された監査ログのファイル名の形式
（監査ログ（システム）の場合）

スキャナー名 _*MAC アドレス* _syslog.csv

- 出力された監査ログのファイル名の形式
（監査ログ（ユーザー）の場合）

スキャナー名 _*MAC アドレス* _usrlog.csv

- 復帰値
  - 0
    正常終了
  - 0 以外
    異常終了

重要

- コマンドを実行して処理中のときに、再度コマンドを実行しないでください。
- 同一ファイルが指定したフォルダーにすでに存在した場合、上書きして保存されます。
- 取り出された監査ログは、Scanner Central Admin Server から削除されます。
- 取り出し中にエラーが発生した場合、すでに取り出しが完了した監査ログは、Scanner Central Admin Server から削除されます。

監査ログのファイル形式

監査ログのファイル形式について説明します。

- ファイルの文字コードは UTF-8 です。
- CSV 形式です。
- 監査ログに出力される内容は、次のとおりです。
  - 監査ログ（システム）

    次の形式で各項目が出力されます。

    " 通し番号 "," 日付 "," 時刻 "," 種別 "," コード "," メッセージ "

    各項目の内容は次のとおりです。

項目名	説明
通し番号	0 ～ 4294967295 の通し番号です。 通し番号は 1 から順に付加されます。 4294967295 を超えると 0 になります。
日付	システムログの日付に該当します。
時刻	システムログの時刻に該当します。
種別	システムログの種別に該当します。
コード	システムログのコードに該当します。
メッセージ	システムログのメッセージに該当します。

    システムログの参照方法については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

  - 監査ログ（ユーザー）

    次の形式で各項目が出力されます。

    " 通し番号 "," 日付 "," 時刻 "," ユーザー名 "," コード "," 操作 "," 状態 "," ページ "," 詳細情報 "

    各項目の内容は次のとおりです。

項目名	説明
通し番号	0 ～ 4294967295 の通し番号です。 通し番号は 1 から順に付加されます。 4294967295 を超えると 0 になります。
日付	ユーザーログの日付に該当します。
時刻	ユーザーログの時刻に該当します。
ユーザー名	ユーザーログのユーザー名に該当します。
コード	ユーザーログのコードに該当します。
操作	ユーザーログの操作に該当します。
状態	ユーザーログの状態に該当します。
ページ	ユーザーログのページに該当します。
詳細情報	ユーザーログの詳細情報に該当します。

    ユーザーログの参照方法については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

3.13 スキャナーの管理

スキャナーの管理について説明します。
スキャナー構成情報の追加 / 変更 / 削除や、スキャナーの詳細情報（スキャナーの機種名、システム / ファームウェア / ドライバーの版数など）の確認を行うことで、スキャナーを管理できます。
スキャナー構成情報にはグループを設定できるため、スキャナーを部門単位などでグループ分けして、部門ごとにもアップデートできます。
「スキャナー構成情報」とは、スキャナーから Scanner Central Admin Server への登録処理を行うときに、Scanner Central Admin Server 側でスキャナーを特定するための情報です。
スキャナーを登録すると、Scanner Central Admin Server の各管理機能が利用できるようになります。
初期値では、スキャナーから登録すると、自動的にスキャナー構成情報が追加されます。
また、事前にスキャナー構成情報を追加しておかないと、スキャナーを登録できないようにもできます。

スキャナーの情報

Scanner Central Admin Server が管理するスキャナーの情報は、次のとおりです。
スキャナーの情報が更新されるタイミングは、スキャナーの稼働状況が更新されるタイミングと同じです。更新されるタイミングについては、「3.12 スキャナーの監視」（P.78）を参照してください。

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
管理 ID（*1）	スキャナーを接続しているコンピューターまたはスキャナーを特定する管理 ID。ネットワークスキャナーの場合は MAC アドレス	○	○	○	○	○
名前	スキャナーを接続しているコンピューターまたはスキャナーの名前	○	○	○	○	○
スキャナー種別	イメージスキャナー、イメージスキャナー（NX Manager 運用時）、またはネットワークスキャナー	○	○	○	○	○
機種名	スキャナーの機種名。エミュレーションされた状態では、エミュレーションされた機種名	○	○	○	○	○（*2）
フラットベッドスキャナーの機種名（*1）	フラットベッドスキャナーの機種名	-	-	○	○（*3）	-
シリアル番号	スキャナーのシリアル番号	○	○	○（*4）	-	○（*2）
オペレーティングシステム	スキャナーを接続しているコンピューターのオペレーティングシステムとサービスパック	○	-	-	-	○
IP アドレス	スキャナーを接続しているコンピューターまたはスキャナーの IP アドレス	○	○	○	○	○
サブネットマスク（*1）	スキャナーを接続しているコンピューターまたはスキャナーのサブネットマスク	○	○	○	○	○

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
MAC アドレス	スキャナーを接続しているコンピューターまたはスキャナーの MAC アドレス	○	○	○	○	○
説明	説明	○	○	○	○	-
ユーザー管理項目	「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「ユーザー管理項目の編集」で、「ユーザー管理項目」として追加した項目（最大 10 件まで）	○	○	○	○	-
最終編集日時	スキャナー構成情報が最後に編集された日時	○	○	○	-（*5）	-（*5）
登録有無（*1）	スキャナー構成情報を追加し、スキャナーから Scanner Central Admin Server へ登録されたかどうか	○	○	○	-（*5）	-（*5）
適用状態（*1）	更新適用状態（システムアップデート適用状態、Add-in 適用状態、またはシステム環境設定適用状態の適用状態を合わせたもの）	○	○	○	-（*5）	-（*5）
フラットベッドスキャナーシリアル番号	フラットベッドスキャナーのシリアル番号（ネットワークスキャナーではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される）	-	-	○（*4）	-	○（*2）
ポート番号	スキャナーのポート番号	-	○	○	○	○
HTTPS 使用有無	スキャナーへの通信で HTTPS を使用するかどうか	-	○	○	○	○
稼働状態	スキャナーの稼働状態	○	○	○	-	○
エラー有無	スキャナーでエラーが発生したかどうか	○	○	○	-	-
スキャナー情報通知日時	最後にスキャナー情報が収集された日時	○	○	○	-（*5）	-（*5）

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
使用開始日	スキャナーの使用開始日	○	○	○	-	○（*2）
接続インターフェース種別	スキャナーを接続しているコンピューターの接続インターフェイス種別	○	○	-	-	○（*2）
実機種名	スキャナーの実機種名（エミュレーションされた場合に表示される）	○	○	-	-	○（*2）
ADF 総読み取り枚数（枚）	スキャナーの ADF 総読み取り枚数	○	○	○	-	○（*2）
フラットベッドスキャナー総読み取り枚数（枚）	スキャナーのフラットベッドスキャナー総読み取り枚数（ネットワークスキャナーではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される）	○	○	○	-	○（*2）
リターンスキャン総読み取り枚数（枚）	スキャナーのリターンスキャン総読み取り枚数（リターンスキャンが可能なスキャナーの場合に表示される）	○	-	-	-	○
パッドユニット（枚）	パッドユニット使用枚数	○	-	○（*7）	-	○（*2）
パッドユニット状態	パッドユニット使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	-	○（*7）	-	○（*2）
パッドユニットしきい値	パッドユニット状態のしきい値を表す数値	○	-	○（*4）	-	○
パッドユニット前回カウンタークリア日時	パッドユニットのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	-	○
ピックローラユニット（枚）	ピックローラユニット使用枚数	○	○	○	-	○（*2）
ピックローラユニット状態	ピックローラユニット使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	○	-	○（*2）
ピックローラユニットしきい値	ピックローラユニット状態のしきい値を表す数	○	○	○（*4）	-	○

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
ピックローラユニット前回カウンタークリア日時	ピックローラユニットのカウンターが前回クリアされた日時	○	○	-	-	○
ブレーキローラ（枚）	ブレーキローラ使用枚数	○	○	○（*6）	-	○（*2）
ブレーキローラ状態	ブレーキローラ使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	○（*6）	-	○（*2）
ブレーキローラしきい値	ブレーキローラ状態のしきい値を表す数値	○	○	○（*6）	-	○
ブレーキローラ前回カウンタークリア日時	ブレーキローラのカウンターが前回クリアされた日時	○	○	-	-	○
セパレーターローラ（枚）	セパレーターローラ使用枚数	○	-	-	-	○（*2）
セパレーターローラ状態	セパレーターローラ使用枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	-	-	-	○（*2）
セパレーターローラしきい値	セパレーターローラ状態のしきい値を表す数値	○	-	-	-	○
セパレーターローラ前回カウンタークリア日時	セパレーターローラのカウンターが前回クリアされた日時	○	-	-	-	○
プリントカートリッジ	インプリンタのプリントカートリッジのインク残量	○	○	-	-	○（*2）
プリントカートリッジ状態	プリントカートリッジのインク残量がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	-	-	○（*2）
プリントカートリッジ前回カウンタークリア日時	プリントカートリッジのカウンターが前回クリアされた日時	○	○	-	-	○
清掃後の読み取り枚数（枚）	清掃後の読み取り枚数	○	○	-	-	○（*2）
清掃後の読み取り枚数状態	清掃後の読み取り枚数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	-	-	○（*2）

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
清掃後の読み取り枚数しきい値	清掃後の読み取り枚数のしきい値を表す数値	○	○	-	-	○（*2）
フィードローラ清掃	フィードローラの清掃が必要かを表す数値	○	○	-	-	○（*2）
アシストローラ清掃	アシストローラの清掃が必要かを表す数値	○	-	-	-	○（*2）
ガラス清掃	ガラスの清掃が必要かを表す数値	○	○	-	-	○（*2）
原稿づまり、マルチフィード：一日の発生回数（回）	1 日で発生した、原稿づまり、マルチフィードの回数	○	○	○（*6）	-	○（*2）
原稿づまり、マルチフィード：一日の発生回数状態	1 日で発生した、原稿づまり、マルチフィードの回数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	○（*6）	-	-
原稿づまり、マルチフィード：読み取り枚数内の発生回数（回）	指定した読み取り枚数の範囲で発生した、原稿づまり、マルチフィードの回数	○	○	○（*6）	-	○（*2）
原稿づまり、マルチフィード：読み取り枚数内の発生回数状態	指定した読み取り枚数の範囲で発生した、原稿づまり、マルチフィードの回数がしきい値を超えたかを表す数値	○	○	○（*6）	-	-
フラットベッドスキャナー使用開始日	フラットベッドスキャナーの使用開始日（ネットワークスキャナーではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される）	-	-	○	-	○
累積稼働時間（時間）	スキャナーの総稼働時間	-	-	○	-	○
監査ログ最終取得日時	最後に監査ログが収集された日時	-	-	○	-（*5）	-（*5）
アップデートグループ	適用されるアップデートモジュールを特定するグループの名前。名前が設定されないスキャナーは、「デフォルト」グループに属する	○	○	○	○	-

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
設定グループ	適用されるシステム環境設定を特定するグループの名前。名前が設定されないスキャナーは、「デフォルト」グループに属する	-	-	○	○	-
TWAIN ドライバ版数	スキャナーを接続しているコンピューターの TWAIN ドライバー版数（インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートである場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される）	○	-	-	-	○
TWAIN ドライバ適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの TWAIN ドライバーアップデートの適用状態	○	-	-	-	-
TWAIN ドライバ適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの TWAIN ドライバーアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
ISIS ドライバ版数	スキャナーを接続しているコンピューターの ISIS ドライバー版数（インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートで ある場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される）	○	-	-	-	○
ISIS ドライバ適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの ISIS ドライバーアップデートの適用状態	○	-	-	-	-
ISIS ドライバ適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの ISIS ドライバーアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
Software VRS 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Software VRS 版数 （インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートで ある場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される）	○	-	-	-	○
Software VRS 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Software VRS アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Software VRS 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Software VRS アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Hardware VRS 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Hardware VRS 版数 （インストールされている版数が Scanner Central Admin 未サポートで ある場合は、「版数 (NotSupport)」と表示される）	○	-	-	-	○
Hardware VRS 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Hardware VRS アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Hardware VRS 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Hardware VRS アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Scanner Control Runtime 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Control Runtime 版数	○	-	-	-	○
Scanner Control Runtime 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Control Runtime アップデートの適用状態	○	-	-	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
Scanner Control Runtime 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Control Runtime アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
ScandAll PRO 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの ScandAll PRO 版数	○	-	-	-	○
ScandAll PRO 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの ScandAll PRO アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
ScandAll PRO 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの ScandAll PRO アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Scan to Microsoft SharePoint 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Scan to Microsoft SharePoint 版数	○	-	-	-	○
Scan to Microsoft SharePoint 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Scan to Microsoft SharePoint アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Scan to Microsoft SharePoint 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Scan to Microsoft SharePoint アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Error Recovery Guide 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide 版数	○	-	-	-	○
Error Recovery Guide 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Error Recovery Guide 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Error Recovery Guide アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
マニュアル版数	スキャナーを接続しているコンピューターのマニュアル版数	○	-	-	-	○
マニュアル適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターのマニュアルアップデートの適用状態	○	-	-	-	-
マニュアル適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターのマニュアルアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent 版数	○	-	-	-	○
Scanner Central Admin Agent 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
ファームウェア版数	スキャナーのファームウェア版数	○	○	○	-	○（*2）
ファームウェア適用状態	スキャナーのファームウェアアップデートの適用状態	○	○	-	-	-
ファームウェア適用日時	スキャナーのファームウェアアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	○	-	-	-
ファームウェア（インプリンタ）版数	インプリンタのファームウェア版数	○	○	-	-	○（*2）
ファームウェア（インプリンタ）適用状態	インプリンタのファームウェアアップデートの適用状態	○	○	-	-	-
ファームウェア（インプリンタ）適用日時	インプリンタのファームウェアアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	○	-	-	-

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
ユーザーアプリケーション版数	スキャナーを接続しているコンピューターのユーザーアプリケーション版数	○	-	-	-	○
ユーザーアプリケーション適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターのユーザーアプリケーションアップデートの適用状態	○	-	-	-	-
ユーザーアプリケーション適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターのユーザーアプリケーションアップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Software Operation Panel 設定情報版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Software Operation Panel 設定情報版数	○	-	-	-	○
Software Operation Panel 設定情報適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Software Operation Panel 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Software Operation Panel 設定情報適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Software Operation Panel 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
ScandAll PRO 設定情報版数	スキャナーを接続しているコンピューターの ScandAll PRO 設定情報版数	○	-	-	-	○
ScandAll PRO 設定情報適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの ScandAll PRO 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
ScandAll PRO 設定情報適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの ScandAll PRO 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報版数	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent 設定情報版数	○	-	-	-	○

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
Scanner Central Admin Agent 設定情報適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
PaperStream IP（TWAIN）版数	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（TWAIN）版数	○	-	-	-	○
PaperStream IP（TWAIN）適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（TWAIN）アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
PaperStream IP（TWAIN）適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（TWAIN）アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
PaperStream IP（ISIS）版数	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（ISIS）版数	○	-	-	-	○
PaperStream IP（ISIS）適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（ISIS）アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
PaperStream IP（ISIS）適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（ISIS）アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
ScanSnap Manager for fi Series 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの ScanSnap Manager for fi Series 版数	○	-	-	-	○
ScanSnap Manager for fi Series 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの ScanSnap Manager for fi Series アップデートの適用状態	○	-	-	-	-

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
ScanSnap Manager for fi Series 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの ScanSnap Manager for fi Series アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
PaperStream Capture 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream Capture 版数	○	-	-	-	○
PaperStream Capture 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream Capture アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
PaperStream Capture 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream Capture アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
2D Barcode for PaperStream 版数	スキャナーを接続しているコンピューターの 2D Barcode for PaperStream 版数	○	-	-	-	○
2D Barcode for PaperStream 適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの 2D Barcode for PaperStream アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
2D Barcode for PaperStream 適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの 2D Barcode for PaperStream アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
PaperStream IP（TWAIN）設定情報版数	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（TWAIN）設定情報版数	○	-	-	-	○
PaperStream IP（TWAIN）設定情報適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（TWAIN）設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-	-

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
PaperStream IP（TWAIN）設定情報適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（TWAIN）設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
PaperStream IP（ISIS）設定情報版数	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（ISIS）設定情報版数	○	-	-	-	○
PaperStream IP（ISIS）設定情報適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（ISIS）設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
PaperStream IP（ISIS）設定情報適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream IP（ISIS）設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
PaperStream Capture 設定情報版数	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream Capture 設定情報版数	○	-	-	-	○
PaperStream Capture 設定情報適用状態	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream Capture 設定情報アップデートの適用状態	○	-	-	-	-
PaperStream Capture 設定情報適用日時	スキャナーを接続しているコンピューターの PaperStream Capture 設定情報アップデートの適用完了通知を受け取った日時	○	-	-	-	-
システム版数	スキャナーのシステム版数	-	-	○	-	○
セキュリティアップデート版数	セキュリティアップデートの版数	-	-	○	-	○
オプション機能	適用されているオプション機能の一覧	-	-	○	-	○

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
システムアップデート適用状態	システムアップデートの適用状態	-	-	○	-（*5）	-（*5）
フラットベッドスキャナーファームウェア版数	フラットベッドスキャナーのファームウェア版数（ネットワークスキャナーではフラットベッドオプションが有効な場合に表示される）	-	-	○	-	○
システムアップデート適用日時	システムアップデートの適用完了通知を受け取った日時	-	-	○	-（*5）	-（*5）
Add-in グループ	適用される Add-in インストールモジュールを特定するグループの名前。名前が設定されないスキャナーは、「デフォルト」グループに属する	-	-	○	○	-
Add-in 版数	スキャナーの Add-in インストールモジュールの版数	-	-	○	-	○
Add-in 適用状態	スキャナーの Add-in の適用状態	-	-	○	-（*5）	-（*5）
Add-in インストール適用日時	スキャナーの Add-in インストールの適用完了通知を受け取った日時	-	-	○	-（*5）	-（*5）
Add-in 設定情報適用日時	スキャナーの Add-in 設定情報の適用完了通知を受け取った日時	-	-	○	-（*5）	-（*5）
システム環境設定（*1）	Scanner Central Admin Server で公開して適用されたシステム環境設定を識別するための情報	-	-	○	-	-
システム環境設定適用状態	システム環境設定の適用状態	-	-	○	-（*5）	-（*5）
システム環境設定適用日時	公開したシステム環境設定の適用完了通知を受け取った日時	-	-	○	-（*5）	-（*5）
スキャナー設定情報版数	スキャナー設定情報の版数	-	○	-	-	○

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目	説明	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー	スキャナー構成情報	スキャナーから登録する情報
スキャナー設定情報適用状態	スキャナー設定情報の適用状態	-	○	-	-	-
スキャナー設定情報適用日時	スキャナー設定情報の適用完了通知を受け取った日時	-	○	-	-	-

「イメージスキャナー」の列の記号の意味は、次のとおりです。
○ ：イメージスキャナーの情報です。
- ：イメージスキャナーでは対象外の情報です。

「イメージスキャナー（NX Manager 運用時）」の列の記号の意味は、次のとおりです。
○ ：イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の情報です。
- ：イメージスキャナー（NX Manager 運用時）では対象外の情報です。

「ネットワークスキャナー」の列の記号の意味は、次のとおりです。
○ ：ネットワークスキャナーの情報です。
- ：ネットワークスキャナーでは対象外の情報です。

「スキャナー構成情報」の列の記号の意味は、次のとおりです。
○ ：スキャナー構成情報です。
- ：スキャナー構成情報ではありません。追加 / 編集 / インポートはできません。

「スキャナーから登録する情報」の列の記号の意味は、次のとおりです。
○ ：スキャナーから登録される情報です。
- ：スキャナーから登録されない情報です。

*1 ：「スキャナー詳細情報」画面には表示されません。
*2 ：スキャナーを接続していない場合、情報は登録されません。
*3 ：空白が出力されます。

*4 ：機種によっては通知されない場合があります。

*5 ：Scanner Central Admin Server で自動的に設定されます。

*6 ：N7100 または N7100E の場合に通知されます。

*7 ：N1800 または fi-6010N の場合に通知されます。

スキャナー構成情報の追加

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー構成情報を追加します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。

⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［追加］ボタンを押します。

⇨「スキャナー構成情報編集」画面が表示されます。

3 各設定項目を設定します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

4 ［OK］ボタンを押します。

⇨ スキャナー構成情報が登録されます。

「スキャナー一覧」画面の「状態」には「未登録」と表示されます。

5 Scanner Central Admin Agent、イメージスキャナー（NX Manager 運用時）、またはネットワークスキャナーから登録します。

- イメージスキャナーの場合
  Scanner Central Admin Agent から登録すると、正しく登録が完了します。登録方法については、「3.6 事前設定（Scanner Central Admin Agent）」（P.53）を参照してください。
- イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの場合
  イメージスキャナー（NX Manager 運用時）またはネットワークスキャナーから登録すると、正しく登録が完了します。登録方法については、「3.7 事前設定（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナー）」（P.55）を参照してください。

ヒント

スキャナー構成情報を参照作成する場合は、「スキャナー一覧」画面で、参照作成するスキャナーのチェックボックスをチェックして、［参照して追加］ボタンを押して編集してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

スキャナー構成情報の編集

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー構成情報を編集します。
スキャナーから自動的に登録されたスキャナー構成情報に、グループや説明を設定できます。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 編集するスキャナー名のリンクをクリックします。
⇨「スキャナー詳細情報」画面が表示されます。

3 ［編集］ボタンを押します。
⇨「スキャナー構成情報編集」画面が表示されます。

4 各設定項目を編集します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

5 ［OK］ボタンを押します。
⇨ スキャナー構成情報の内容が変更されます。

スキャナー構成情報の削除

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー構成情報を削除します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 削除するスキャナーのチェックボックスをチェックします。

3 ［削除］ボタンを押します。
⇨ スキャナー構成情報を削除するかどうかの確認画面が表示されます。

4 ［OK］ボタンを押します。
⇨ スキャナー構成情報が削除されます。

重要

- スキャナー構成情報を削除しただけでは、スキャナー側の Scanner Central Admin Server の設定は未登録になりません。集中管理をしないように設定を未登録にする場合は、スキャナー側の Scanner Central Admin Server の設定を「無効」にしてください。
- イメージスキャナーの場合、Scanner Central Admin Agent 設定情報を配付することで、複数のスキャナーの Scanner Central Admin Server への登録状態をまとめて無効にできます。
- イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合、スキャナー設定情報を配付することで、複数のスキャナーの Scanner Central Admin Server への登録状態をまとめて無効にできます。
- ネットワークスキャナーの場合、システム環境設定を配付することで、複数のスキャナーの Scanner Central Admin Server への登録状態をまとめて無効にできます。
- 再度対象スキャナーを集中管理の対象とする場合は、Scanner Central Admin Server に再登録してください。

グループの編集

Scanner Central Admin Console の画面で、管理しているスキャナーに対して、グループを追加 / 変更したり、グループからスキャナーを外したりします。

■スキャナーのグループの追加 / 変更

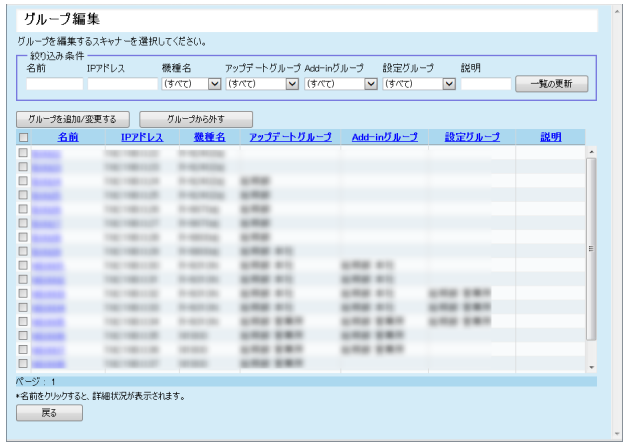
スキャナーに以下のグループを一括して追加します。また、スキャナーに設定しているグループを一括して変更します。

- アップデートグループ
- Add-in グループ（ネットワークスキャナーのみ）
- 設定グループ（ネットワークスキャナーのみ）

グループを追加する場合、既存のグループを設定するか、グループを新規作成して設定します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［グループ編集］ボタンを押します。
⇨「グループ編集」画面が表示されます。



3 グループを追加または変更するスキャナーのチェックボックスをチェックして、［グループを追加 / 変更する］ボタンを押します。
⇨ グループ名を編集する画面が表示されます。

4 各項目を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

5 ［OK］ボタンを押します。
⇨ スキャナーに対して、グループが追加または変更されます。
また、各スキャナー構成情報に設定したグループが登録されます。

■スキャナーをグループから外す

スキャナーに設定している以下のグループから、スキャナーを一括して外します。

- アップデートグループ
- Add-in グループ（ネットワークスキャナーのみ）
- 設定グループ（ネットワークスキャナーのみ）

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧タブ」を押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［グループ編集］ボタンを押します。
⇨「グループ編集」画面が表示されます。

3 グループから外すスキャナーのチェックボックスをチェックして、［グループから外す］ボタンを押します。
⇨ グループ名を削除する画面が表示されます。

4 スキャナーを外すグループの種別を選択して、［OK］ボタンを押します。
⇨ 選択したグループからスキャナーが外されます。
また、各スキャナー構成情報のグループが削除されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

スキャナー構成情報のエクスポート

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー構成情報をファイルにエクスポートします。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［エクスポート］ボタンを押します。
⇨ スキャナー構成情報をエクスポートするかどうかの確認画面が表示されます。

3 エクスポートする情報を選択して、［OK］ボタンを押します。
⇨「ファイルのダウンロード」画面が表示されます。

4 ［保存］ボタンを押します。
⇨「名前を付けて保存」画面が表示されます。

5 エクスポート先を指定します。

6 ［保存］ボタンを押します。
⇨ 指定先にスキャナー構成情報ファイルが出力されます。
エクスポートしたスキャナー構成情報ファイルの形式については、「スキャナー構成情報ファイルの形式（エクスポートする場合）」（P.151）を参照してください。

スキャナー構成情報のインポート

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー構成情報ファイルをインポートして、スキャナー構成情報を一括して登録します。
インポートするスキャナー構成情報ファイルの形式については、「スキャナー構成情報ファイルの形式（インポートする場合）」（P.165）を参照してください。
また、管理しているスキャナー構成情報を一括して更新できます。

重要
- スキャナー構成情報以外のスキャナー情報は、インポートできません。
- スキャナー構成情報をインポートしても、スキャナーからの登録が完了していない場合は、管理対象となりません。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［インポート］ボタンを押します。
⇨「スキャナー構成情報インポート」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 インポートするスキャナー構成情報ファイルを指定します。
［参照］ボタンでファイルを指定できます。

4 ［インポート］ボタンを押します。
⇨ スキャナー構成情報ファイルがインポートされ、スキャナーが登録されます。

重要

- 0 件のスキャナー構成情報ファイルをインポートすると、スキャナー構成情報がすべて削除されます。
- インポートしたスキャナー構成情報ファイルにないスキャナーの情報は削除されます。
- 既存のスキャナー構成情報と同一のMACアドレスまたはスキャナー名があった場合は、すでに存在するとみなします。同一かどうかの判定は、MAC アドレス、スキャナー名の順序で行われます。この場合、「3.13 スキャナーの管理」（P.84）の表の「スキャナー構成情報」の列で「○」になっている項目が置き換えられ、「-」になっている項目はそのまま残ります。
- 同一の MAC アドレスまたはスキャナー名が存在しない場合は、インポートしたスキャナー構成情報が追加されます。

スキャナーの自動探索 / 登録

イメージスキャナー（NX Manager運用時） ネットワークスキャナー

Scanner Central Admin Console の画面で、指定したネットワーク範囲に存在する未登録のスキャナーを自動検出して登録します。
また、すでにほかの Scanner Central Admin Server に登録済みのスキャナーを、探索を実行した Scanner Central Admin Server へ強制的に登録できます。

ヒント

イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合、fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 シリーズをサポートしています。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［スキャナー自動探索］ボタンを押します。
⇨「スキャナー自動探索」画面が表示されます。

3 探索するネットワーク範囲とサブネットマスクを指定します。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

4 ［追加 ->］ボタンを押します。

⇨「探索範囲一覧」に、指定したネットワーク範囲が表示されます。

ヒント

探索するネットワーク範囲として指定した IP アドレスが「探索範囲一覧」に追加されなかった場合、正しく「探索範囲一覧」に追加するための情報がヒントに表示されます。

5 「探索範囲一覧」から、探索するネットワーク範囲のチェックボックスをチェックします。

6 スキャナーへの探索要求を試みる HTTP 通信の「ポート番号」を設定します。HTTP/HTTPS 種別を切り替える場合は、「HTTPS 使用有無」チェックボックスをチェックします。

ヒント

「ポート番号」と「HTTPS 使用有無」チェックボックスの設定は、探索対象となるスキャナーの管理者設定にあわせて次のように設定してください。
お使いのスキャナーのバージョンによっては、操作が異なる場合があります。詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

- 「ポート番号」
  スキャナーの「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」→「接続設定」の「ポート番号」に設定されている値と同じ値を設定します。
- 「HTTPS 使用有無」チェックボックス
  スキャナーの「ネットワーク設定」→「ネットワーク管理」→「接続設定」の「SSL 通信」の設定
  - 有効の場合：チェックボックスをチェックします。
  - 無効の場合：チェックボックスにチェックしません。

7 すでにほかの Scanner Central Admin Server に登録済みのスキャナーを強制的に登録したい場合は「別のサーバに登録されているスキャナーを現在のサーバに登録します。」チェックボックスをチェックします。

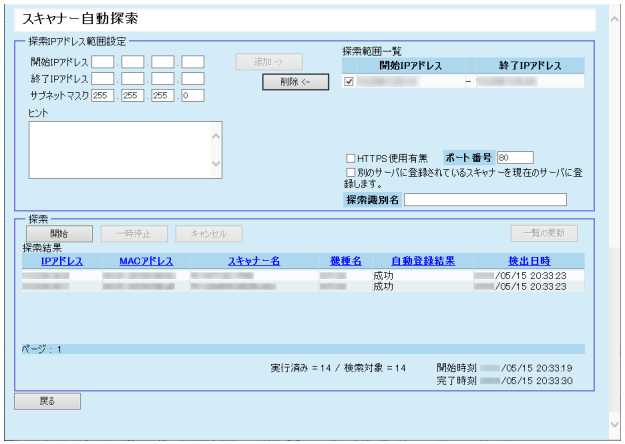
8 Scanner Central Admin Server に登録対象とするスキャナーを限定する場合は、「探索識別名」にスキャナー側で設定されている探索識別名を入力します。

ヒント

- スキャナー側で設定されている探索識別名を「探索識別名」に入力することで、その探索識別名が設定されているスキャナーだけを探索します。
- 「探索識別名」の最大文字数は半角 100 文字です。
  英大文字、英小文字、数字、および記号が使用できます。
  なお、英大文字と英小文字は区別されます。

9 ［開始］ボタンを押します。

⇨ 自動探索が開始され、終了すると「探索結果」に結果が表示されます。



10 ［戻る］ボタンを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面に戻ります。

ヒント
自動探索で登録されたスキャナーは、「スキャナー一覧」画面の説明欄に「Scanner Discovery（自動探索を実施した日付）」が表示されます。

スキャナー一覧に表示する項目の編集

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナー一覧に表示する項目を編集します。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 ［表示項目の編集］ボタンを押します。
⇨ 表示項目を選択するための画面が表示されます。

3 スキャナー一覧に表示する項目のチェックボックスをチェックします。

4 ［上へ］ボタンまたは［下へ］ボタンを押して、項目の表示順を指定します。

5 ［OK］ボタンを押します。
⇨ 設定した項目がスキャナー一覧に表示されます。

スキャナー詳細情報の確認

Scanner Central Admin Console の画面で、スキャナーの詳細情報を確認します。
スキャナーの詳細情報が更新されるタイミングは、スキャナーの稼働状況が更新されるタイミングと同じです。更新されるタイミングについては、「3.12 スキャナーの監視」（P.78）を参照してください。

1 Scanner Central Admin Console のメイン画面の「スキャナー一覧」タブを押します。
⇨「スキャナー一覧」画面が表示されます。

2 スキャナーの詳細情報を参照するスキャナー名のリンクを押します。
⇨「スキャナー詳細情報」画面が表示されます。

3 スキャナーの詳細情報を確認します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

3.14 スキャナーの保守

Scanner Central Admin Console の画面で、消耗品交換が必要なスキャナー、エラーが発生しているスキャナー、およびメンテナンスが必要なスキャナーの存在を確認した場合、スキャナーへの対処を行います。

消耗品の交換が必要になった場合

Scanner Central Admin Console の「スキャナー詳細情報」画面で交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。
消耗品の交換については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

エラーが発生した場合

Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面でエラーの詳細を確認して、対処します。
エラーの対処については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

スキャナーのメンテナンスが必要になった場合

Scanner Central Admin Console の「スキャナー詳細情報」画面でメンテナンス情報を確認して、スキャナーをメンテナンスします。
メンテナンス方法については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3.15 運用パターン例

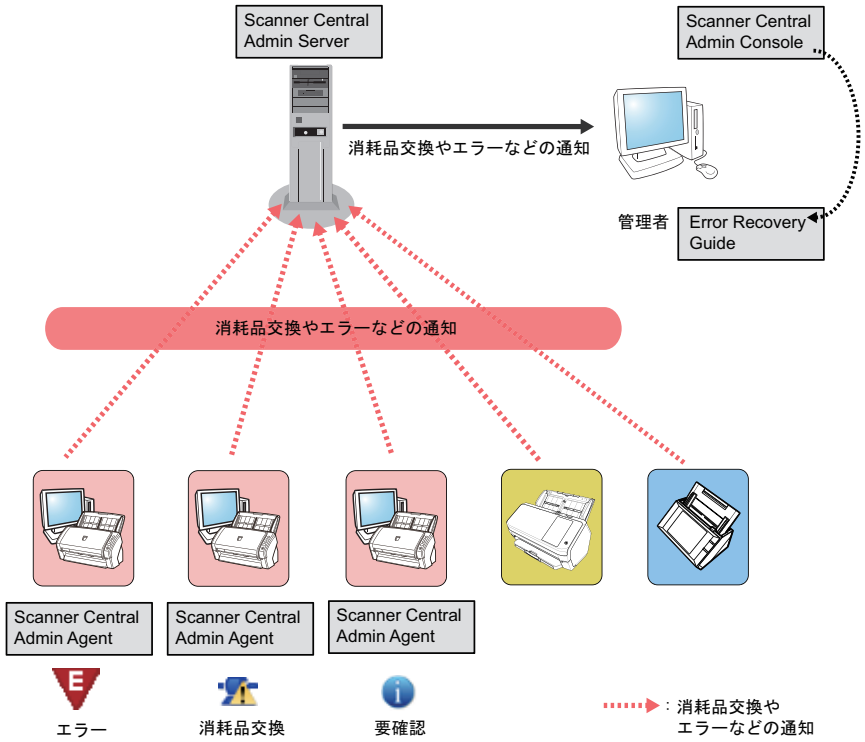
運用パターン例について説明します。
ここでは、次の 2 つの運用パターン例を紹介します。

- スキャナーを監視する運用
- スキャナーをアップデートする運用

次に、それぞれの運用パターン例について説明します。

スキャナーを監視する運用

スキャナーから通知された消耗品交換、エラー、およびメンテナンスが必要な要確認状態を、Scanner Central Admin Console の画面で確認して、スキャナーを監視します。



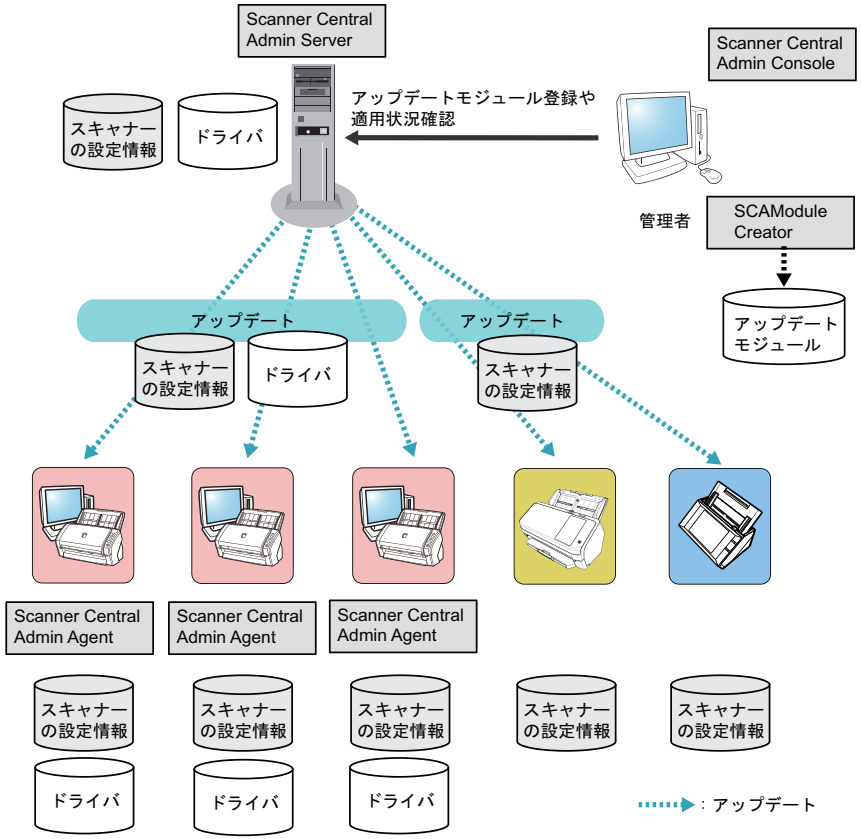
1 Scanner Central Admin Console からログインします。
Scanner Central Admin Console からのログイン方法については、「3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン」（P.49）を参照してください。

2 Scanner Central Admin Console の「スキャナー詳細情報」画面で交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。また、メンテナンス情報を確認して、清掃を行ってください。

3 Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面でエラーの詳細を確認して、対処します。
イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合、スキャナーに装置エラーが発生すると、［エラー詳細］ボタンが有効になります。［エラー詳細］ボタンを押すと、装置エラーに該当する Error Recovery Guide が表示されるため、内容を確認して対処してください。

スキャナーをアップデートする運用

複数台のスキャナーの設定情報やドライバーなどを、一括してアップデートします。スキャナーのアップデートは、スキャナーでの作業をしない夜間などに行うこともできます。



1 アップデートモジュールを作成します。

アップデートモジュールの作成方法については、「アップデートモジュールの作成」（P.60）を参照してください。

2 Scanner Central Admin Console からログインします。

Scanner Central Admin Console からのログイン方法については、「3.4 Scanner Central Admin Console からのログイン」（P.49）を参照してください。

3 動作確認用のスキャナーで、アップデートに問題ないことを確認します。

動作確認用のスキャナーが属する動作確認用のグループを設定し、手順 4 ～ 6 を参照してアップデートに問題ないことを確認してください。

4 Scanner Central Admin Console の次の画面で、Scanner Central Admin Server にアップデートモジュールを登録します。

- 「イメージスキャナーアップデート登録」画面
- 「システムアップデート」画面
- 「Add-in インストール」画面
- 「システム環境設定」画面
- 「共有ジョブ設定」画面

ヒント

アップデートモジュール適用時の負荷を分散するためには、次のように設定します。

- 設定グループを複数分類する
- 設定グループごとに配付スケジュールを変えて、アップデートモジュールを登録 / 配付する

5 アップデートモジュールを適用します。

次のタイミングでスキャナーにアップデートモジュールを適用します。

- イメージスキャナーの場合
  - スキャナーを接続しているコンピューターにログオンしたとき
  - スキャナーを接続しているコンピューターの画面右下の通知領域にある Scanner Central Admin Agent アイコンの右クリックメニューから「アップデートの適用」を選択したとき
  - Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートの存在を定期的に確認する」チェックボックスをチェックした場合で、「アップデート確認間隔」が経過したとき
  - Scanner Central Admin Agent の「Scanner Central Admin Server の設定」画面の「アップデートをログオフ中に適用する」チェックボックスをチェックした場合で、スキャナーを接続しているコンピューターをログオフしたとき
- イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合
  - スキャナーの起動時
  - スキャナーからのログアウト時
- ネットワークスキャナーの場合
  - スキャナーの起動時または省電力モードへの移行時
  - スキャナーからのログアウト時
  - 配付通知が行われたとき
  - スキャナーからの自動アップデート要求時

6 Scanner Central Admin Console の「適用状況」画面で、アップデートモジュールの適用状況を確認します。

第 4 章　メール通知を利用した運用

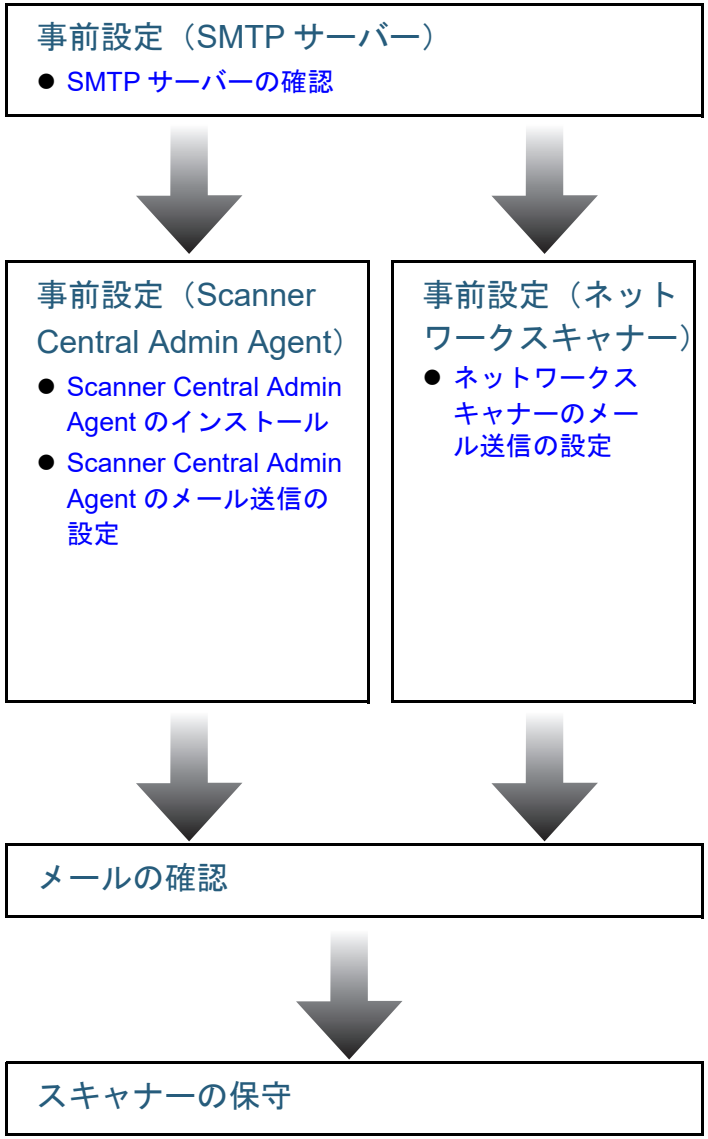
イメージスキャナー　ネットワークスキャナー

この章では、メール通知を利用した運用について説明します。

4.1 作業の流れ 114
4.2 事前設定（SMTP サーバー） 115
4.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent） 116
4.4 事前設定（ネットワークスキャナー） 118
4.5 メールの確認 119
4.6 スキャナーの保守 124

4.1 作業の流れ

作業の流れについて説明します。



詳細は、「4.2 事前設定（SMTP サーバー）」（P.115）を参照してください。

事前設定（Scanner Central Admin Agent）は、イメージスキャナーの場合に必要な設定です。
詳細は、「4.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）」（P.116）を参照してください。

事前設定（ネットワークスキャナー）は、ネットワークスキャナーの場合に必要な設定です。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

重要

Scanner Central Admin Server を利用した運用を行っている場合は、メールを各スキャナーから送るのではなく、Scanner Central Admin Server から異常通知メールを送信する設定ができます。Scanner Central Admin Server から異常通知メールを送信するには、Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面で設定してください。

詳細は、「4.5 メールの確認」（P.119）を参照してください。

詳細は、「4.6 スキャナーの保守」（P.124）を参照してください。

4.2 事前設定（SMTP サーバー）

SMTP サーバーの事前設定について説明します。

SMTP サーバーの確認

SMTP サーバーのアドレス、ポート番号を確認します。
詳細は、システム管理者に確認してください。

4.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent） イメージスキャナー

Scanner Central Admin Agent の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Agent のインストール

Scanner Central Admin Agent は、スキャナーを接続しているコンピューターにインストールします。
Scanner Central Admin Agent のインストール方法については、「2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール」（P.37）を参照してください。

Scanner Central Admin Agent のメール送信の設定

Scanner Central Admin Agent のメール送信の設定をします。スキャナーの消耗品交換やエラー、スキャナー情報を、管理者にメール送信できるようになります。

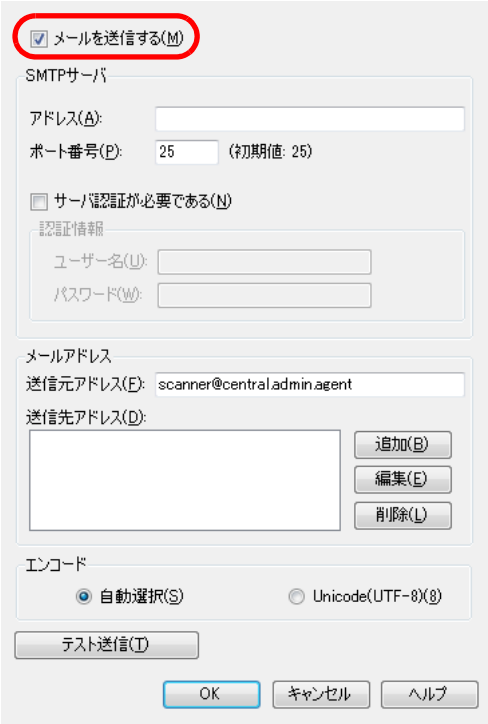
1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Agent」→「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇨「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。

2 「メール送信」の［設定］ボタンを押します。

⇨「メール送信の設定」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 「メールを送信する」チェックボックスをチェックします。



4 SMTP サーバー、メールアドレス、エンコードを設定します。

SMTP サーバーのアドレス、ポート番号は、「SMTP サーバーの確認」（P.115）で確認した値を設定します。

各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

5 ［テスト送信］ボタンを押します。

正しくテストメールが送信されるかを確認します。

テストメールの形式については、「4.5 メールの確認」（P.119）を参照してください。

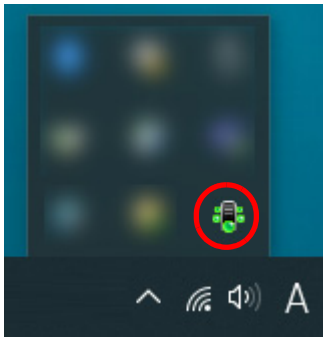
重要

コンピューター名に、半角英数字（a ～ z、A ～ Z、0 ～ 9）および半角ハイフン（-）以外の文字が含まれている場合は、メール送信ができません。

6 ［OK］ボタンを押します。

⇨ 設定を有効にして、「Scanner Central Admin Agent」画面に戻ります。

画面右下の通知領域に Scanner Central Admin Agent アイコンが表示されます。



4.4 事前設定（ネットワークスキャナー） ネットワークスキャナー

ネットワークスキャナーの事前設定について説明します。

ネットワークスキャナーのメール送信の設定

ネットワークスキャナーのメール送信の設定をします。
スキャナーの消耗品交換やエラーを、管理者にメール送信できるようになります。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

4.5 メールの確認

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に送信されるメールを確認します。
メールの形式は、次のとおりです。

件名

Message from Scanner Central Admin Agent（*1）（*2）

本文

このメールは Scanner Central Admin Agent [エラー通知コンピュータ名] からのイベント通知です。（*1）

発生日時	：メッセージ通知日時（形式：YYYY/MM/DD hh:mm:ss）
発生元	：メッセージ通知したコンピューター名
IP アドレス	：メッセージ通知したコンピューターの IP アドレス
機種名	：メッセージ通知が発生したスキャナーの機種名
シリアル番号	：メッセージ通知が発生したスキャナーのシリアル番号
イベント種別	：メッセージのタイプ（*3）
メッセージコード	：メッセージのコード（*4）（*5）
メッセージ	：メッセージの内容（*4）（*5）

*1：ネットワークスキャナーの場合は、「Scanner Central Admin Agent」が各機種に応じた表記となります。

*2：テストメールの場合は、件名の先頭に「[Test] 」が付きます。

*3：イベント種別は、次のとおりです。

情報	：情報の場合
エラー	：エラーの場合
警告	：警告の場合
-（ハイフン）	：テストメールの場合

*4：メッセージコード、メッセージの詳細は、Scanner Central Admin Console のヘルプを参照してください。

*5：テストメールの場合は、常に「-（ハイフン）」となります。

例：イベント種別が情報の場合

件名
Message from Scanner Central Admin Agent

本文
このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時	: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元	: PC-001
IP アドレス	: xxx.xxx.xxx.xxx
機種名	: fi-xxxxx
シリアル番号	: 000660(B1)
イベント種別	: 情報
メッセージコード	: 0F080001
メッセージ	: スキャナーが変更されました。

例：イベント種別がエラーの場合

件名
Message from Scanner Central Admin Agent

本文
このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時	: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元	: PC-001
IP アドレス	: xxx.xxx.xxx.xxx
機種名	: fi-xxxxx
シリアル番号	: 000660(B1)
イベント種別	: エラー
メッセージコード	: 8F060001
メッセージ	: スキャナーで部品交換が必要なエラーを検出しました。[048005, 87：駆動系異常]

例：イベント種別が警告の場合

件名
Message from Scanner Central Admin Agent

本文
このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時	: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元	: PC-001
IP アドレス	: xxx.xxx.xxx.xxx
機種名	: fi-xxxxx
シリアル番号	: 000660(B1)
イベント種別	: 警告
メッセージコード	: 6F070002
メッセージ	: スキャナーの消耗品の交換時期が近づいています。消耗品：ブレーキローラ

例：イベント種別がテストメールの場合

件名
[Test] Message from Scanner Central Admin Agent

本文
このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのイベント通知です。

発生日時	: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
発生元	: PC-001
IP アドレス	: xxx.xxx.xxx.xxx
機種名	: fi-xxxxx
シリアル番号	: 000660(B1)
イベント種別	: -
メッセージコード	: -
メッセージ	: -

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

Scanner Central Admin Agent のメール送信で、「送信先メールアドレスの追加 / 編集」画面の「スキャナー情報を定期的に送信する」チェックボックスをチェックした場合に送信されるメールを確認します。
メールの形式は、次のとおりです。

件名
Message from Scanner Central Admin Agent

本文
このメールは Scanner Central Admin Agent [エラー通知コンピュータ名] からのスキャナー情報通知です。

[「送信先メールアドレスの追加 / 編集」画面の「メッセージ」に登録したメッセージ]

情報収集日時	:（形式：YYYY/MM/DD hh:mm:ss）
通知元	: メッセージ通知したコンピューター名
IP アドレス	: メッセージ通知したコンピューターの IP アドレス
機種名	: メッセージ通知が発生したスキャナーの機種名
シリアル番号	: メッセージ通知が発生したスキャナーのシリアル番号
オペレーティングシステム	: メッセージ通知したコンピューターのオペレーティングシステム
MAC アドレス	: xx:xx:xx:xx:xx:xx
使用開始日	:（形式：YYYY/MM/DD hh:mm:ss）
接続インターフェース	: xxxx
総読み取り枚数	: xxx
消耗品情報（枚）（*1）	: xxx / xxx
消耗品情報（状態）（*1）	: 正常／交換時期間近／交換時期を超えた
稼働状態	: ログイン／停止／不明
エラー有無	: なし／あり
インストール済みスキャナー用ソフトウェア	:xxxxxxxx

*1：お使いのスキャナーの各消耗品の情報が表示されます。

例 :「スキャナー情報を定期的に送信する」場合

件名
Message from Scanner Central Admin Agent

本文
このメールは Scanner Central Admin Agent [PC-001] からのスキャナー情報通知です。

XXXXXXXXXXXXXXXXXXX.

情報収集日時	: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
通知元	: PC-001
IP アドレス	: xxx.xxx.xxx.xxx
機種名	: fi-xxxxx
シリアル番号	: 000660(B1)
オペレーティングシステム	: Windows 10 X.X.XXXX XXXXX XXXX
MAC アドレス	: xx:xx:xx:xx:xx:xx
使用開始日	: YYYY/MM/DD hh:mm:ss
接続インターフェース	: USB2.0
ADF 総読み取り枚数（枚）	: xxx
ピックローラユニット（枚）	: xxx / xxx
ピックローラユニット状態	: 交換時期を超えた
ブレーキローラ（枚）	: xxx / xxx
ブレーキローラ状態	: 正常
稼働状態	: ログイン
エラー有無	: なし
TWAIN ドライバ	: XXXXXXXX
Scanner Central Admin Agent	: X.XX.XXXX.XX
ファームウェア	: XXXX

4.6 スキャナーの保守

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に送信されるメールの内容に応じて、スキャナーへの対処を行います。

消耗品の交換が必要になった場合

メールの内容から交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。
消耗品の交換については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

エラーが発生した場合

メールの内容からエラーの詳細を確認して、対処します。
エラーの対処については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

第 5 章　統合管理システムと連携した運用

イメージスキャナー　ネットワークスキャナー

この章では、統合管理システムと連携した運用について説明します。

5.1 作業の流れ.....126
5.2 事前設定（統合管理システム）.....127
5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）.....129
5.4 事前設定（ネットワークスキャナー）.....131
5.5 SNMP トラップの確認.....132
5.6 スキャナーの保守.....134

5.1 作業の流れ

作業の流れについて説明します。

事前設定（統合管理システム）
- 統合管理システム（SNMP マネージャー）の設定
- 統合管理システム（SNMP マネージャー）の確認
- 統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するための設定

詳細は、「5.2 事前設定（統合管理システム）」（P.127）を参照してください。

↓

事前設定（Scanner Central Admin Agent）
- Scanner Central Admin Agent のインストール
- Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定

イメージスキャナーの場合に必要な設定です。
詳細は、「5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）」（P.129）を参照してください。

↓

事前設定（ネットワークスキャナー）
- ネットワークスキャナーの SNMP 連携の設定

ネットワークスキャナーの場合に必要な設定です。
詳細は、「5.4 事前設定（ネットワークスキャナー）」（P.131）を参照してください。

↓

SNMP トラップの確認

詳細は、「5.5 SNMP トラップの確認」（P.132）を参照してください。

↓

スキャナーの保守

詳細は、「5.6 スキャナーの保守」（P.134）を参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

5.2 事前設定（統合管理システム）

統合管理システムの事前設定について説明します。

統合管理システム（SNMP マネージャー）の設定

SNMP トラップを受け取る SNMP マネージャーを有効にします。
SNMP トラップで使用するポート番号は「UDP/162」のため、統合管理システム側のネットワークで SNMP トラップを受信できるように設定してください。
詳細は、統合管理システムのマニュアルを参照してください。

統合管理システム（SNMP マネージャー）の確認

SNMP マネージャーが動作する統合管理システムのアドレス、コミュニティー名を確認します。
詳細は、統合管理システムのマニュアルを参照してください。

統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するための設定

統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動して、スキャナーの消耗品交換やエラー、スキャナー情報を確認できるようにします。
統合管理システムから Scanner Central Admin Console を起動するには、ScannerCentralAdminConsole.exe コマンドを統合管理システムに登録します。
詳細は、統合管理システムのマニュアルを参照してください。
登録するコマンドの実行形式は、次のとおりです。

- コマンド格納先

Scanner Central Admin Console のインストールフォルダー ¥AmConsole¥Console 配下

- コマンド実行形式

ScannerCentralAdminConsole.exe -h { *ホスト名または IP アドレス* } -p { *ポート番号* } [-https] -i { *スキャナーの IP アドレス* }

斜体は可変文字列です。

-h には、接続先の Scanner Central Admin Server のホスト名または IP アドレスを指定します。省略できません。

-p には、接続先の Scanner Central Admin Server に接続するときのポート番号を指定します。省略できません。

-https は、接続先の Scanner Central Admin Server の接続プロトコルが HTTPS の場合にだけ指定します。省略できます。

-i には、スキャナー詳細情報画面を表示したいスキャナーの IP アドレスを指定します。省略できません。

ヒント

次のように指定して、ScannerCentralAdminConsole.exe を実行する場合の例を示します。

IP アドレス：192.168.1.1
ポート番号：10444
スキャナーの IP アドレス：192.168.1.100

```
ScannerCentralAdminConsole.exe -h 192.168.1.1 -p 10444
 -i 192.168.1.100
```

統合管理システムに登録した Scanner Central Admin Console を実行すると、接続先の Scanner Central Admin Server のログイン画面が表示されます。
Scanner Central Admin Server にログインしたあとは、表示したいスキャナーの状態に応じた画面が表示されます。

- スキャナーでエラーが発生している場合
  「イベント一覧」画面が表示されます。
- スキャナーでエラーが発生していない場合
  「スキャナー詳細情報」画面が表示されます。

ヒント

- Scanner Central Admin Console を統合管理システムに登録するときに指定した Scanner Central Admin Server に接続できない場合は、接続先入力画面が表示されます。
  指定した Scanner Central Admin Server 情報に誤りがないかご確認ください。
- 統合管理システムに Scanner Central Admin Console を登録するときに指定した IP アドレスを持つスキャナーが、Scanner Central Admin Server に登録されていない場合は、「Scanner Central Admin Server 動作環境設定」画面で指定した初期画面が表示されます。指定した IP アドレスに誤りがないかご確認ください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

5.3 事前設定（Scanner Central Admin Agent）

Scanner Central Admin Agent の事前設定について説明します。

Scanner Central Admin Agent のインストール

Scanner Central Admin Agent は、スキャナーを接続しているコンピューターにインストールします。
Scanner Central Admin Agent のインストール方法については、「2.4 Scanner Central Admin Agent のインストール」（P.37）を参照してください。

Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定

Scanner Central Admin Agent の SNMP トラップ通知の設定をします。
スキャナーの消耗品交換やエラーを、統合管理システムに SNMP トラップで通知できるようになります。

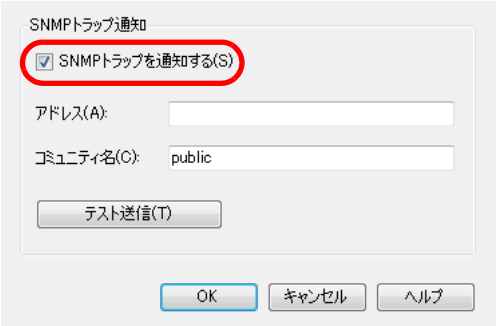
1 「スタート」メニュー →「すべてのプログラム」→「Scanner Central Admin Agent」→「Scanner Central Admin Agent の設定」を選択します。
⇨「Scanner Central Admin Agent」画面が表示されます。

2 「SNMP トラップ通知」の［設定］ボタンを押します。

⇨「SNMP トラップ通知の設定」画面が表示されます。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 「SNMP トラップを通知する」チェックボックスをチェックします。



4 アドレス、コミュニティー名を設定します。

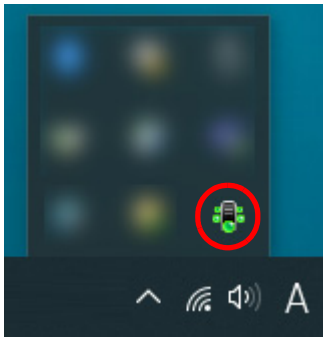
アドレス、コミュニティー名は、「統合管理システム（SNMP マネージャー）の確認」（P.127）で確認した値を設定します。
各設定項目の詳細は、Scanner Central Admin Agent のヘルプを参照してください。

5 ［テスト送信］ボタンを押します。

正しく SNMP トラップが通知されるかを確認します。
SNMP トラップの形式については、「5.5 SNMP トラップの確認」（P.132）を参照してください。

6 ［OK］ボタンを押します。

⇨ 設定を有効にして、「Scanner Central Admin Agent」画面に戻ります。
画面右下の通知領域に Scanner Central Admin Agent アイコンが表示されます。



TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

5.4 事前設定（ネットワークスキャナー）

ネットワークスキャナーの事前設定について説明します。

ネットワークスキャナーの SNMP 連携の設定

ネットワークスキャナーの SNMP 連携の設定をします。
詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

5.5 SNMP トラップの確認

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に通知される SNMP トラップを確認します。
Scanner Central Admin では、トラップのバージョンは SNMPv1、コミュニティー名は初期値として public（設定により変更可能）、Generic Trap Type は enterpriseSpecific(6)、Specific Trap Type は 0 のトラップとして通知します。
SNMP トラップの OID は、次のとおりです。

1.3.6.1.4.1.18886.1.2.1

SNMP トラップの形式は、次のとおりです。

発生日時 , 発生元 ,IP アドレス , 機種名 , シリアル番号 , イベント種別 , メッセージコード , メッセージ

発生日時	: メッセージ通知日時（形式 : MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM または PM）
発生元	: メッセージ通知したコンピューター名
IP アドレス	: メッセージ通知したコンピューターの IP アドレス
機種名	: メッセージ通知が発生したスキャナーの機種名
シリアル番号	: メッセージ通知が発生したスキャナーのシリアル番号
イベント種別	: メッセージのタイプ（*1）
メッセージコード	: メッセージのコード（*2）（*3）
メッセージ	: メッセージの内容（*2）（*4）

*1 : イベント種別は、次のとおりです。

Information	: 情報の場合
Error	: エラーの場合
Warning	: 警告の場合
Test	: テスト送信の場合

*2 : メッセージコード、メッセージの詳細は、「付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード」（P.181）を参照してください。
なお、メッセージは英語で表示されるため、メッセージの内容を確認して、対処してください。

*3 : テスト送信の場合は、「0F090000」となります。

*4 : テスト送信の場合は、「This is a test message from Scanner Central Admin Agent.」となります。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

例：イベント種別が情報の場合

```
MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Information,0F080001,Scanner was changed.
```

例：イベント種別がエラーの場合

```
MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Error,8F060001,Scanner Parts replacement notification was detected.
[048005, 00:Background changeover unit failure]
```

例：イベント種別が警告の場合

```
MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Warning,6F070002,Scanner consumable needs to be replaced soon.
Consumable Parts:Brake Roller
```

例：イベント種別がテスト送信の場合

```
MM/DD/YYYY hh:mm:ss AM,PC-001,xxx.xxx.xxx.xxx,fi-xxxxx,000660(B1),Test,0F090000,This is a test message from Scanner Central Admin Agent.
```

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

5.6 スキャナーの保守

消耗品の交換が必要になった場合や、エラーが発生した場合に送信される SNMP トラップの内容に応じて、スキャナーへの対処を行います。

消耗品の交換が必要になった場合

SNMP トラップの内容から交換時期が近づいてきている消耗品を確認して、該当の消耗品を交換します。
消耗品の交換については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

エラーが発生した場合

SNMP トラップの内容からエラーの詳細を確認して、対処します。
エラーの対処については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

第 6 章　Scanner Central Admin の保守

この章では、Scanner Central Admin の保守について説明します。

6.1 Scanner Central Admin Server の保守 136
6.2 Scanner Central Admin Agent の保守 139
6.3 SCAModuleCreator の保守情報の採取 141
6.4 イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの保守 142

6.1 Scanner Central Admin Server の保守

Scanner Central Admin Server の保守について説明します。
管理者が設定した Scanner Central Admin Server に関する情報を退避、復元したり、保守情報として採取できます。

重要
監査ログは Scanner Central Admin Server に関する情報に含まれないため、退避および復元はされません。

Scanner Central Admin Server に関する情報の退避

Scanner Central Admin Server が管理しているデータ（監査ログを除く）をすべて退避します。
退避ファイルを使って Scanner Central Admin Server に関する情報を復元できます。万一に備え、定期的に退避を行ってください。
Scanner Central Admin Server に関する情報の退避は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピューターのコマンドプロンプトで「AmBackup.exe」を実行して行います。
なお、情報の退避中は、Scanner Central Admin Server の機能は一時的に停止し、Scanner Central Admin Console からの接続や、共有ユーザー情報のアップロード・ダウンロード、スキャナーへの更新適用ができなくなります。また、「スキャナー稼働状況」画面のスキャナーの稼働状況はすべて「不明」になります。

- コマンド格納先

Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー ¥AmManager¥Bin フォルダー配下

- コマンド実行形式

AmBackup.exe *バックアップフォルダー名*

斜体は可変文字列です。

- 復帰値
  - 0
    正常終了
  - 0 以外
    異常終了

重要
- バックアップフォルダー配下には、ファイルおよびサブフォルダーを含まない空のフォルダーを指定してください。指定したバックアップフォルダーが存在しない場合、作成されます。
- バックアップフォルダー配下は変更しないでください。変更した場合、正しく復元できなくなります。
- Scanner Central Admin Server に関する情報の退避ファイルは、内容を変更しないでください。退避ファイルの内容を変更して復元した場合は、Scanner Central Admin Server に関する処理が正常に動作しなくなる可能性があります。
- Scanner Central Admin Server をアンインストールすると、インストールフォルダー配下のファイルはすべて削除されます。アンインストールする前にバックアップフォルダー配下をインストールフォルダー配下以外の場所に退避してください。

ヒント
保存先のディスクに十分な空き容量があることを確認してから「AmBackup.exe」コマンドを実行してください。十分な空き容量がない場合は、不完全なファイルが保存される場合があります。
必要となる空き容量の目安は、インストールフォルダーの Data フォルダー配下の容量の 2 倍です。

Scanner Central Admin Server に関する情報の復元

退避した Scanner Central Admin Server に関する情報を Scanner Central Admin Server に戻して、Scanner Central Admin Server に関する情報を復元します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の復元は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピューターのコマンドプロンプトで「AmRestore.exe」を実行して行います。

- コマンド格納先

  Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー ¥AmManager¥Bin フォルダー配下

- コマンド実行形式

  AmRestore.exe *バックアップフォルダー名*

  斜体は可変文字列です。

- 復帰値
  - 0

    正常終了
  - 0 以外

    異常終了

重要

- 「AmRestore.exe」コマンドは、必ず Scanner Central Admin Server のインストールフォルダーの Bin フォルダーをカレントディレクトリーにして実行してください。
- 退避元の Scanner Central Admin Server と復元先の Scanner Central Admin Server の言語環境は同じにしてください。Scanner Central Admin Server に関する情報を退避元と異なる言語環境に復元した場合、Scanner Central Admin Server は正しく動作しません。

ヒント

- 「AmBackup.exe」コマンド、「AmRestore.exe」コマンドでは、管理者パスワードは退避・復元の対象ではありません。
  「AmRestore.exe」コマンドを実行しても管理者パスワードはコマンド実行前と変わりません。
- スキャナーや Scanner Central Admin Console との通信に HTTPS を使用する場合、復元先の Scanner Central Admin Server でも HTTPS 通信のための設定が別途必要となる場合があります。設定方法については、「証明書のインポート（HTTPS の場合）」（P.45）を参照してください。

Scanner Central Admin Server の保守情報の採取

Scanner Central Admin Server の導入や運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、Scanner Central Admin Server が保持している保守情報を採取できます。
保守情報の採取は、Scanner Central Admin Server をインストールしたコンピューターのコマンドプロンプトで「AmInvestigate.exe」を実行して行います。
なお、保守情報の採取中は、Scanner Central Admin Server の機能は一時的に停止します。サポートで保守情報の採取を指示されたり、トラブルが発生したとき以外は、保守情報を採取しないでください。

- コマンド格納先

  Scanner Central Admin Server のインストールフォルダー ¥AmManager¥Bin フォルダー配下

- コマンド実行形式

  AmInvestigate.exe -d *出力先フォルダー名* [-p *暗号化パスワード*] [-v]

  斜体は可変文字列です。

  -v は処理の状態を表示する場合に指定します。

- 復帰値
  - 0

    正常終了
  - 0 以外

    異常終了

保守情報は、情報の種別ごとに分けて指定した出力先フォルダーに出力されます。暗号化パスワードを指定すると、保守情報は暗号化されます。

6.2 Scanner Central Admin Agent の保守 イメージスキャナー

Scanner Central Admin Agent の保守について説明します。
Scanner Central Admin Agent をアップデートしたり、Scanner Central Admin Agent の保守情報を採取したりできます。

Scanner Central Admin Agent のアップデート

Scanner Central Admin Agent のアップデートモジュールを、Scanner Central Admin Server に登録することで、スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent を一括でアップデートできます。
また、事前に移出しておいた Scanner Central Admin Agent 設定情報を、アップデートモジュールとして Scanner Central Admin Server に登録することで、スキャナーを接続しているコンピューターの Scanner Central Admin Agent の設定を一括で行います。
詳細は、「3.10 イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）のアップデート」（P.59）を参照してください。

Scanner Central Admin Agent の保守情報の採取

Scanner Central Admin Agent の導入や運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、Scanner Central Admin Agent が保持している保守情報を採取できます。
保守情報の採取は、「fiInfoCollect.exe」または「CollectAgentInfo.exe」で採取します。

- 「fiInfoCollect.exe」で採取する場合
  「fiInfoCollect.exe」コマンドを実行します。画面に表示される手順に従って保守情報を採取します。
  - コマンド格納先
    - 32 ビットオペレーティングシステムの場合

      %ProgramFiles%¥fiScanner¥fiInfoCollect¥fiInfoCollect.exe

    - 64 ビットオペレーティングシステムの場合

      %ProgramFiles(x86)%¥fiScanner¥fiInfoCollect¥fiInfoCollect.exe

- 「CollectAgentInfo.exe」で採取する場合
  Scanner Central Admin Agent をインストールしたコンピューターで「CollectAgentInfo.exe」を実行します。
  コマンドを実行すると、Windows のデスクトップに Scanner Central Admin Agent の保守情報として「AgentInfo.cab」が出力されます。
  - コマンド格納先

    Scanner Central Admin Agent のインストールフォルダー配下

  - コマンド

    CollectAgentInfo.exe

重要

- コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。
- 「fiInfoCollect.exe」はドライバーと同時にインストールされます。「fiInfoCollect.exe」がコンピューターにインストールされていない場合は、「CollectAgentInfo.exe」で保守情報を採取してください。

6.3 SCAModuleCreator の保守情報の採取

イメージスキャナー　イメージスキャナー（NX Manager運用時）

SCAModuleCreator の保守について説明します。
SCAModuleCreator の運用中になんらかのトラブルが発生したときに、原因を究明するために、SCAModuleCreator が保持している保守情報を採取できます。
保守情報の採取は、Scanner Central Admin Console をインストールしたコンピューターで「SCAModuleCreatorCollectLog.exe」を実行して行います。
コマンドを実行すると、Windows のデスクトップに SCAModuleCreator の保守情報として「SCAModuleCreatorInfo_ 取得した月日時分秒 .cab」が出力されます。

- コマンド格納先

Scanner Central Admin Console のインストールフォルダー ¥AmConsole¥Console 配下

- コマンド

SCAModuleCreatorCollectLog.exe

重要
コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

6.4 イメージスキャナー（NX Manager 運用時）/ ネットワークスキャナーの保守

イメージスキャナー（NX Manager運用時） ネットワークスキャナー

イメージスキャナー（NX Manager 運用時）およびネットワークスキャナーの保守については、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

付録

ここでは、次の情報について説明します。

付 .1 メッセージ一覧 144
付 .2 外部入出力ファイルの形式 150
付 .3 Scanner Central Admin Server の移行手順 168
付 .4 退避・復元 170
付 .5 スキャナー別機能比較 172
付 .6 Scanner Central Admin のバージョンアップ手順 174
付 .7 アプリケーションのアンインストール 175
付 .8 任意のファイルのアップデート手順 177
付 .9 Scanner Central Admin のアプリケーション構成 179
付 .10 Scanner Central Admin Server の接続可否 180
付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード 181

付 .1 メッセージ一覧

集中管理するための操作を行っているときに表示されるメッセージの一覧を示します。

Windows Server のイベントログのメッセージ（Scanner Central Admin Server）

Windows Server のイベント一覧に表示されます。

- ログの種類　：アプリケーション
- イベントソース　：Scanner Central Admin

コード	メッセージ	対処
11700	Scanner Shared Folder サービスを起動しました。	対処の必要はありません。
11701	Scanner Shared Folder サービスを停止しました。	
13700	Scanner Shared Folder サービスの起動に失敗しました。 エラー詳細	エラー詳細およびほかのイベントログを確認してください。
13701	Scanner Shared Folder サービスの処理中に異常が発生しました。 エラー詳細	イベントログのレベルが「情報」の場合は、対処の必要はありません。 イベントログのレベルが「エラー」の場合は、エラー詳細およびほかのイベントログを確認してください。

Windows Server のイベント一覧に表示されます。

- ログの種類　：アプリケーション
- イベントソース　：Central Admin Server

コード	メッセージ	対処
11001	Scanner Central Admin Server が起動しました。	対処の必要はありません。
11002	Scanner Central Admin Server が停止しました。	
11901	サービスが正常に開始しました。	
11902	サービスが正常に停止しました。	
12001	設定値が不正なので、デフォルト値を使用します。 設定 : *XXXX* 不正値 : *XXXX* デフォルト値 : *XXXX*	
12002	制限値を超えてスキャナー登録をしようとしました。	不要なスキャナー構成情報を削除してください。
12003	ユーザー情報が制限値を超えました。	不要なユーザー情報を削除してください。
12902	スケジュールの通知に失敗しました。リトライを行います。(*XXXX*)	対処の必要はありません。

コード	メッセージ	対処
13001	エラーが発生しました。種別 : エラー種別 詳細 : エラー詳細	エラー詳細およびほかのイベントログを確認してください。
13002	実行環境が不正なため処理を続行できません。詳細 : エラー詳細	
13003	データベースアクセスに失敗しました。詳細 : エラー詳細	データベースの稼働状況を確認してください。
13004	スケジュール登録に失敗しました。詳細 : エラー詳細	サービス「Scanner Central Admin Server」を再起動してください。
13005	管理コンソールとの接続方法の変更に失敗しました。詳細 : エラー詳細	
13901	スケジューラーの起動に失敗しました。(*XXXX*)	
13902	スケジュールの通知に失敗しました。(*XXXX*)	IIS マネージャーで Web サイトの稼働状況を確認してください。Scanner Central Admin Server のオペレーティングシステムが Windows Server の場合は、Web サイト「AmService」とアプリケーションプール「AmService」の稼働状況を確認してください。
13903	スケジュール *XXXX* は、有効期限が切れたので削除しました。[*XXXX*] 件	配付予定日時から 7 日以上経過したスケジュールが削除されました。スキャナーへの更新適用状況を確認し、必要に応じて「更新待ち」状態のスキャナーに対して配付通知を行ってください。

コード	メッセージ	対処
13904	内部エラーが発生しました。(*XXXX*)	サービス「Scanner Central Admin Server」を再起動してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

退避・復元コマンドのメッセージ（Scanner Central Admin Server）

退避・復元コマンドのメッセージには次の 2 種類があります。

- 情報
- エラー

退避・復元コマンドのメッセージはコマンドプロンプトに表示されます。

■情報

コード	メッセージ	対処
0A040001	バックアップを開始します。	対処の必要はありません。
0A040002	バックアップを終了します。	
0A040003	リストアを開始します。	
0A040004	リストアを終了します。	

■エラー

コード	メッセージ	対処
7A040010	Scanner Central Admin Server がインストールされていません。	Scanner Central Admin Server がインストールされていません。 Scanner Central Admin Server が正しくインストールされているコンピューターで実行してください。
7A040011	バックアップフォルダが指定されていません。	退避コマンドおよび復元コマンドのパラメーターにバックアップフォルダー名が指定されていません。 バックアップフォルダー名を指定して、再度実行してください。
7A040012	バックアップフォルダが存在しません。	退避コマンドで指定したバックアップフォルダー名を指定して、再度実行してください。 または、指定したバックアップフォルダーの読み込み権限を確認してください。
7A040013	バックアップフォルダの内容が正しくありません。	復元コマンドのパラメーターに指定したバックアップフォルダーの内容が、Scanner Central Admin Server のバックアップフォルダーではないか、またはバックアップフォルダー内の構成が正しくありません。Scanner Central Admin Server のバックアップフォルダーを指定して、再度実行してください。
7A040014	すでにバックアップファイルが存在します。	バックアップフォルダーにファイルまたはフォルダーが存在しています。 空のフォルダーを指定してください。 存在しないフォルダーが指定された場合は、フォルダーが作成されます。
7A040015	バックアップフォルダの指定が正しくありません。	次の場合、このエラーメッセージが出力されますので、確認後再度コマンドを実行してください。 ● 退避コマンドのパラメーターに指定したバックアップフォルダーに書き込み権限がない場合 ● 指定したバックアップフォルダーがファイルとしてすでに存在している場合 ● バックアップフォルダーのフルパスが 128B を超えた場合

コード	メッセージ	対処
7A040016	サーバが動作中です。しばらくしてからやり直してください。	Scanner Central Admin Server で配付通知を開始してから配付通知を完了するまでの間に、退避・復元コマンドを実行した場合に、このメッセージが出力されます。配付通知完了後に再度コマンドを実行してください。
7A040017	バックアップに失敗しました。	補助コード「7A041012」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コード「7A041015」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、Scanner Central Admin Server で使用しているデータベースファイルを、Scanner Central Admin Server 以外の機能で参照している可能性があります。参照するのを中止し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 ・・・ 異常内容の詳細 ・・・ .NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加された本メッセージが頻繁に出力するようであれば、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

コード	メッセージ	対処
7A040018	リストアに失敗しました。	補助コード「7A041013」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、ディスクに空き容量がない可能性があります。ディスクの空き容量を確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コード「7A041008」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、復元先のフォルダーに使用中のファイルがある可能性があります。使用中ではないかどうかを確認し、再度コマンドを実行してください。 補助コード「7A041015」が付加されてこのメッセージが出力された場合は、Scanner Central Admin Server で使用しているデータベースファイルを、Scanner Central Admin Server 以外の機能で参照している可能性があります。参照するのを中止し、再度コマンドを実行してください。 補助コードなしでこのメッセージが出力される場合は、次のような形式で異常内容が表示されます。 ・・・ 異常内容の詳細 ・・・ .NET Framework の言語パックがインストールされていない場合は、異常内容の詳細は英語で表示されます。 上記以外の補助コードが付加された本メッセージが頻繁に出力するようであれば、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

コード	メッセージ	対処
7A040019	バックアップまたはリストアが既に動作中です。	動作中のバックアップまたはリストアが完了後に、再実行してください。
7A040020	ポート番号 (*XXXX*) が既に使用されています。	ポート番号 (*XXXX*) は、すでにほかのアプリケーションで使用されています。 *XXXX* を使用しているアプリケーションの設定を変更し、再度リストアを実行してください。
7A040021	バックアップフォルダが空ではありません。	バックアップフォルダーにファイルまたはフォルダーが存在しています。 空のフォルダーを指定してください。 存在しないフォルダーが指定された場合は、フォルダーが作成されます。
7A040023	バックアップファイルのバージョンがリストア対象外です。	旧バージョンの Scanner Central Admin Server の AmBackup.exe コマンドで退避したバックアップデータは、新バージョンの Scanner Central Admin Server の AmRestore.exe コマンドで復元できません。 お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照して、再度退避を実行してください。

監査ログの取り出しコマンドのメッセージ（Scanner Central Admin Server）

ネットワークスキャナー

コード	メッセージ	対処
7A050010	Scanner Central Admin Server がインストールされていません。 詳細エラーメッセージ： *XXXXXXXXXX*	Scanner Central Admin Server が正しくインストールされているか確認してください。 また、コンピューターの管理者権限で実行しているか確認してください。
7A050012	監査ログの取り出しに失敗しました。 詳細エラーコード： *XXXXXXXXXX* 詳細エラーメッセージ： *XXXXXXXXXX*	詳細エラーメッセージの内容も参照して、次のどれかの対処をしてください。 ● 取り出し先フォルダーのディスク空き容量を確認してください。 ● 取り出し先フォルダーの指定に誤りがないか確認してください。 ● 取り出し先フォルダー、取り出し元フォルダー、ファイルに書き込み権限があることを確認してください。 ● 取り出し先に、書き込み権限がない同名のファイルが存在していないか確認してください。 ● 取り出しに失敗したファイルがほかのアプリケーションで使用されていないか確認してください。

コード	メッセージ	対処
7A050014	コマンドはすでに動作中です。	動作中のコマンドが完了後に、再実行してください。
7A050015	内部異常が発生しました。 詳細エラーメッセージ： *XXXXXXXXXX*	予期せぬエラーが発生しました。 本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
7A050016	指定したフォルダパス長が最大長を超えました。	コマンドラインで指定したコピー先フォルダーのパスの長さが 180B を超えています。パスの長が 180B を超えないように、コピー先フォルダーのパスを指定してください。

Scanner Central Admin Console 画面のメッセージ（Scanner Central Admin Console）

機能名	メッセージ	対処
接続画面	正しいポート番号が入力されているか確認してください。	正しいポート番号を入力してください。
	正しい接続先が入力されているか確認してください。	正しい接続先を入力してください。
	通信エラーが発生しました。	接続先、ポート番号を正しく入力し、再度実行してください。
Scanner Central Admin Console	Admin Tool の起動に失敗しました。Admin Tool がインストールされているか確認してください。	Admin Tool が正しくインストールされているか確認してください。 詳細は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
Scanner Central Admin Message	画面の表示に失敗しました。Scanner Central Admin Console を再起動してください。	Scanner Central Admin Console を再起動してください。

付 .2 外部入出力ファイルの形式

次の外部入出力ファイルの形式について説明します。

- スキャナー構成情報ファイル
- イベントログファイル
- 統計情報ファイル

スキャナー構成情報ファイルの形式

スキャナー構成情報ファイルの形式について、次の場合に分けて説明します。

- エクスポートする場合
- インポートする場合

■スキャナー構成情報ファイルの形式（エクスポートする場合）

エクスポートする場合のスキャナー構成情報ファイルの形式について説明します。

- ファイル名の初期値は「scannerinfo.csv」です。
- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従います。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- ファイルのエクスポート時に、ファイルの 1 行目には、タイトル行が出力されます。
- CSV 形式です。
  各項目の内容は、次のとおりです。なお、旧バージョンと項目の順番は異なります。

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
管理 ID	10 文字または 26 文字の文字列	○	○	○
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX（X は英数字）	○	○	○
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の値）	○	○	○
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の値）	○	○	○
名前	-	○	○	○
ポート番号	1 ～ 65535 までの数字	-	○	○
HTTPS 使用有無	0：HTTPS 使用しない 1：HTTPS 使用する	-	○	○
機種名	-	○	○	○
アップデートグループ	任意の文字列	○	○	○
Add-in グループ	任意の文字列	-	-	○
設定グループ	任意の文字列	-	-	○
説明	任意の文字列	○	○	○
スキャナー種別	0：ネットワークスキャナー 1：イメージスキャナー	○	○	○
実機種名	-	○	○	-

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
ユーザー管理項目（*1）	-	○	○	○
OS 名	-	○	-	-
フラットベッドスキャナー機種名（*2）（*3）	-	-	-	○（*4）
シリアル番号（*2）	-	○	○	○
フラットベッドスキャナーシリアル番号（*2）（*3）	-	-	-	○（*4）
装置接続インタフェース（*2）	数字	○	○	-
スキャナー情報通知日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	○
使用開始日（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	○
フラットベッドスキャナー使用開始日（*2）（*3）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	-	○
累積稼働時間（*2）	数字	-	-	○
最終編集日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	○
監査ログ最終取得日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	-	○
登録有無（*2）	0：未登録 1：登録済み	○	○	○
稼働状態（*2）	0：不明、未登録 1：停止 3：ログアウト 4：ログイン	○	○	○
エラー有無（*2）	0：なし 1：あり	○	○	○

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	○	○
ADF 総読み取り枚数（*2）	数字	○	○	○
フラットベッドスキャナー総読み取り枚数（*2）（*3）	数字	○	○	○
リターンスキャン総読み取り枚数	数字	○	-	-
パッドユニット（*2）	数字	○	-	○（*5）
パッドユニット状態（*2）	0：許容内 1：交換時期間近 2：交換時期を超えた	○	-	○（*5）
パッドユニット閾値（*2）	数字	○	-	○（*5）
パッドユニット：前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
ピックローラユニット（*2）	数字	○	○	○
ピックローラユニット状態（*2）	0：許容内 1：交換時期間近 2：交換時期を超えた	○	○	○
ピックローラユニット閾値（*2）	数字	○	○	○
ピックローラユニット：前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	-
ブレーキローラ（*2）	数字	○	○	○（*5）

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
ブレーキローラ状態（*2）	0：許容内 1：交換時期間近 2：交換時期を超えた	○	○	○（*5）
ブレーキローラ閾値（*2）	数字	○	○	○（*5）
ブレーキローラ：前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	-
セパレーターローラ（*2）	数字	○	-	-
セパレーターローラ状態（*2）	0：許容内 1：交換時期間近 2：交換時期を超えた	○	-	-
セパレーターローラ閾値（*2）	数字	○	-	-
セパレーターローラ：前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
プリントカートリッジ残量（*2）	数字	○	○	-
プリントカートリッジ状態（*2）	0：許容内 1：交換時期間近 2：交換時期を超えた	○	○	-
プリントカートリッジ前回カウンタークリア日時	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	-
清掃後の読み取り枚数	数字	○	○	-
清掃後の読み取り枚数状態	0：不要 1：必要	○	○	-
清掃後の読み取り枚数閾値	数字	○	○	-
フィードローラ清掃	0：不要 1：必要	○	○	-

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
アシストローラ清掃	0：不要 1：必要	○	-	-
ガラス清掃	0：不要 1：必要	○	○	-
原稿詰まり、マルチフィード：一日の発生回数	数字	○	○	○（*5）
原稿詰まり、マルチフィード：一日の発生回数状態	0：許容内 1：しきい値を超えた	○	○	○（*5）
原稿詰まり、マルチフィード：一日の発生回数閾値	数字	○	○	○（*5）
原稿詰まり、マルチフィード：読み取り枚数内の発生回数	数字	○	○	○（*5）
原稿詰まり、マルチフィード：読み取り枚数内の発生回数状態	0：許容内 1：しきい値を超えた	○	○	○（*5）
原稿詰まり、マルチフィード：読み取り枚数内の発生回数閾値	数字	○	○	○（*5）
フラットベッドスキャナーファーム版数（*2）（*3）	-	-	-	○
システム版数（*2）	-	-	-	○
セキュリティアップデート版数（*2）	Syy-nn	-	-	○
オプション機能（*2）	カンマ区切り	-	-	○
システムアップデート適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	-	○

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
システムアップデート適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	-	-	○
Add-in 版数（*2）	-	-	-	○
Add-in インストール適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	-	○
Add-in 設定情報適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	-	○
Add-in 適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	-	-	○
システム環境設定（*2）	-	-	-	○
システム環境設定適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	-	○
システム環境設定適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	-	-	○
TWAIN ドライバ：版数（*2）	-	○	-	-
TWAIN ドライバ：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
TWAIN ドライバ：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
ISIS ドライバ：版数（*2）	-	○	-	-
ISIS ドライバ：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
ISIS ドライバ：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Software VRS：版数（*2）	-	○	-	-
Software VRS：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Software VRS：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Hardware VRS：版数（*2）	-	○	-	-
Hardware VRS：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Hardware VRS：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Scanner Control Runtime：版数（*2）	-	○	-	-
Scanner Control Runtime：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
Scanner Control Runtime：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
ScandAll PRO：版数（*2）	-	○	-	-
ScandAll PRO：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
ScandAll PRO：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Scan to Microsoft SharePoint：版数（*2）	-	○	-	-
Scan to Microsoft SharePoint：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Scan to Microsoft SharePoint：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Error Recovery Guide：版数（*2）	-	○	-	-
Error Recovery Guide：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Error Recovery Guide：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
マニュアル：版数（*2）	-	○	-	-
マニュアル：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
マニュアル：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Scanner Central Admin Agent：版数（*2）	-	○	-	-
Scanner Central Admin Agent：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Scanner Central Admin Agent：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
ファームウェア：版数（*2）	-	○	○	○
ファームウェア：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	-
ファームウェア：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	○	-
ファームウェア（インプリンタ）：版数（*2）	-	○	○	-
ファームウェア（インプリンタ）：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	○	-

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
ファームウェア（インプリンタ）：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	○	-
ユーザーアプリケーション：版数（*2）	-	○	-	-
ユーザーアプリケーション：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
ユーザーアプリケーション：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
Software Operation Panel 設定情報：版数（*2）	-	○	-	-
Software Operation Panel 設定情報：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Software Operation Panel 設定情報：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
ScandAll PRO 設定情報：版数（*2）	-	○	-	-
ScandAll PRO 設定情報：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
ScandAll PRO 設定情報：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
Scanner Central Admin Agent 設定情報：版数（*2）	-	○	-	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
Scanner Central Admin Agent 設定情報：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
PaperStream IP（TWAIN）：版数（*2）	-	○	-	-
PaperStream IP（TWAIN）：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
PaperStream IP（TWAIN）：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
PaperStream IP（ISIS）：版数（*2）	-	○	-	-
PaperStream IP（ISIS）：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
PaperStream IP（ISIS）：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
ScanSnap Manager for fi Series：版数（*2）	-	○	-	-
ScanSnap Manager for fi Series：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
ScanSnap Manager for fi Series：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
PaperStream Capture：版数（*2）	-	○	-	-
PaperStream Capture：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
PaperStream Capture：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
2D Barcode for PaperStream：版数（*2）	-	○	-	-
2D Barcode for PaperStream：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
2D Barcode for PaperStream：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
PaperStream IP（TWAIN）設定情報：版数（*2）	-	○	-	-
PaperStream IP（TWAIN）設定情報：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
PaperStream IP（TWAIN）設定情報：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
PaperStream IP（ISIS）設定情報：版数（*2）	-	○	-	-
PaperStream IP（ISIS）設定情報：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
PaperStream IP（ISIS）設定情報：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
PaperStream Capture 設定情報：版数（*2）	-	○	-	-
PaperStream Capture 設定情報：適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	○	-	-
PaperStream Capture 設定情報：適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	○	-	-
スキャナー設定情報版数（*2）	-	-	○	-
スキャナー設定情報適用日時（*2）	YYYYMMDD hh:mm:ss	-	○	-

項目名	値の形式	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー
スキャナー設定情報適用状態（*2）	0：更新なし 1：更新済み 2：更新待ち 3：エラー 4：未登録	-	○	-

「イメージスキャナー」の列の記号の意味は、次のとおりです。

○：イメージスキャナーの情報です。

-　：イメージスキャナーでは対象外の情報です。

「イメージスキャナー（NX Manager 運用時）」の列の記号の意味は、次のとおりです。

○：イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の情報です。

-　：イメージスキャナー（NX Manager 運用時）では対象外の情報です。

「ネットワークスキャナー」の列の記号の意味は、次のとおりです。

○：ネットワークスキャナーの情報です。

-　：ネットワークスキャナーでは対象外の情報です。

*1：「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の「ユーザー管理項目の編集」で、「ユーザー管理項目」として追加した項目が、最大 10 件まで出力されます。

*2：「スキャナー情報をすべて出力する。」チェックボックスをチェックした場合に出力されます。

*3：ネットワークスキャナーではフラットベッドオプションが有効な場合に出力されます。

*4：機種によっては通知されない場合があります。

*5：N7100 または N7100E の場合に通知されます。

■スキャナー構成情報ファイルの形式（インポートする場合）

インポートする場合のスキャナー構成情報ファイルの形式について説明します。

- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従ってください。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- ユーザー管理項目を追加する場合、1 行目のタイトル行には、ほかと重複しない項目名を「実機種名」のあとに追加してください。
  ユーザー管理項目は、最大 10 件まで追加できます。
- CSV 形式で記述してください。
  各項目の内容は、次のとおりです。

項目名	値の形式	備考
管理 ID	10 文字または 26 文字の文字列	省略可
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX（X は英数字）	
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の値）	
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の値）	
名前	15 文字までの文字列 半角英数字またはハイフン	省略不可
ポート番号	1 ～ 65535 までの数字	省略可
HTTPS 使用有無	0：HTTPS 使用しない（省略時） 1：HTTPS 使用する	
機種名	64 文字までの任意の文字列	
Add-in グループ	32 文字までの任意の文字列（*1）	
アップデートグループ	32 文字までの任意の文字列（*1）	
設定グループ	32 文字までの任意の文字列（*1）	
説明	256 文字までの任意の文字列	
スキャナー種別	0：ネットワークスキャナー 1：イメージスキャナー	省略不可
実機種名	15 文字までの文字列 半角英数字またはハイフン	省略可
ユーザー管理項目	● 項目名は 45 文字までの任意の文字列 ● 項目名の値は 256 文字までの任意の文字列	

*1：「(デフォルト)」、「(すべて)」、「__default__」、「__all__」は使用できません。「__」は半角アンダーバー 2 個を示しています。

イベントログファイルの形式

エクスポートする場合のイベントログファイルの形式について説明します。

- ファイル名の初期値は「execlog.csv」です。
- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従います。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- CSV 形式です。
  各項目の内容は、次のとおりです。

項目名	値の形式
発生日時	YYYYMMDD hh:mm:ss
発生元	-
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx（xxx は 0 ～ 255 の値）
機種名	-
シリアル番号	-
種別	I ：情報 W ：警告 E ：エラー
イベント ID	-
メッセージ	-

統計情報ファイルの形式

エクスポートする場合の統計情報ファイルの形式について説明します。

- ファイル名の初期値は「statistics.csv」です。
- ファイルの文字コードは Scanner Central Admin Console の「Scanner Central Admin Server 動作環境設定（共通設定）」画面の設定値に従います。初期値はシフト JIS（Shift_JIS）です。
- ファイルの 1 行目には、集計期間が出力されます。
  ファイルの 2 行目には、タイトル行が出力されます。
  ファイルの 3 行目以降には、統計情報が出力されます。
  ファイルの出力例は、次のとおりです。

1 行目 # 集計期間 YYYYMMDD - YYYYMMDD
2 行目 名前 , 機種名 , シリアル番号 , グループ名 , 合計 (枚), ADF(枚), フラットベッド (枚), 説明 , 状態
3 行目 xxx,fi-xxxxx,xxx,xxxxxx(xx),305,300,5,xxx, 未確定
：
：

- CSV 形式です。
  各項目の内容は、次のとおりです。

項目名	値の形式
名前	-
機種名	-
シリアル番号	-
グループ名	-
合計 (枚)	数字
ADF(枚)	数字
フラットベッド (枚)	数字
説明	任意の文字列

項目名	値の形式
状態	管理中 管理外 未確定

付 .3 Scanner Central Admin Server の移行手順

同一バージョンの Scanner Central Admin Server を移行する場合

1 移行前･移行後の Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピューターをネットワークから切断します。

2 移行前のScanner Central Admin Serverがインストールされているコンピューターで、Scanner Central Admin Server に関する情報を退避します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の退避方法については、「Scanner Central Admin Server に関する情報の退避」（P.136）を参照してください。

3 移行後のScanner Central Admin Serverがインストールされているコンピューターで、Scanner Central Admin Server に関する情報を復元します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の復元方法については、「Scanner Central Admin Server に関する情報の復元」（P.137）を参照してください。

4 移行前･移行後の Scanner Central Admin Server がインストールされているコンピューターをネットワークに接続します。

5 移行後のScanner Central Admin Serverに接続するよう設定された Scanner Central Admin Agent がインストールされているコンピューターで、Scanner Central Admin Agent 設定情報を移出します。
Scanner Central Admin Agent 設定情報の移出方法については、「スキャナー設定情報のアップデートモジュールの作成」（P.64）を参照してください。

6 Scanner Central Admin Agent がインストールされている動作確認用のコンピューターと移行前のScanner Central Admin Server で、手順 5 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートモジュールの適用に問題ないことを確認します。
手順 5 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、移行前の Scanner Central Admin Server に登録し、Scanner Central Admin Agent がインストールされている動作確認用のコンピューターで Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートモジュールの適用に問題ないことを確認してください。

7 手順 5 で移出した Scanner Central Admin Agent 設定情報を、移行前の Scanner Central Admin Server に登録します。

8 Scanner Central Admin Agent がインストールされているすべてのコンピューターに、Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートモジュールを適用します。

重要
Scanner Central Admin Server 移行時は、Scanner Central Admin Agent 設定情報のアップデートと他アップデートとの同時公開は行わないでください。

9 スキャナーが接続されている場合は、すべてのスキャナーを自動探索して登録します。

スキャナーの自動探索 / 登録方法については、「スキャナーの自動探索 / 登録」（P.105）を参照してください。

旧バージョンの Scanner Central Admin Server から新バージョンの Scanner Central Admin Server に移行する場合

1 移行前の Scanner Central Admin Server を、移行後の Scanner Central Admin Server と同じバージョンにバージョンアップします。

バージョンアップの手順は、「付 .6 Scanner Central Admin のバージョンアップ手順 174」（P.143）を参照してください。

2 Scanner Central Admin Server を移行します。

移行する手順は、「同一バージョンの Scanner Central Admin Server を移行する場合」（P.168）を参照してください。

付 .4 退避・復元

Scanner Central Admin に関する情報の退避・復元

旧バージョンから新バージョンの Central Admin Server へ、または新バージョンから旧バージョンの Central Admin Server へ、Scanner Central Admin に関する情報を退避・復元できるかどうかを示します。
Central Admin Server のバージョンは、Central Admin Console のログイン画面で確認できます。
なお、Central Admin Console のログイン画面では、Central Admin Server のバージョンは「例：Ver. 04.02.02」のように表示されますが、次の表では「0」を省略して「例：4.2.x」のように記載しています。

退避する Central Admin Server のバージョン	復元する Central Admin Server のバージョン	退避・復元の可否
5.5.x	5.5.x 以降	○
	5.2.x 以前	-
5.2.x	5.2.x 以降	○
	5.0.x 以前	-
5.0.x	5.0.x 以降	○
	4.8.x 以前	-
4.8.x	4.8.x 以降	○
	4.7.x 以前	-
4.7.x	4.7.x 以降	○
	4.6.x 以前	-
4.6.x	4.6.x 以降	○
	4.5.x 以前	-
4.5.x	4.5.x 以降	○
	4.4.x 以前	-
4.4.x	4.4.x 以降	○
	4.3.x 以前	-
4.3.x	4.3.x 以降	○
	4.2.x 以前	-
4.2.x	4.2.x 以降	○
	4.1.x 以前	-
4.1.x	4.1.x 以降	○
	4.0.x 以前	-
4.0.x	4.1.x 以降	○（*1）
	4.0.x	○
	3.0.x 以前	-

退避するCentral Admin Server のバージョン	復元するCentral Admin Server のバージョン	退避・復元の可否
3.0.x	4.0.x 以降	○（*1）
	3.0.x	○
	2.x.x 以前	-
2.x.x 以前	3.0.x 以降	○（*1）（*2）
	2.x.x 以前	○

○ ：退避・復元できます。

- ：退避・復元できません。

*1 ：退避時には、復元する Scanner Central Admin Server のバージョンの「AmBackup.exe」を使用する必要があります。

*2 ：旧バージョンのイベントログを新バージョンの「イベント詳細」画面で表示した場合、IP アドレス情報は表示されません。

Central Admin Server が出力するイベントソース名

Central Admin Server が出力するイベントログのイベントソース名は、以下のとおりです。

Central Admin Server のバージョン	イベントソース名
3.0.x 以降	Scanner Central Admin Server
2.x.x 以前	iScanner Central Admin

付 .5 スキャナー別機能比較

各スキャナーの機能比較について説明します。

機能		スキャナー種別			備考
分類	詳細	ネットワークスキャナー	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	
スキャナーアップデート	ソフトウェアアップデート	○	○	○	【イメージスキャナーの場合】 ファーム／ドライバー／アプリケーションの配付が可能 【ネットワークスキャナーの場合】 システムアップデート／ Add-in インストールの配付が可能 【イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合】 ファームの配付が可能
	設定情報	○	○	○	【イメージスキャナーの場合】 スキャナー設定／アプリケーション設定情報／Scanner Central Admin 設定情報が配信可能 【ネットワークスキャナーの場合】 システム環境設定／共通ジョブ設定が配信可能 【イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の場合】 スキャナー設定情報が配信可能
	ソフトウェアアップデート時間帯制限	○	○	○	特になし
	配付通知	○	-	-	【イメージスキャナーの場合】 Scanner Central Admin Agent の設定で、定期的にアップデートの有無を確認可能
スキャナー監視	スキャナー異常の監視	○	○	○	特になし
	スキャナー稼働状況の監視	○	○	○	
	消耗品の監視	○	○	○	
	異常通知メールの設定	○	○	○	
	メンテナンス情報	○（*2）	○（*1）	○	

機能		スキャナー種別			備考
分類	詳細	ネットワークスキャナー	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	
スキャナー管理	スキャナー構成情報の追加 / 編集 / 削除	○	○	○	特になし
	CSV 形式のエクスポート / インポート	○	○	○	
	Admin Tool でのスキャナーのリモート操作	○	-	-	
	スキャナー自動探索／登録	○	×	○（*3）	
統計情報	統計情報一覧	○	○	○	
イベントログ	イベント一覧	○	○	○	
監査ログ収集	システムログ・ユーザーログの収集	○	×	×	
共有ユーザー情報	ユーザー情報をスキャナー間で共有	○	-	-	

○ ：サポート

× ：未サポート

- ：該当機能なし

*1 ：機種によっては通知されない項目があります。

*2 ：N7100/N7100E をサポートしています。

*3 ：fi-8190/fi-8290/fi-8170/fi-8270/fi-8150/fi-8250 シリーズをサポートしています。

付 .6 Scanner Central Admin のバージョンアップ手順

1 Scanner Central Admin Serverがインストールされているコンピューターをネットワークから切断します。

2 Scanner Central Admin Server に関する情報を退避します。
Scanner Central Admin Server に関する情報の退避方法については、「Scanner Central Admin Server に関する情報の退避」（P.136）を参照してください。

ヒント
退避した Scanner Central Admin Server に関する情報は、バージョンアップ作業中に異常が発生した場合だけ使用します。
バージョンアップ作業中に異常が発生した場合は、Scanner Central Admin Server に関する情報を復元してください。
Scanner Central Admin Server に関する情報の復元方法については、「Scanner Central Admin Server に関する情報の復元」（P.137）を参照してください。

3 Scanner Central Admin Server をアップデートします。

4 Scanner Central Admin Serverがインストールされているコンピューターをネットワークに接続します。

5 Scanner Central Admin Console をアンインストールします。
Scanner Central Admin Console のアンインストール方法については、「付 .7 アプリケーションのアンインストール」（P.175）を参照してください。

6 最新の Scanner Central Admin Console をインストールします。
Scanner Central Admin Consoleのインストール方法については、「2.3 Scanner Central Admin Console のインストール」（P.35）を参照してください。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

付 .7 アプリケーションのアンインストール

Scanner Central Admin Server をアンインストールする場合の注意事項

- アンインストールする前に、Scanner Central Admin Server をネットワークから切り離してください。
  Scanner Central Admin Server をネットワークに接続したままアンインストール処理を完了した場合、起動している Scanner Central Admin Server の動作は保証できません。
- Scanner Central Admin Server をアンインストールすると、インストールフォルダー配下のファイルはすべて削除されます。必要に応じて、Scanner Central Admin Server に関する情報を退避してください。詳細は、「Scanner Central Admin Server に関する情報の退避」（P.136）を参照してください。
- アンインストール時に次のメッセージで、［再試行］ボタンを押しても同様のメッセージが表示される場合があります。

  ファイル 'ASPNETDB.MDF' は他のアプリケーションで使用されています。開いているアプリケーションをすべて閉じてから、「再試行」をクリックしてください。

  同様のメッセージが表示される場合は、再起動後にもう一度アンインストールを行ってください。

Scanner Central Admin Console をアンインストールする場合の注意事項

アンインストールする前に、Scanner Central Admin Console を終了してください。
Scanner Central Admin Console を起動したままアンインストール処理を完了した場合、起動している Scanner Central Admin Console の動作は保証できません。

アプリケーションのアンインストール手順

1 コンピューターを起動します。

> **重要**
> コンピューターの管理者権限を持つユーザーでコンピューターにログオンしてください。

2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。

3 「コントロール パネル」画面を表示します。

4 「プログラムのアンインストール」を選択します。

⇨「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。

5 削除するソフトウェアを選択します。

- Scanner Central Admin Server を削除する場合
  「Scanner Central Admin Server」を選択してください。
- Scanner Central Admin Console を削除する場合
  「Scanner Central Admin Console」を選択してください。
- Scanner Central Admin Agent を削除する場合
  「Scanner Central Admin Agent」を選択してください。

6 ［アンインストール］ボタンまたは［アンインストールと変更］ボタンを押します。

7 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンを押します。

⇨ アンインストールが実行されます。

ヒント

ユーザーアカウント制御の設定によっては、アンインストール時に「認識できないプログラムがこのコンピューターへのアクセスを要求しています」というメッセージ画面が表示される場合があります。この場合は、「許可」を選択してアンインストールを続行してください。

重要

- Scanner Central Admin Server をアンインストールする前に、次のプログラムをアンインストールした場合、次のプログラムがインストールされることがあります。
  - Microsoft SQL Server Native Client
  - Microsoft SQL Server Setup Support Files (English)

  このような場合は、上記プログラムをアンインストールしてください。
- Microsoft Office SharePoint Server 連携を行っている場合、インストールした Scan to Microsoft SharePoint は、アンインストールされません。

付 .8 任意のファイルのアップデート手順 イメージスキャナー イメージスキャナー（NX Manager運用時）

ここでは、「ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成」（P.63）の作成例として、任意のファイルを所定のフォルダーにコピーするアップデートモジュールを作成して適用する手順について説明します。

1 任意のファイル「sample.ini」と所定のフォルダーにコピーするためのバッチファイル「sample.bat」を作成し、同一フォルダー配下「C¥:sample」に格納します。

バッチファイル「sample.bat」の例は、次のとおりです。

```
set dstPath=C:¥work（*1）
if not exist %dstPath% mkdir %dstPath%
if errorlevel 1 goto error
copy /y sample.ini %dstPath%（*2）
if errorlevel 1 goto error
exit 0（*3）
:error
exit 1（*4）
```

*1：スキャナーを接続しているコンピューター内の所定のフォルダー

*2：任意のファイルをコピー

*3：復帰値（0：正常終了）

*4：復帰値（0 以外：異常終了）

2 SCAModuleCreator で、アップデートモジュールを作成します。

「ユーザーアプリケーションからのアップデートモジュールの作成」（P.63）の手順に従って操作し、「ユーザーアプリケーションの作成」画面で次の設定値を設定してアップデートモジュールを作成してください。

設定項目	設定値	説明
作成元フォルダー	C:¥sample	手順 1 で準備したファイル（任意のファイル「sample.ini」と所定のフォルダーにコピーするためのバッチファイル「sample.bat」）を格納してあるフォルダーを指定します。
格納先フォルダー	任意	アップデートモジュールの格納フォルダーを指定します。
版数 / 識別名	CopySample_V01L01	アップデートモジュールを識別するための名前を指定します。
インストーラ起動パス	sample.bat	手順 1 で準備した所定のフォルダーにコピーするためのバッチファイルを指定します。

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

3 Scanner Central Admin Console で、アップデートモジュールを登録します。

アップデートモジュールの登録方法については、「アップデートモジュールの登録」（P.65）を参照してください。

4 アップデートモジュールを適用します。

アップデートモジュールの適用方法については、「アップデートモジュールの適用（イメージスキャナー）」（P.67）または「アップデートモジュールの適用 （イメージスキャナー（NX Manager 運用時））」（P.68）を参照してください。

付 .9 Scanner Central Admin のアプリケーション構成

Scanner Central Admin 5.5 のアプリケーション構成とバージョンは、次のとおりです。

- Scanner Central Admin Server 5.5
- Scanner Central Admin Console 5.2
- Scanner Central Admin Agent 5.5

TOP
目次
索引
はじめに
Scanner Central Admin の概要
Scanner Central Admin の導入
Scanner Central Admin Server を利用した運用
メール通知を利用した運用
統合管理システムと連携した運用
Scanner Central Admin の保守
付録
用語集

付 .10 Scanner Central Admin Server の接続可否

Scanner Central Admin のバージョンによって、サポート対象となるスキャナーは、次のように異なります。

Scanner Central Admin Server のバージョン	イメージスキャナー	イメージスキャナー（NX Manager 運用時）	ネットワークスキャナー			
			fi-6010N	N1800	N7100	N7100E
iScanner Central Admin Server 2.0	×	×	○	×	×	×
Scanner Central Admin Server 3.0	×	×	○	○	×	×
Scanner Central Admin Server 4.0 ～ 4.5	○	×	○	○	×	×
Scanner Central Admin Server 4.6 ～ 4.8	○	×	○	○	○（*1）	×
Scanner Central Admin Server 5.0	○	○（*2）	○	○	○（*1）	×
Scanner Central Admin Server 5.2	○	○（*2）	○	○	○	○
Scanner Central Admin Server 5.5 以降	○	○	○	○	○	○

○　：サポート

×　：未サポート

*1　：動作環境によっては、一部機能が使用できません。
詳細は、「N7100/N7100E と連携するときのソフトウェア」（P.23）を参照してください。

*2　：fi-7300NX シリーズをサポートしています。

付 .11 SNMP トラップで通知するメッセージコード

SNMP トラップで通知するメッセージコードは、以下のとおりです。

コード	メッセージ	メッセージの内容	対処
0F090000	This is a test message from Scanner Central Admin Agent.	テスト送信のメッセージです。	対処はありません。
0F070004	Consumable part counter was cleared. Consumable part:*XXXXX* Counter before clearing value:*XXXXX*	消耗品のカウンターをクリアしました。	対処はありません。
0F080001	Scanner was changed.	スキャナーが変更されました。	対処はありません。
0F080002	The scanner maintenance part needs to be cleaned.Maintenance Part:*XXXXX*	スキャナーの保守部品の清掃時期です。	保守部品を清掃してください。 *XXXXX* には、清掃する保守部品名が表示されます。 清掃方法は、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照して対処してください。 それでも解消されない場合は、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。
1F060001	Temporary scanner error was detected. [Error Details]	スキャナーで一時エラーを検出しました。	次のどちらかの対処をしてください。 ● メッセージの［エラー詳細］を参照して対処する。 ● Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面の［エラー詳細］ボタンをクリックし、スキャナーの Error Recovery Guide を参照して対処する。

コード	メッセージ	メッセージの内容	対処
6F070001	Scanner consumable needs to be replaced now. Consumable part:*XXXXX*	スキャナーの消耗品の交換時期です。	消耗品を交換してください。 *XXXXX* には、交換する消耗品名が表示されます。
6F070002	Scanner consumable needs to be replaced soon. Consumable part:*XXXXX*	スキャナーの消耗品の交換時期が近づいています。	消耗品を交換してください。 *XXXXX* には、交換する消耗品名が表示されます。
6F070003	Scanner consumable has passed its rated lifetime and needs to be replaced. Consumable part:*XXXXX*	スキャナーの消耗品の交換時期を過ぎました。	消耗品を交換してください。 *XXXXX* には、交換する消耗品名が表示されます。
7F060001	Scanner error was detected. [Error Details]	スキャナーでエラーを検出しました。	次のどちらかの対処をしてください。 ● メッセージの［エラー詳細］を参照して対処する。 ● Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面の［エラー詳細］ボタンをクリックし、スキャナーの Error Recovery Guide を参照して対処する。 それでも解消されない場合は、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

コード	メッセージ	メッセージの内容	対処
8F060001	Scanner parts replacement notification was detected. [Error Details]	スキャナーで部品交換が必要なエラーを検出しました。	次のどちらかの対処をしてください。 ● メッセージの［エラー詳細］を参照して対処する。 ● Scanner Central Admin Console の「イベント詳細」画面の［エラー詳細］ボタンをクリックし、スキャナーの Error Recovery Guide を参照して対処する。 それでも解消されない場合は、本製品を購入された販社 / 販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。PFU イメージング サービス & サポートセンターについては、お使いのスキャナーのオペレーターガイドを参照してください。

用語集

あ行

インプリンタ
エミュレーション
オペレーターパネル

さ行

セパレーターローラ

た行

デフォルト設定
統合管理システム
ドライバー

は行

パッドユニット
ピックローラユニット
フラットベッド
ブレーキローラ

英数字

ADF （自動給紙機構）
ISIS
SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
SNMP（Simple Network Management Protocol）
SNMP トラップ
SNMP マネージャー
TWAIN

あ行

インプリンタ
読み取った原稿の表面または裏面に、アルファベットや数字などの文字列を印刷するプリンターです。
読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理する場合に使用します。

エミュレーション
ファームウェアの設定を変更して、別機種のスキャナーとして使用することです。

オペレーターパネル
表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナーの操作に使用します。

さ行

セパレーターローラ
ホッパーの原稿から 1 ページだけ分離させ、ADF 内に繰り込むローラーです。

た行

デフォルト設定
（ハードウェアの場合）
工場出荷時に設定されている各種設定値です。

（ソフトウェアの場合）
インストール直後に設定されている各種設定値です。

統合管理システム
企業の様々なシステム運用を総合的に管理するシステムです。

ドライバー
コンピューターに接続されたハードウェアを、オペレーティングシステム上で制御するためのプログラムです。

は行

パッドユニット
ADF 内部に搬送する前に、原稿同士を分離する部品です。ピックローラユニットに原稿を押し当てる部分はゴム製部材となっています。

ピックローラユニット
ADF 給紙シュートの原稿から 1 ページだけ分離させ、ADF 内に繰り込むローラーです。

フラットベッド
スキャナーの入力装置です。
原稿を、1 枚ずつ原稿台（ガラス板）の上にのせて読み取ります。
本や冊子など、ADF で読み取りできないような原稿も読み取りできます。

ブレーキローラ
ADF 内へ複数枚の原稿を繰り込むことを防止するローラーです。

英数字

ADF （自動給紙機構）
ADF （=Automatic Document Feeder）
複数枚の原稿を、自動的に 1 枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

ISIS
1990 年に米国 Pixel Translations（現：Captiva, a division of EMC Corporation）がイメージングデバイス（スキャナー、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェイス）規格です。ISIS 規格の製品を使用するには、同規格のドライバーソフトのインストールが必要となります。

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
メールを送信するためのプロトコルです。

SNMP（Simple Network Management Protocol）
ネットワーク監視、ネットワーク管理を行うためのプロトコルです。

SNMP トラップ

端末から SNMP マネージャーに通知する状況通知用のレポートです。

SNMP マネージャー

端末から通知された SNMP トラップをわかりやすく表示するアプリケーションです。

TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナー、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェイス）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバーソフトのインストールが必要となります。

索引

A

Add-in のインストール 71
AmBackup.exe 136
AmExportLog 82
AmInvestigate.exe 138
AmRestore.exe 137

C

CollectAgentInfo.exe 139

E

Error Recovery Guide のインストール 48

S

SCAModuleCreatorCollectLog.exe 141
SCAModuleCreator の保守情報の採取 141
Scanner Central Admin Agent のアップデート 139
Scanner Central Admin Agent の設定
（Scanner Central Admin Server の設定） 53
Scanner Central Admin Agent の設定
（SNMP トラップ通知の設定） 129
Scanner Central Admin Agent の設定
（メール送信の設定） 116
Scanner Central Admin Agent の保守 139
Scanner Central Admin Console からのログイン 49
Scanner Central Admin Server の設定 53
Scanner Central Admin Server の動作環境の設定 51
Scanner Central Admin Server のバージョンアップ
に伴うデータ移行手順 174
Scanner Central Admin Server の保守 136
Scanner Central Admin Server を利用した運用 19, 41
Scanner Central Admin の主な機能 16
Scanner Central Admin の概要 14
Scanner Central Admin のシステム構成 18
Scanner Central Admin の導入 29
Scanner Central Admin の特長 15
Scanner Central Admin のバージョンアップ 174
Scanner Central Admin の保守 135
ScannerCentralAdminConsole.exe 127
Setup.exe 40
SMTP サーバの確認 115
SNMP トラップ通知の設定 129
SNMP マネージャーの確認 127
SNMP マネージャーの設定 127

あ

アップデート（Scanner Central Admin Agent） 139
アップデート（イメージスキャナー /
イメージスキャナー（NX Manager 運用時）） 59
アップデート（ネットワークスキャナー） 69
アップデート可能な種別（イメージスキャナー /
イメージスキャナー（NX Manager 運用時）） 59
アップデート可能な種別（ネットワークスキャナー） 69
アップデートモジュールの作成 60
アップデートモジュールの適用
（イメージスキャナー（NX Manager 運用時）） 68
アップデートモジュールの適用
（イメージスキャナー） 67
アップデートモジュールの登録 65
アンインストール手順 175

い

イベント一覧のエクスポート 81
イベント一覧の参照 80
イベントログファイルの形式 166
イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の
　　アップデート 59
イメージスキャナー（NX Manager 運用時）の保守 ... 142
イメージスキャナーのアップデート 59
インストール（Scanner Central Admin Agent）..... 37
インストール（Scanner Central Admin Console）..... 35
インストール（Scanner Central Admin Server）..... 32

う

運用形態 19
運用形態ごとに必要なアプリケーション 30
運用パターン例 110

か

概要 14
監査ログの収集 82
監査ログの取り出し 82
監査ログのファイル形式 83

き

機能 16
共有ジョブの設定 76

く

グループの編集 103

こ

異なる Scanner Central Admin Server への移行手順... 168

さ

最新アップデートの確認 57
作業の流れ（Scanner Central Admin Server を
　　利用した運用）..... 42
作業の流れ（統合管理システムと連携した運用）..... 126
作業の流れ（メール通知を利用した運用）..... 114

し

システム環境設定の更新 74
システム構成 18
システムのアップデート 69
自動探索 105
集中管理可能なスキャナー台数 26
証明書のインポート（HTTPS の場合）..... 45

す

スキャナー一覧に表示する項目の編集 107
スキャナー構成情報 84
スキャナー構成情報のインポート 104
スキャナー構成情報のエクスポート 104
スキャナー構成情報の削除 102
スキャナー構成情報の追加 101
スキャナー構成情報の編集 102
スキャナー構成情報ファイルの形式
　　（インポートする場合）..... 165
スキャナー構成情報ファイルの形式
　　（エクスポートする場合）..... 151
スキャナー詳細情報の確認 108
スキャナーの各種状態の監視 78
スキャナーの稼働状況の監視 78
スキャナーの監視 78
スキャナーの管理 84
スキャナーの登録 56
スキャナー別機能比較 172
すべてのイベントを削除 81

た

退避・復元 170
退避（Scanner Central Admin Server に関する情報） 136

て

適用状況の確認（イメージスキャナー / イメージスキャナー（NX Manager 運用時）） 68
適用状況の確認（ネットワークスキャナー） 77

と

統計情報のエクスポート 80
統計情報の参照 79
統計情報ファイルの形式 166
統合管理システムと連携した運用 21, 125
統合管理システムの確認 127
統合管理システムの設定 127
動作環境 22
動作環境（SCAModuleCreator） 23
動作環境（Scanner Central Admin Agent） 24
動作環境（Scanner Central Admin Console） 23
動作環境（Scanner Central Admin Server） 22
導入 29
特長 15

ね

ネットワーク条件 26
ネットワークスキャナーのアップデート 69
ネットワークスキャナーの保守 142

は

はじめに 3

ふ

ファイアウォールの設定 46
復元（Scanner Central Admin Server に関する情報） 137

ほ

ポート番号一覧 27
保守 135
保守（Scanner Central Admin Agent） 139
保守（Scanner Central Admin Server） 136
保守（イメージスキャナー（NX Manager 運用時） / ネットワークスキャナー） 142
保守情報の採取（SCAModuleCreator） 141
保守情報の採取（Scanner Central Admin Agent） 139
保守情報の採取（Scanner Central Admin Server） 138
本書の使い方 2
本書をお読みになる前に 5

め

メール送信の設定 116
メール通知を利用した運用 20, 113
メッセージ一覧 144

Scanner Central Admin 5.5 ユーザーズガイド

P2WW-2818-03Z0

発行日 2023 年 3 月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。